

**第5次加西市総合計画策定のための  
市民アンケート調査  
【結果報告書】**

**平成22年3月  
加西市**



## 【目 次】

I	調査の概要.....	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査の概要.....	1
3.	報告書の見方.....	1
II	調査結果.....	2
1.	あなた自身のことについて.....	2
2.	加西市での生活について.....	6
3.	加西市の各分野における取組みについて.....	14
4.	加西市の将来像について.....	55
5.	加西市の取組みについての満足度・必要度について.....	59
III	自由回答.....	68
IV	調査票.....	71



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は平成23年度からの新たなまちづくりの指針となる「第5次加西市総合計画」の策定にあたり、まちづくりの方針を示す最も基本となる計画であることから、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するためアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の概要

調査区域 : 加西市全域  
調査対象 : 18歳以上の市民から2,500人を無作為抽出  
調査時期 : 平成22年1月  
配布数 : 2,500票  
回収数 : 1,101票  
回収率 : 44.0%

## 3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

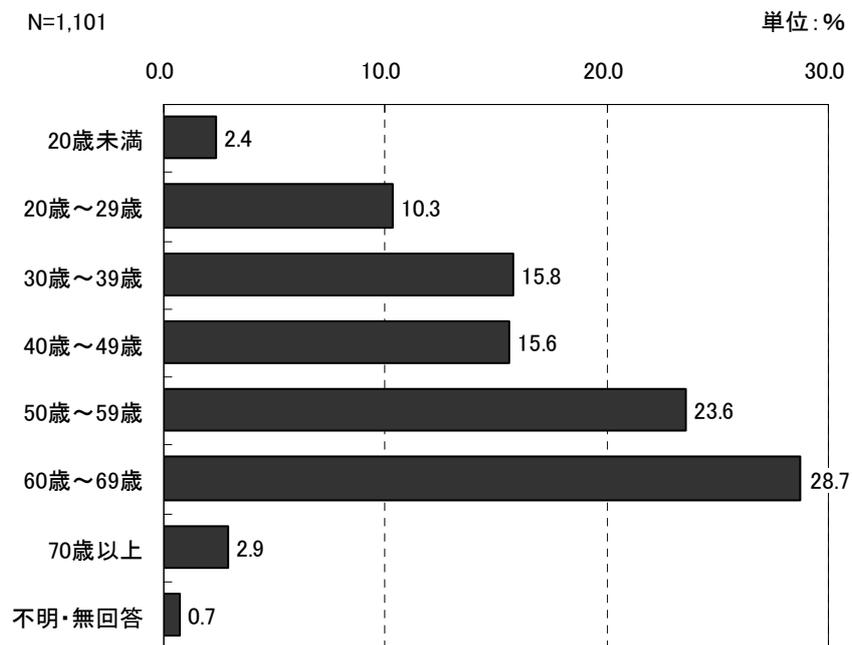
## II 調査結果

### 1. 回答者自身のことについて

【調査票：問1】

#### (1) 回答者の年齢（単数回答）

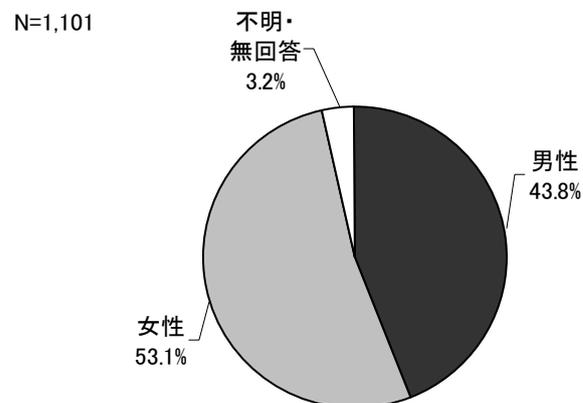
年齢についてみると、「60歳～69歳」が28.7%と最も高く、次いで「50歳～59歳」が23.6%となっています。



【調査票：問2】

#### (2) 回答者の性別（単数回答）

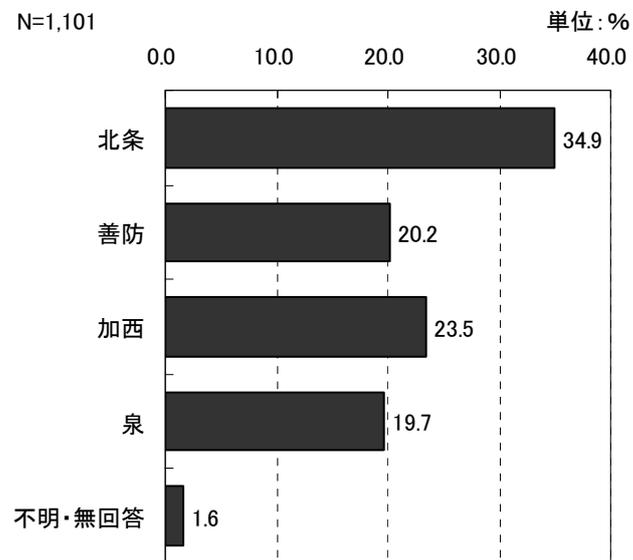
性別についてみると、「男性」が43.8%、「女性」が53.1%となっています。



【調査票：問3】

(3) 回答者の居住している中学校区（単数回答）

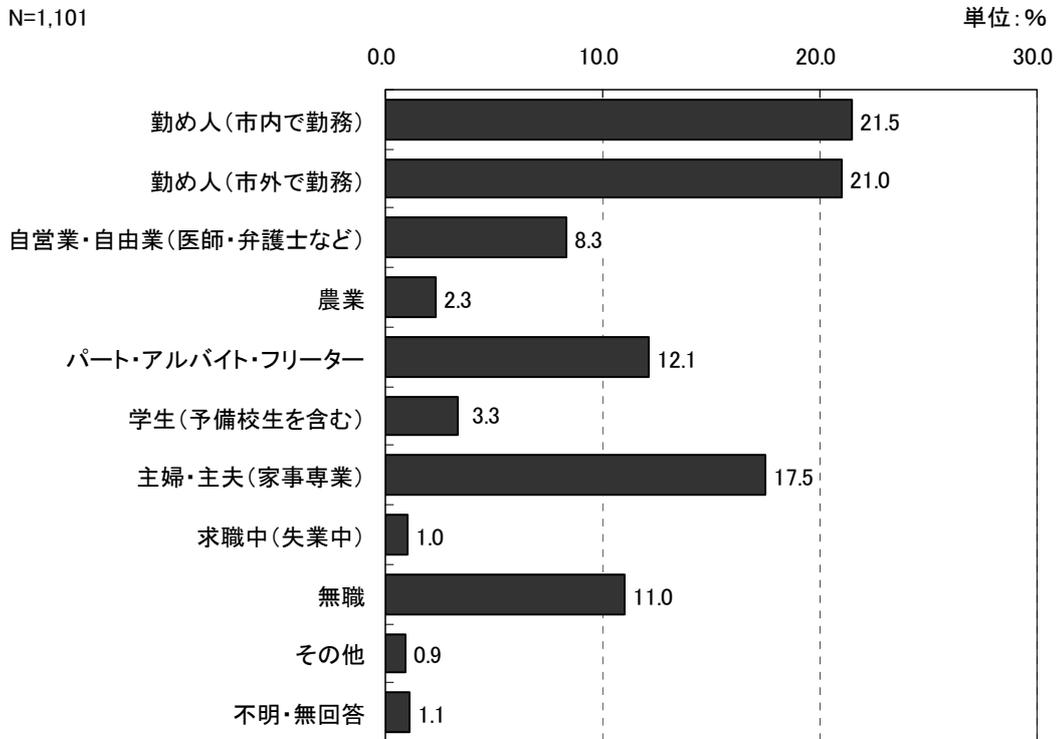
居住している地区についてみると、「北条」が34.9%と最も高く、次いで「加西」が23.5%となっています。



【調査票：問4】

(4) 回答者の職業（単数回答）

職業についてみると、「勤め人（市内で勤務）」が21.5%と最も高く、次いで「勤め人（市外で勤務）」が21.0%となっています。

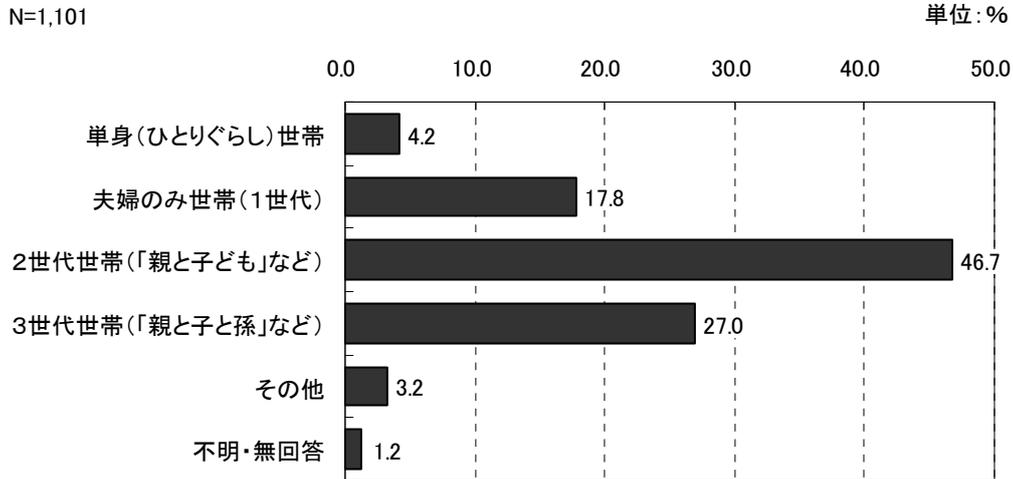


その他回答の内容
市外
年金生活者
定年退職
配偶者(夫)の会社で無給にて手伝い
自営業(建築)

【調査票：問5】

(5) 回答者の家族構成（単数回答）

家族構成についてみると、「2世代世帯（「親と子ども」など）」が 46.7%と最も高く、次いで「3世代世帯（「親と子と孫」など）」が 27.0%となっています。

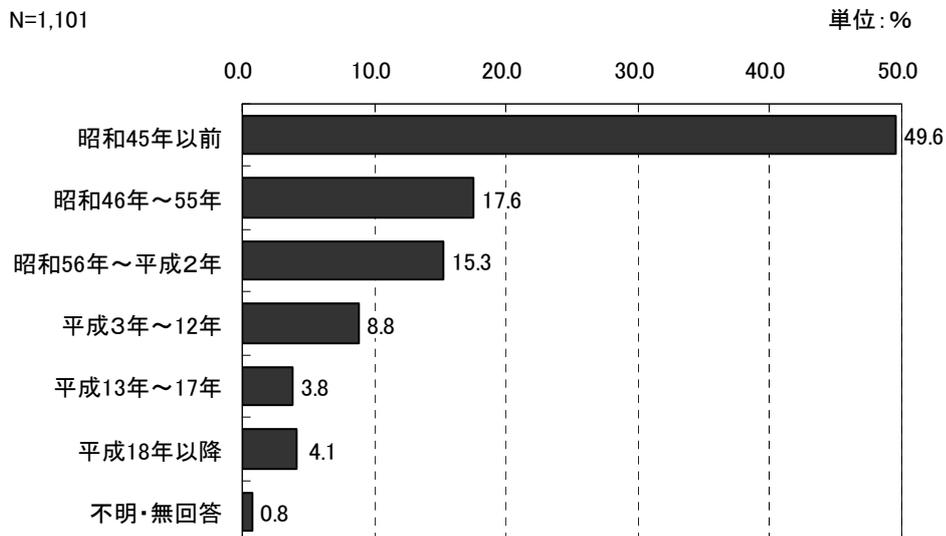


その他回答の内容	
4世代世帯	夫婦、子
親、子	夫婦、子2人
姉と二人暮らし	長男夫婦
母と二人暮らし	祖母、子3人 計9人
子1人	両親と同居
父母、本人	

【調査票：問6】

(6) 回答者の居住歴（単数回答）

居住歴についてみると、「昭和 45 年以前」が 49.6%と最も高く、次いで「昭和 46 年～55 年」が 17.6%となっています。

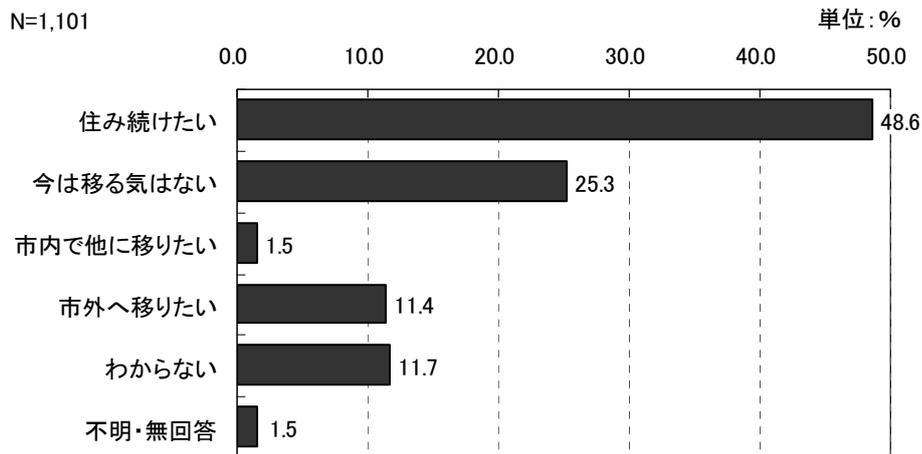


## 2. 加西市での生活について

【調査票：問7】

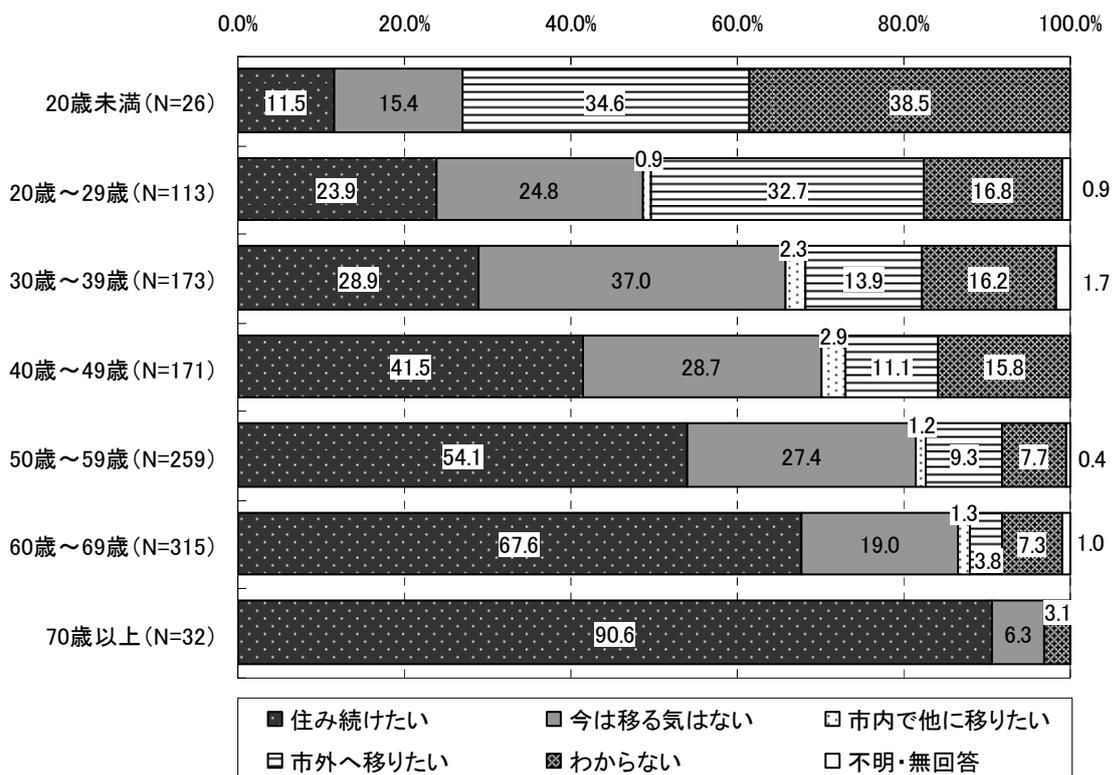
(7) 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(単数回答)

今後の定住意向についてみると、「住み続けたい」が48.6%と最も高く、次いで「今は移る気はない」が25.3%となっています。



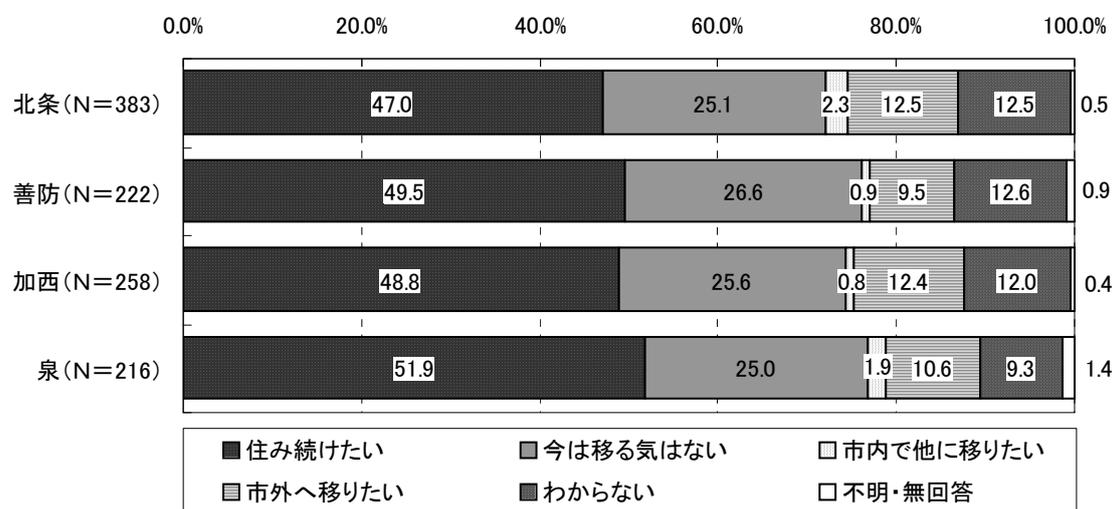
(7) × 年齢別

今後の定住意向について年齢別にみると、年齢があがるにつれて「住み続けたい」の割合が高くなっています。



## (7) × 居住地区別

今後の定住意向について居住地区別にみると、「住み続けたい」と「今は移る気はない」を合わせた『住み続けたい』では「泉」が最も高く、「市内で他に移りたい」と「市外へ移りたい」を合わせた『他に移りたい』では「北条」が最も高くなっています。



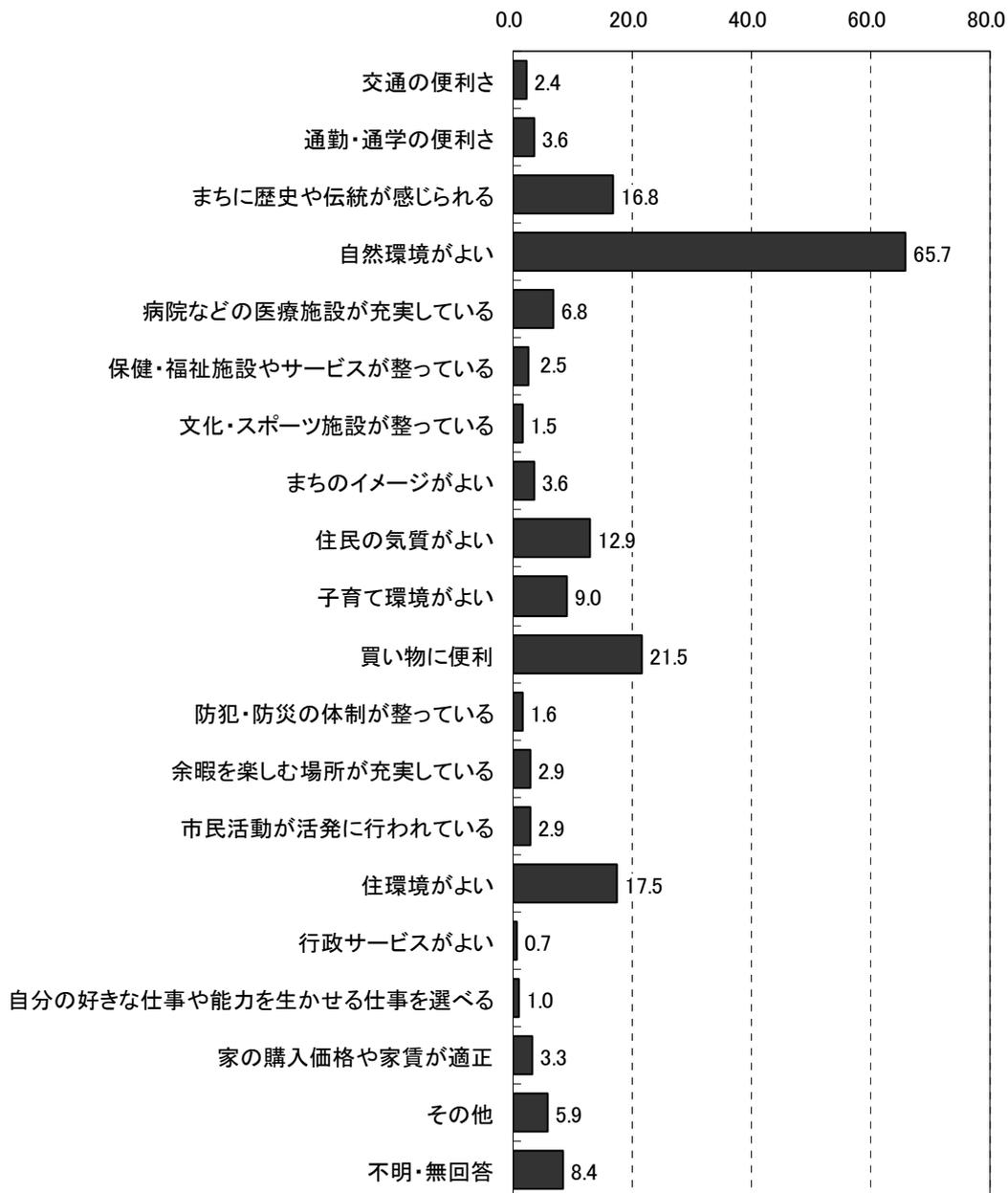
【調査票：問8】

(8) 加西市の好きなところ・誇れるところはどれですか。(複数回答)

加西市の好きなところ・誇れるところについてみると、「自然環境がよい」が65.7%と最も高く、次いで「買い物に便利」が21.5%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)	
渋滞がない	きれい
水災害が少ない	図書館
自然災害がない	大きなショッピングセンターが近い
災害が少ない	市長
気候がよい	

## (8) × 年齢別

加西市の好きなおところ・誇れるところについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「自然環境がよい」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	交通の便利さ	通勤・通学の 便利さ	まちに歴史や 伝統が感じ られる	自然環境が よい	病院などの 医療施設が 充実している	保健・福祉施設 やサービスが 整っている
合計	1,097 100.0	26 2.4	40 3.6	184 16.8	721 65.7	75 6.8	27 2.5
20歳未満	26 100.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	19 73.1	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	113 100.0	0 0.0	6 5.3	25 22.1	75 66.4	2 1.8	3 2.7
30歳～39歳	173 100.0	7 4.0	11 6.4	24 13.9	108 62.4	12 6.9	1 0.6
40歳～49歳	171 100.0	4 2.3	9 5.3	40 23.4	109 63.7	7 4.1	3 1.8
50歳～59歳	259 100.0	6 2.3	8 3.1	36 13.9	184 71.0	14 5.4	5 1.9
60歳～69歳	315 100.0	9 2.9	6 1.9	53 16.8	207 65.7	37 11.7	13 4.1
70歳以上	32 100.0	0 0.0	0 0.0	3 9.4	19 59.4	3 9.4	2 6.3

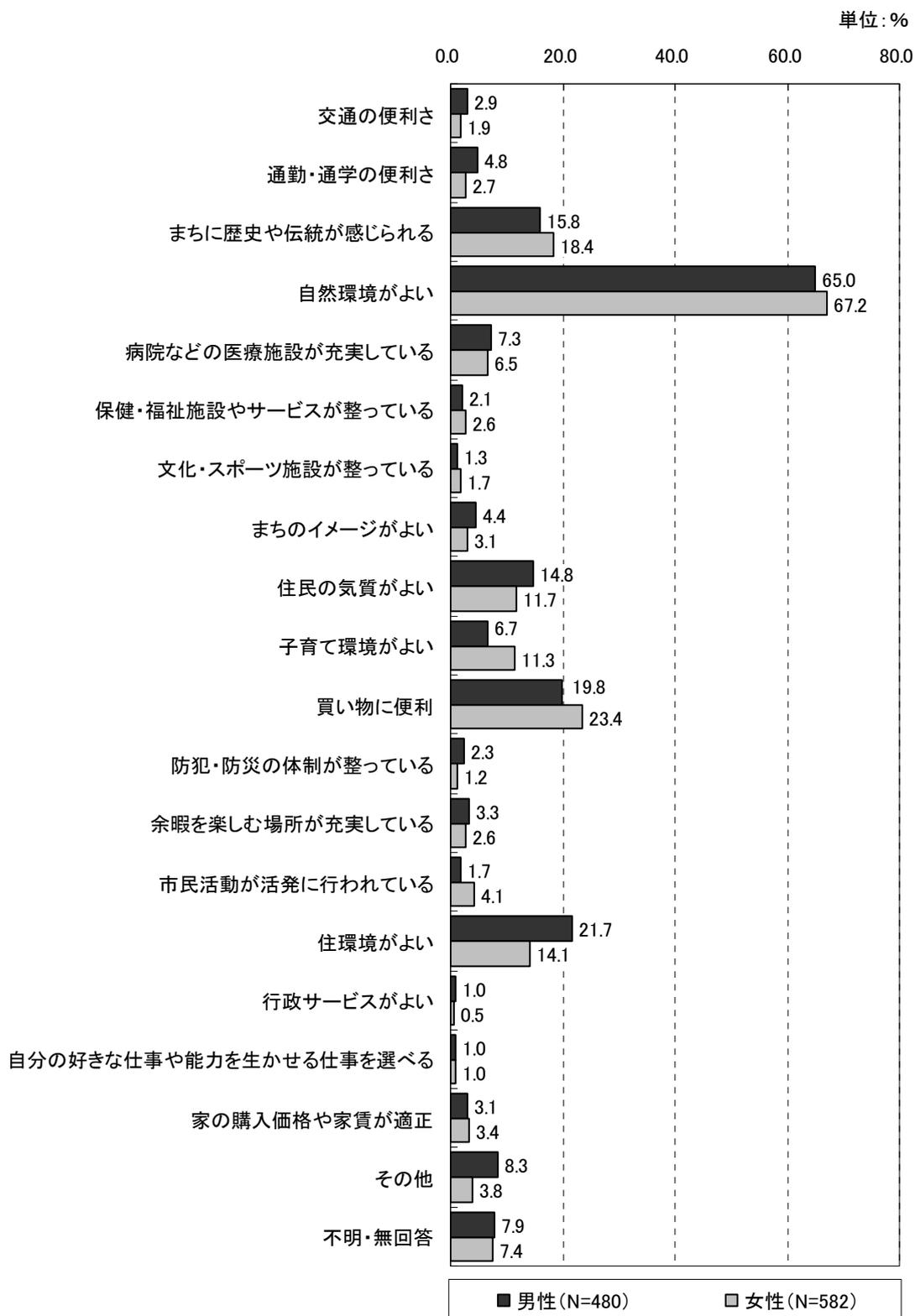
上段:度数 下段:%	文化・スポーツ 施設が整って いる	まちのイメージ がよい	住民の気質 がよい	子育て環境 がよい	買い物に 便利	防犯・防災の 体制が整って いる	余暇を楽しむ 場所が充実 している
合計	17 1.5	39 3.6	141 12.9	99 9.0	236 21.5	18 1.6	32 2.9
20歳未満	0 0.0	0 0.0	6 23.1	3 11.5	3 3.8	1 0.0	1 3.8
20歳～29歳	0 0.0	7 6.2	12 10.6	8 7.1	18 15.9	0 0.0	2 1.8
30歳～39歳	5 2.9	4 2.3	25 14.5	28 16.2	31 17.9	3 1.7	2 1.2
40歳～49歳	1 0.6	3 1.8	19 11.1	18 10.5	33 19.3	7 4.1	3 1.8
50歳～59歳	4 1.5	8 3.1	32 12.4	19 7.3	62 23.9	2 0.8	8 3.1
60歳～69歳	5 1.6	16 5.1	42 13.3	21 6.7	85 27.0	3 1.0	16 5.1
70歳以上	2 6.3	1 3.1	5 15.6	2 6.3	6 18.8	3 9.4	0 0.0

上段:度数 下段:%	市民活動が 活発に行われ ている	住環境がよい	行政サービス がよい	自分の好きな 仕事や能力を 生かせる 仕事を選べる	家の購入価格 や家賃が適正	その他	不明・無回答
合計	32 2.9	192 17.5	8 0.7	11 1.0	36 3.3	65 5.9	92 8.4
20歳未満	0 0.0	5 19.2	0 0.0	1 3.8	0 0.0	3 11.5	1 3.8
20歳～29歳	0 0.0	19 16.8	1 0.9	1 0.9	4 3.5	9 8.0	10 8.8
30歳～39歳	11 6.4	22 12.7	1 0.6	0 0.0	13 7.5	12 6.9	12 6.9
40歳～49歳	3 1.8	19 11.1	4 2.3	2 1.2	6 3.5	8 4.7	19 11.1
50歳～59歳	3 1.2	44 17.0	0 0.0	4 1.5	7 2.7	16 6.2	17 6.6
60歳～69歳	12 3.8	73 23.2	2 0.6	2 0.6	5 1.6	14 4.4	22 7.0
70歳以上	3 9.4	10 31.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1	3 9.4	3 9.4

## (8) ×性別

加西市の好きなところ・誇れるところについて性別にみると、男女ともに「自然環境がよい」が最も高くなっています。



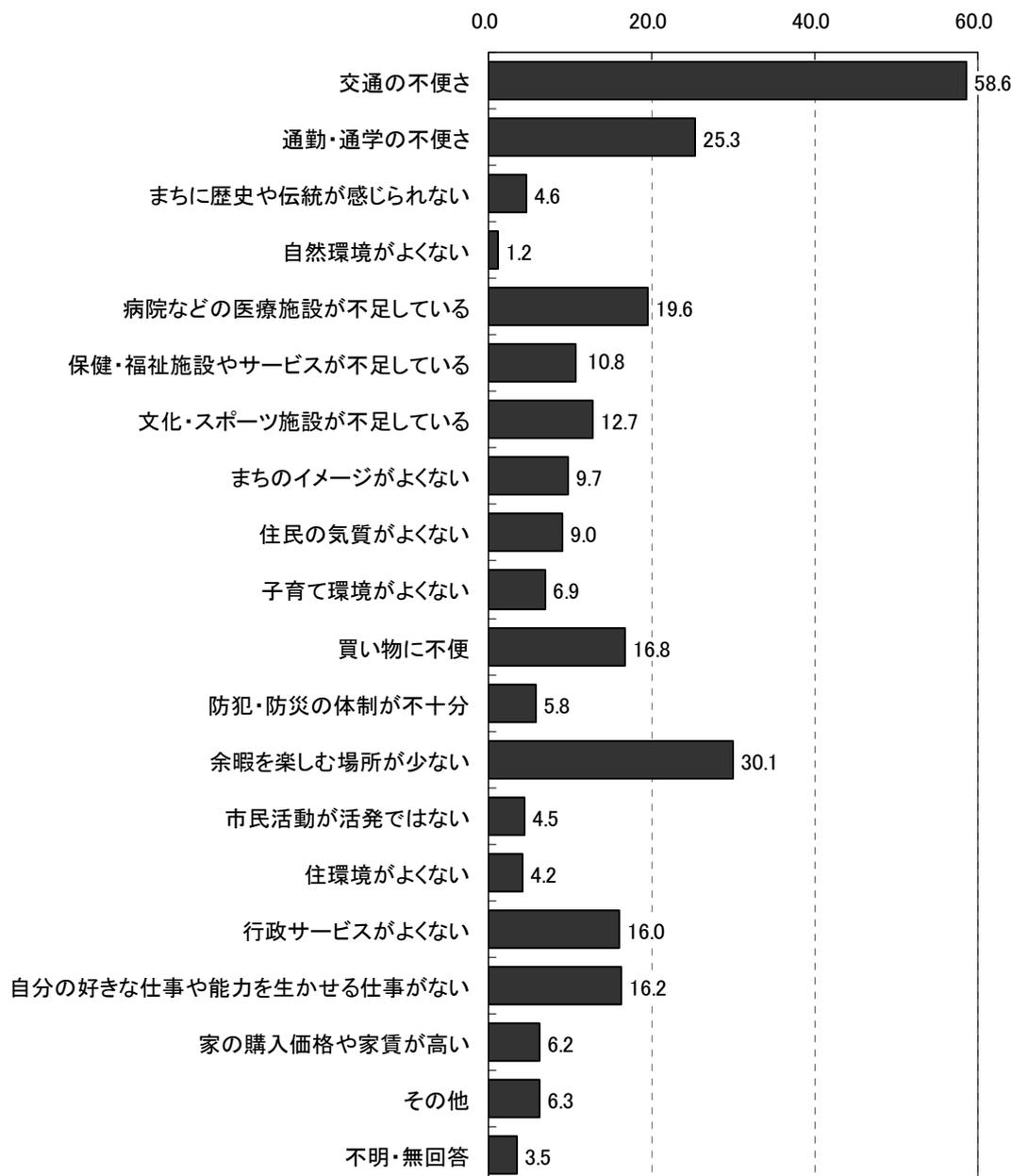
【調査票：問9】

(9) 加西市のよくないところ・改善すべきところはどれですか。(複数回答)

加西市のよくないところ・改善すべきところについてみると、「交通の不便さ」が58.6%と最も高く、次いで「余暇を楽しむ場所が少ない」が30.1%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)	
水道料金が高額	子どもに対する福祉や生活面で劣っている
税金が高額	きれいで大きな公園がない
ゴミ袋代が高額	外灯が少ないので増やしてほしい
活気がない	市内で買い物が充実してできない
ゴミの分別が多すぎる	介護施設の不足

## (9) × 年齢別

加西市のよくないところ・改善すべきところについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「交通の不便さ」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	交通の不便さ	通勤・通学の不便さ	まちに歴史や伝統が感じられない	自然環境がよくない	病院などの医療施設が不足している	保健・福祉施設やサービスが不足している
合計	1,097 100.0	<b>643</b> <b>58.6</b>	278 25.3	51 4.6	13 1.2	215 19.6	119 10.8
20歳未満	26 100.0	<b>18</b> <b>69.2</b>	13 50.0	0 0.0	0 0.0	4 15.4	1 3.8
20歳～29歳	113 100.0	<b>77</b> <b>68.1</b>	33 29.2	4 3.5	2 1.8	25 22.1	9 8.0
30歳～39歳	173 100.0	<b>96</b> <b>55.5</b>	44 25.4	6 3.5	1 0.6	38 22.0	16 9.2
40歳～49歳	171 100.0	<b>114</b> <b>66.7</b>	66 38.6	6 3.5	2 1.2	40 23.4	11 6.4
50歳～59歳	259 100.0	<b>153</b> <b>59.1</b>	67 25.9	11 4.2	2 0.8	47 18.1	31 12.0
60歳～69歳	315 100.0	<b>163</b> <b>51.7</b>	53 16.8	21 6.7	6 1.9	57 18.1	43 13.7
70歳以上	32 100.0	<b>22</b> <b>68.8</b>	2 6.3	3 9.4	0 0.0	4 12.5	8 25.0

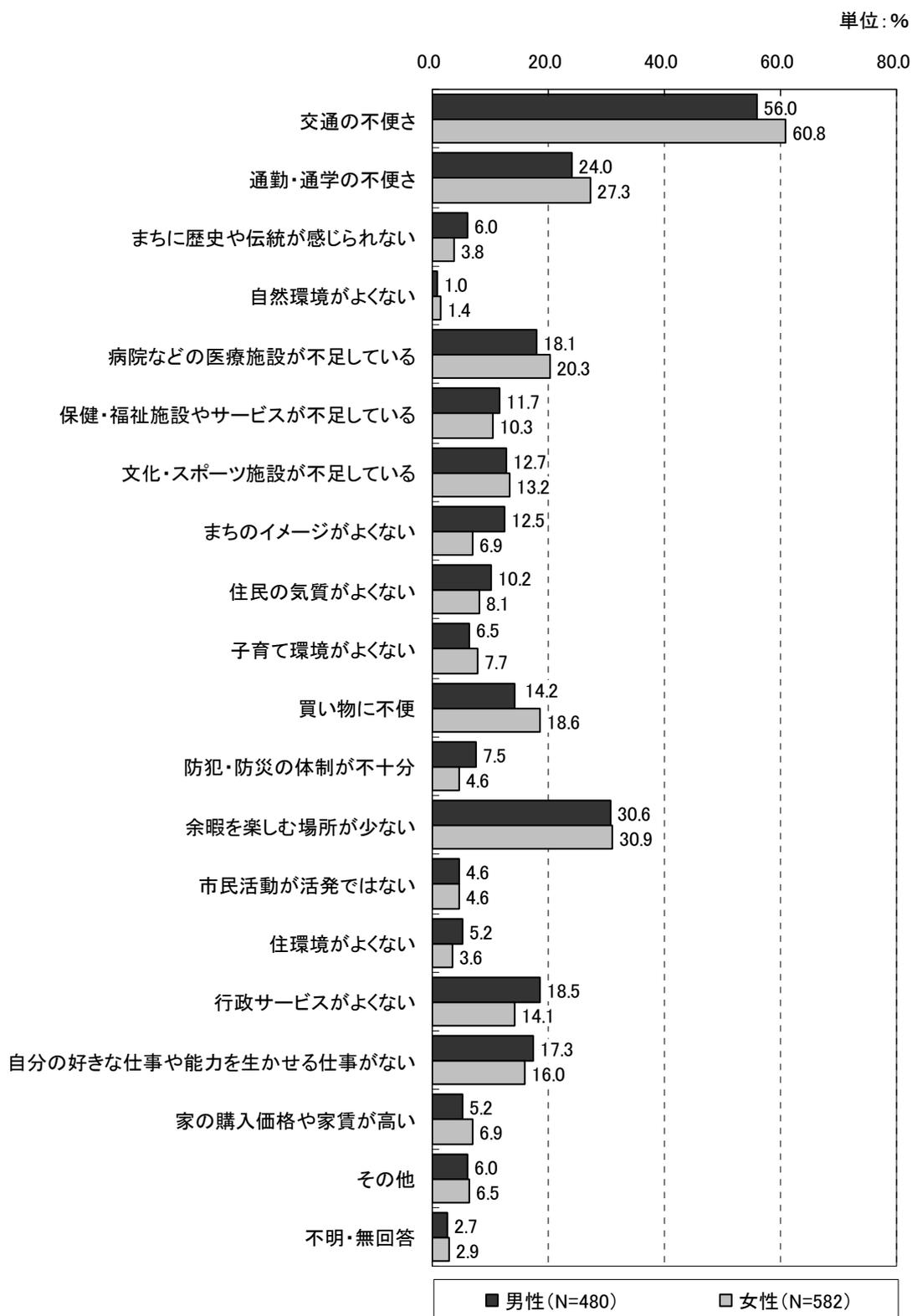
上段:度数 下段:%	文化・スポーツ施設が不足している	まちのイメージがよくない	住民の気質がよくない	子育て環境がよくない	買い物に不便	防犯・防災の体制が不十分	余暇を楽しむ場所が少ない
合計	139 12.7	106 9.7	99 9.0	76 6.9	184 16.8	64 5.8	330 30.1
20歳未満	3 11.5	1 3.8	3 11.5	0 0.0	9 34.6	0 0.0	9 34.6
20歳～29歳	20 17.7	13 11.5	6 5.3	16 14.2	30 26.5	7 6.2	51 45.1
30歳～39歳	20 11.6	15 8.7	18 10.4	24 13.9	23 13.3	8 4.6	50 28.9
40歳～49歳	32 18.7	17 9.9	16 9.4	14 8.2	23 13.5	12 7.0	49 28.7
50歳～59歳	34 13.1	27 10.4	22 8.5	12 4.6	43 16.6	11 4.2	74 28.6
60歳～69歳	27 8.6	30 9.5	32 10.2	7 2.2	46 14.6	25 7.9	86 27.3
70歳以上	3 9.4	3 9.4	2 6.3	3 9.4	10 31.3	1 3.1	11 34.4

上段:度数 下段:%	市民活動が活発ではない	住環境がよくない	行政サービスがよくない	自分の好きな仕事や能力を生かせる仕事がない	家の購入価格や家賃が高い	その他	不明・無回答
合計	49 4.5	46 4.2	176 16.0	178 16.2	68 6.2	69 6.3	38 3.5
20歳未満	1 3.8	1 3.8	4 15.4	5 19.2	1 3.8	1 3.8	0 0.0
20歳～29歳	5 4.4	4 3.5	21 18.6	27 23.9	10 8.8	8 7.1	1 0.9
30歳～39歳	9 5.2	12 6.9	31 17.9	30 17.3	14 8.1	11 6.4	5 2.9
40歳～49歳	10 5.8	7 4.1	29 17.0	36 21.1	11 6.4	13 7.6	1 0.6
50歳～59歳	9 3.5	11 4.2	34 13.1	46 17.8	16 6.2	19 7.3	7 2.7
60歳～69歳	15 4.8	10 3.2	53 16.8	34 10.8	13 4.1	15 4.8	16 5.1
70歳以上	0 0.0	1 3.1	4 12.5	0 0.0	3 9.4	2 6.3	0 0.0

## (9) ×性別

加西市のよくないところ・改善すべきところについて性別にみると、男女ともに「交通の不便さ」が最も高くなっています。

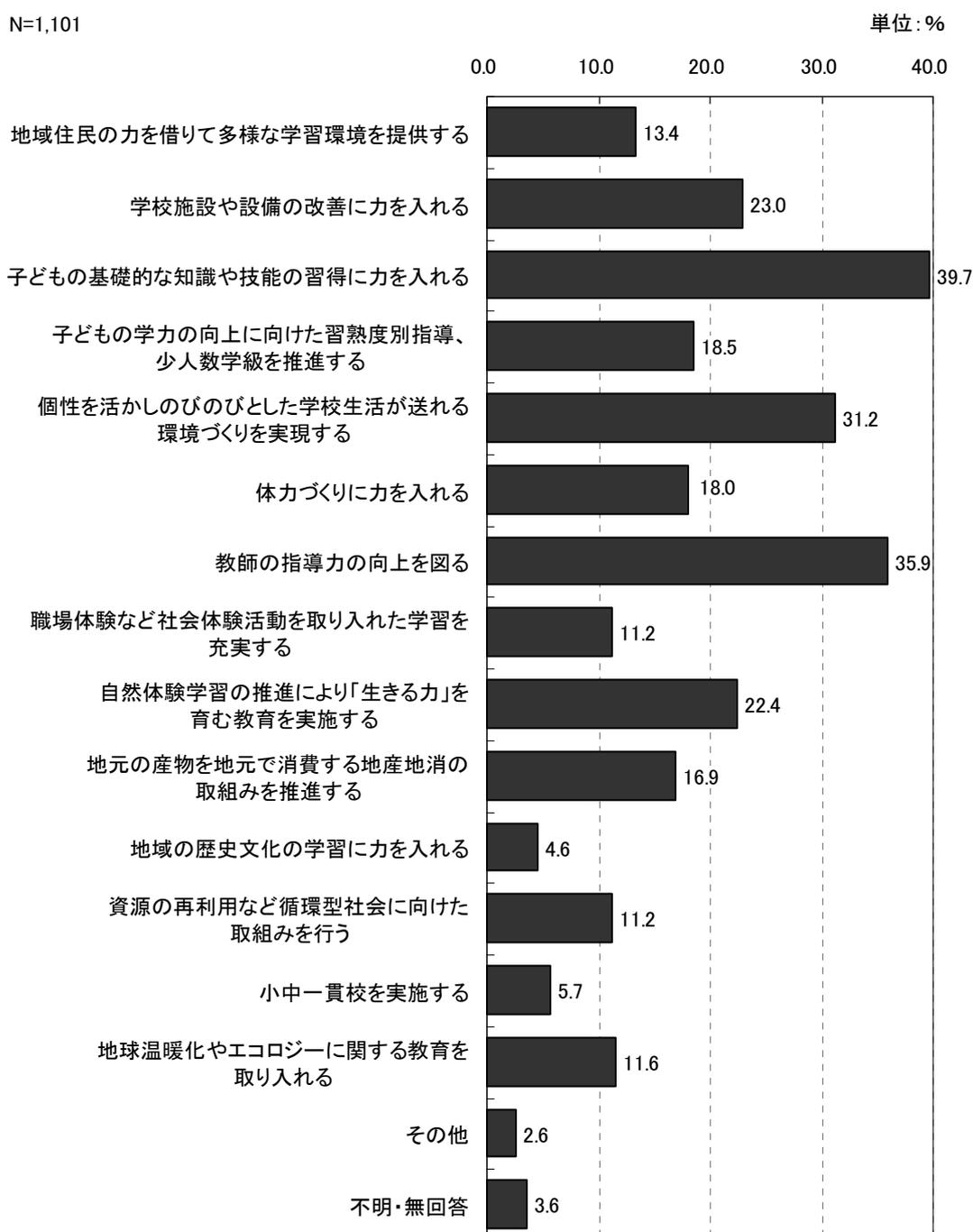


### 3. 加西市の各分野における取組みについて

【調査票：問 10－1】

(10) 特色ある教育の取組みを行うには、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。  
(複数回答)

特色ある教育の取組みのために、どのようなところに力を入れるべきかについてみると、「子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる」が39.7%と最も高く、次いで「教師の指導力の向上を図る」が35.9%となっています。



その他回答の内容(主なもの)
道徳やマナー、ルールを基礎とする
北条高校を中高一貫教育にし、各地から加西市に入学してもらう
学力のレベルをオープンにするべきである
教員が子どもの教育に専念できる環境をつくる
何の制限や制約なく若者が家を新築しやすいようにする
教育理念づくり
助け合える教育
色々なことに挑戦させ、本人の能力を伸ばす
外国語を教える以前に、正しい日本語を教える
学習面とスポーツ面の両方を鍛えること
少人数学級推進のために市が負担し、教員の増員をするべき
教員の教育
教員は適正かどうかを考えてほしい
塾などには頼らないような親の教育
月に1回、文化的環境を提供してほしい
将来の職業選択時の参考になるような取組みがあると、自分にあった職探しの参考になると思う
基本的な挨拶、年上に対する態度、言葉遣いなどの改善
自分たちの住んでいる地域に興味や関心を持つような学習
宗教的ではない徳育
全て昭和に戻す

## (10) × 年齢別

特色ある教育の取組むのために、どのようなところに力を入れるべきかについて年齢別にみると、20歳未満、70歳以上では、「教師の指導力の向上を図る」が最も高く、20歳～39歳、50歳～69歳では「子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる」が最も高くなっています。

また、40歳～49歳では、「子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる」「教師の指導力の向上を図る」がともに高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	地域住民の力を借りて多様な学習環境を提供する	学校施設や設備の改善に力を入れる	子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる	子どもの学力の向上に向けた習熟度別指導、少人数学級を推進する	個性を活かしのびのびとした学校生活を送れる環境づくりを実現する	体づくり力を入れる
合計	1,097 100.0	147 13.4	252 23.0	<b>435</b> <b>39.7</b>	203 18.5	342 31.2	197 18.0
20歳未満	26 100.0	3 11.5	10 38.5	6 23.1	6 23.1	5 19.2	6 23.1
20歳～29歳	113 100.0	17 15.0	24 21.2	<b>36</b> <b>31.9</b>	19 16.8	33 29.2	23 20.4
30歳～39歳	173 100.0	27 15.6	51 29.5	<b>64</b> <b>37.0</b>	32 18.5	56 32.4	28 16.2
40歳～49歳	171 100.0	25 14.6	62 36.3	<b>63</b> <b>36.8</b>	46 26.9	46 26.9	12 7.0
50歳～59歳	259 100.0	33 12.7	57 22.0	<b>109</b> <b>42.1</b>	54 20.8	73 28.2	44 17.0
60歳～69歳	315 100.0	38 12.1	39 12.4	<b>143</b> <b>45.4</b>	40 12.7	117 37.1	72 22.9
70歳以上	32 100.0	2 6.3	7 21.9	11 34.4	6 18.8	11 34.4	8 25.0

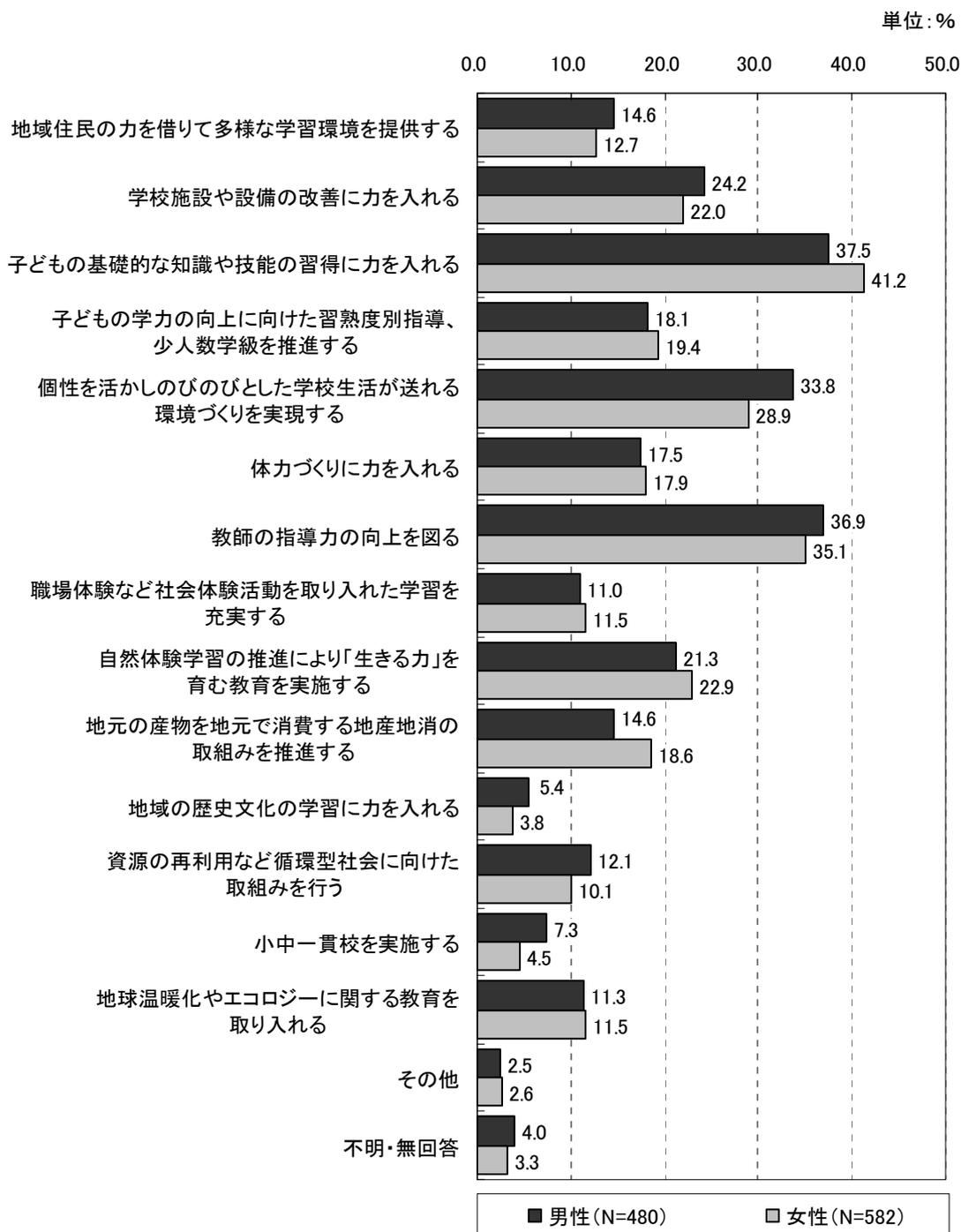
上段:度数 下段:%	教師の指導力の向上を図る	職場体験など社会体験活動を取り入れた学習を充実させる	自然体験学習の推進により「生きる力」を育む教育を実施する	地元の産物を地元で消費する地産地消の取組を推進する	地域の歴史文化の学習に力を入れる	資源の再利用など循環型社会に向けた取組を行う	小中一貫校を実施する
合計	394 35.9	123 11.2	246 22.4	185 16.9	51 4.6	123 11.2	62 5.7
20歳未満	<b>11</b> <b>42.3</b>	5 19.2	2 7.7	4 15.4	3 11.5	3 11.5	0 0.0
20歳～29歳	34 30.1	19 16.8	27 23.9	16 14.2	5 4.4	19 16.8	6 5.3
30歳～39歳	53 30.6	22 12.7	45 26.0	25 14.5	7 4.0	21 12.1	14 8.1
40歳～49歳	<b>63</b> <b>36.8</b>	24 14.0	30 17.5	26 15.2	6 3.5	16 9.4	11 6.4
50歳～59歳	102 39.4	22 8.5	58 22.4	44 17.0	18 6.9	33 12.7	14 5.4
60歳～69歳	114 36.2	26 8.3	72 22.9	64 20.3	9 2.9	26 8.3	14 4.4
70歳以上	<b>13</b> <b>40.6</b>	4 12.5	7 21.9	6 18.8	1 3.1	3 9.4	3 9.4

上段:度数 下段:%	地球温暖化やエコロジーに関する教育を取り入れる	その他	不明・無回答
合計	127 11.6	28 2.6	39 3.6
20歳未満	4 15.4	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	18 15.9	3 2.7	5 4.4
30歳～39歳	18 10.4	8 4.6	3 1.7
40歳～49歳	18 10.5	2 1.2	7 4.1
50歳～59歳	28 10.8	6 2.3	5 1.9
60歳～69歳	36 11.4	9 2.9	17 5.4
70歳以上	3 9.4	0 0.0	2 6.3

## (10) × 性別

特色ある教育の取組みのために、どのようなところに力を入れるべきかについて性別にみると、男女ともに「子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる」が最も高くなっています。



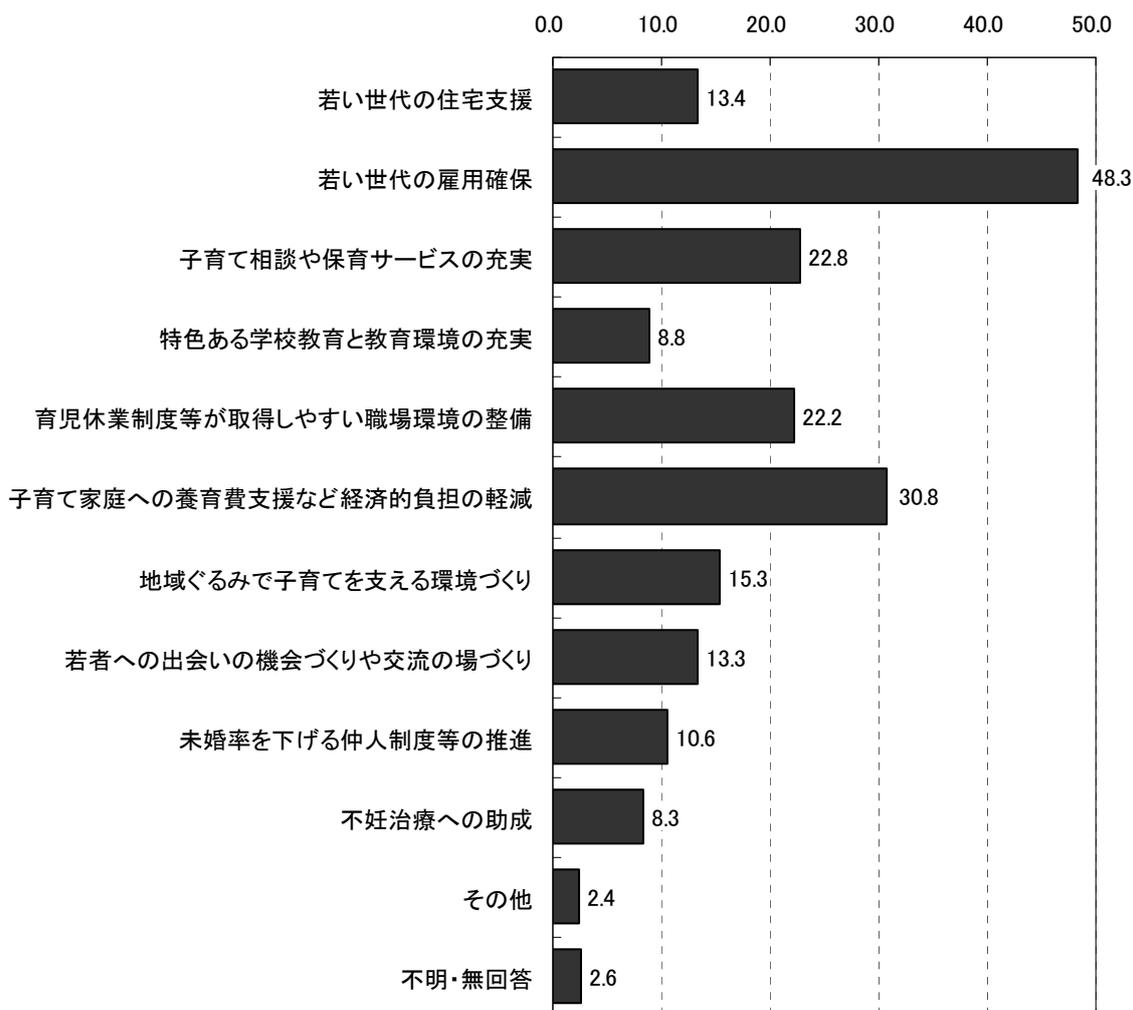
【調査票：問11-1】

(11) 少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。  
(複数回答)

少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきかについてみると、「若い世代の雇用確保」が48.3%と最も高く、次いで「子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減」が30.8%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)	
若い世代が生活しやすい地域の環境づくり	障がい者への支援
保育サービスの時間延長及び土日祝祭日や盆、年末年始預りの充実	若者へ家族の大切さや育児、子孫を残す大切さ、少子化の問題点を継続的に教育する学習会の実施
学童保育の時間延長及び土日祝祭日や盆、年末年始預りの充実	子どもを預けて働ける環境の充実
抵抗なくコミュニティに入れる雰囲気づくりと新しいコミュニティづくりが必要である	所得により医療費を無料にする
保育料の無料化	小学校6年生までは医療費を無料にする
給食費の無料化	インフルエンザなどの予防接種料金の助成
教育費をあまり多くかからないようにしてほしい	少子化に対応した政策
国土に対して人口が多いため、少子化にするべきである	中高生の性教育の充実

## (11) × 年齢別

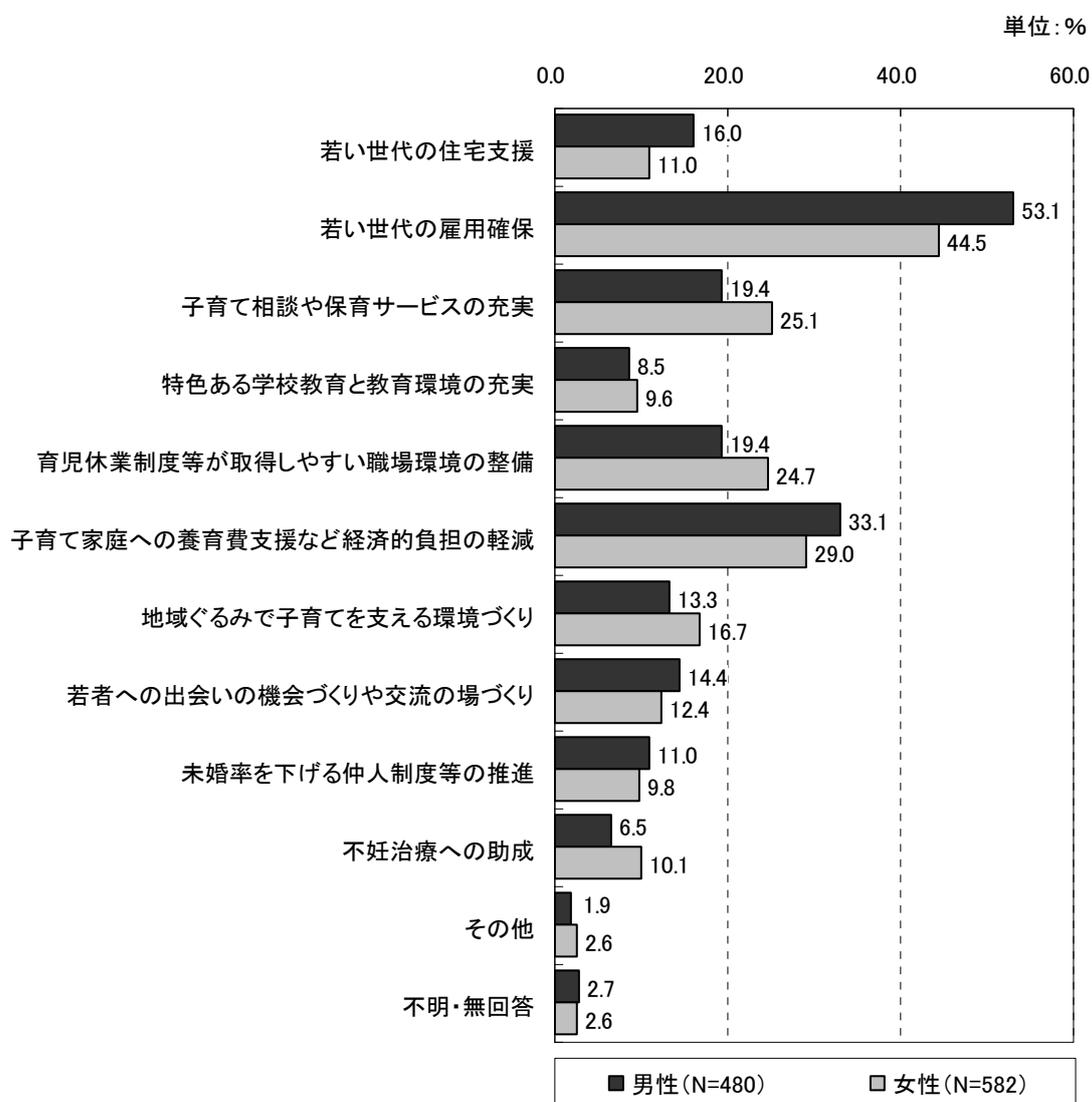
少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきかについて年齢別にみると、20歳未満～29歳、40歳～70歳以上では「若い世代の雇用確保」が最も高く、30歳～39歳では「子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	若い世代の 住宅支援	若い世代の 雇用確保	子育て相談や 保育サービスの 充実	特色ある学校 教育と教育 環境の充実	育児休業制度 等が取得 しやすい職場 環境の整備	子育て家庭 への養育費 支援など 経済的負担の 軽減
合計	1,097 100.0	147 13.4	530 48.3	250 22.8	97 8.8	244 22.2	338 30.8
20歳未満	26 100.0	3 11.5	11 42.3	7 26.9	4 15.4	8 30.8	8 30.8
20歳～29歳	113 100.0	21 18.6	57 50.4	28 24.8	5 4.4	24 21.2	45 39.8
30歳～39歳	173 100.0	28 16.2	59 34.1	30 17.3	21 12.1	33 19.1	84 48.6
40歳～49歳	171 100.0	25 14.6	78 45.6	41 24.0	15 8.8	47 27.5	58 33.9
50歳～59歳	259 100.0	34 13.1	150 57.9	47 18.1	22 8.5	65 25.1	75 29.0
60歳～69歳	315 100.0	32 10.2	152 48.3	90 28.6	26 8.3	59 18.7	62 19.7
70歳以上	32 100.0	2 6.3	18 56.3	6 18.8	4 12.5	7 21.9	5 15.6

上段:度数 下段:%	地域ぐるみで 子育てを 支える環境 づくり	若者への 出会いの機会 づくりや交流 の場づくり	未婚率を 下げる仲人 制度等の推進	不妊治療への 助成	その他	不明・無回答
合計	168 15.3	146 13.3	116 10.6	91 8.3	26 2.4	28 2.6
20歳未満	7 26.9	5 19.2	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	10 8.8	14 12.4	5 4.4	13 11.5	4 3.5	3 2.7
30歳～39歳	16 9.2	17 9.8	12 6.9	31 17.9	12 6.9	3 1.7
40歳～49歳	25 14.6	13 7.6	13 7.6	19 11.1	3 1.8	4 2.3
50歳～59歳	47 18.1	27 10.4	28 10.8	9 3.5	4 1.5	5 1.9
60歳～69歳	59 18.7	59 18.7	47 14.9	16 5.1	2 0.6	12 3.8
70歳以上	2 6.3	10 31.3	7 21.9	1 3.1	0 0.0	1 3.1

## (11) ×性別

少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきかについて性別にみると、「若い世代の雇用確保」「子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減」などでは男性の方が高く、「子育て相談や保育サービスの充実」「育児休業制度等が取得しやすい職場環境の整備」などでは女性の方が高くなっています。



## (11) ×家族構成別

少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきかについて家族構成別にみると、いずれの家族構成においても「若い世代の雇用確保」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	若い世代の 住宅支援	若い世代の 雇用確保	子育て相談や 保育サービスの 充実	特色ある学校 教育と教育 環境の充実	育児休業制度 等が取得 しやすい職場 環境の整備	子育て家庭 への養育費 支援など 経済的負担の 軽減
合計	1,097 100.0	147 13.4	530 48.3	250 22.8	97 8.8	244 22.2	338 30.8
単身(ひとり ぐらし)世帯	46 100.0	5 10.9	18 39.1	11 23.9	5 10.9	10 21.7	9 19.6
夫婦のみ世帯 (1世代)	195 100.0	24 12.3	94 48.2	53 27.2	18 9.2	45 23.1	49 25.1
2世代世帯 ('親と子ども' など)	512 100.0	70 13.7	249 48.6	112 21.9	43 8.4	113 22.1	154 30.1
3世代世帯 ('親と子と孫' など)	296 100.0	42 14.2	146 49.3	68 23.0	27 9.1	70 23.6	113 38.2
その他	35 100.0	4 11.4	17 48.6	4 11.4	4 11.4	4 11.4	11 31.4

上段:度数 下段:%	地域ぐるみで 子育てを 支える環境 づくり	若者への 出会いの機会 づくりや交流 の場づくり	未婚率を 下げる仲人 制度等の推進	不妊治療への 助成	その他	不明・無回答
合計	168 15.3	146 13.3	116 10.6	91 8.3	26 2.4	28 2.6
単身(ひとり ぐらし)世帯	11 23.9	10 21.7	2 4.3	2 4.3	3 6.5	2 4.3
夫婦のみ世帯 (1世代)	24 12.3	23 11.8	23 11.8	15 7.7	4 2.1	6 3.1
2世代世帯 ('親と子ども' など)	83 16.2	71 13.9	52 10.2	52 10.2	13 2.5	12 2.3
3世代世帯 ('親と子と孫' など)	42 14.2	39 13.2	29 9.8	20 6.8	3 1.0	3 1.0
その他	5 14.3	2 5.7	7 20.0	0 0.0	1 2.9	4 11.4

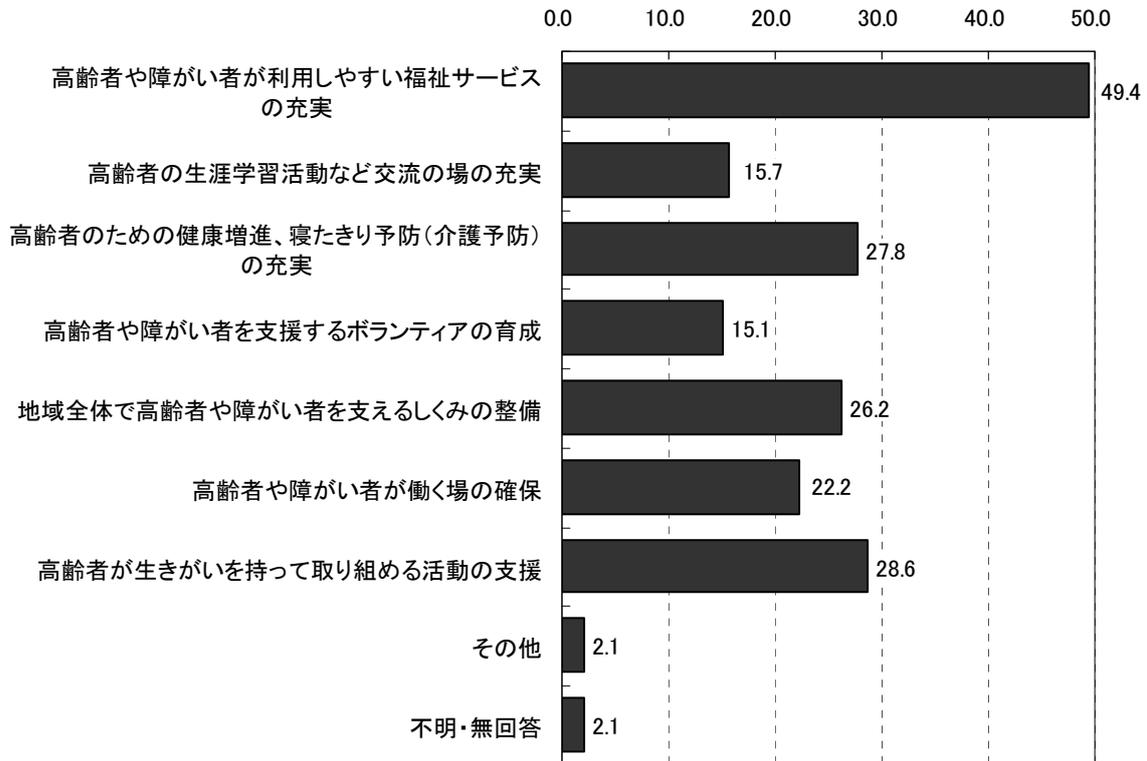
【調査票：問11-2】

(12) 高齢化が進む中での高齢者福祉や、障がい者福祉を充実するには、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

高齢化が進む中での高齢者福祉や、障がい者福祉を充実するには、どのようなところに力を入れるべきかについてみると、「高齢者や障がい者が利用しやすい福祉サービスの充実」が49.4%と最も高く、次いで「高齢者が生きがいを持って取り組める活動の支援」が28.6%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)	
要介護者や障がい者を支える家族を支援する仕組みやサービスの充実	交通の便をよくする
年金を増やす	高齢者や障がい者が気軽に利用できる無料バスの運行
外出しやすい環境づくり	福祉サービスなどの手続きの簡素化
技術のある医師の充実を図ってほしい	地域住民同士の助け合い
多世帯同居を推進することにより、小さな経済で大きな福祉の充実が得られると思う	他人が決めるのではなく、個人個人が意思を持って生きるべき
介護保険の無料化	高齢者や障がい者を支援する市の組織を育成する
安価で入れる施設の充実	公的機関、福祉施設の資質、職員個人のレベル向上が必要である
手続きを簡素化する	市役所職員の仲間意識が強く排他的なため、意識改革が必要
住民が障がい者への理解を深めること	自立させ、甘えさせない

## (12) × 年齢別

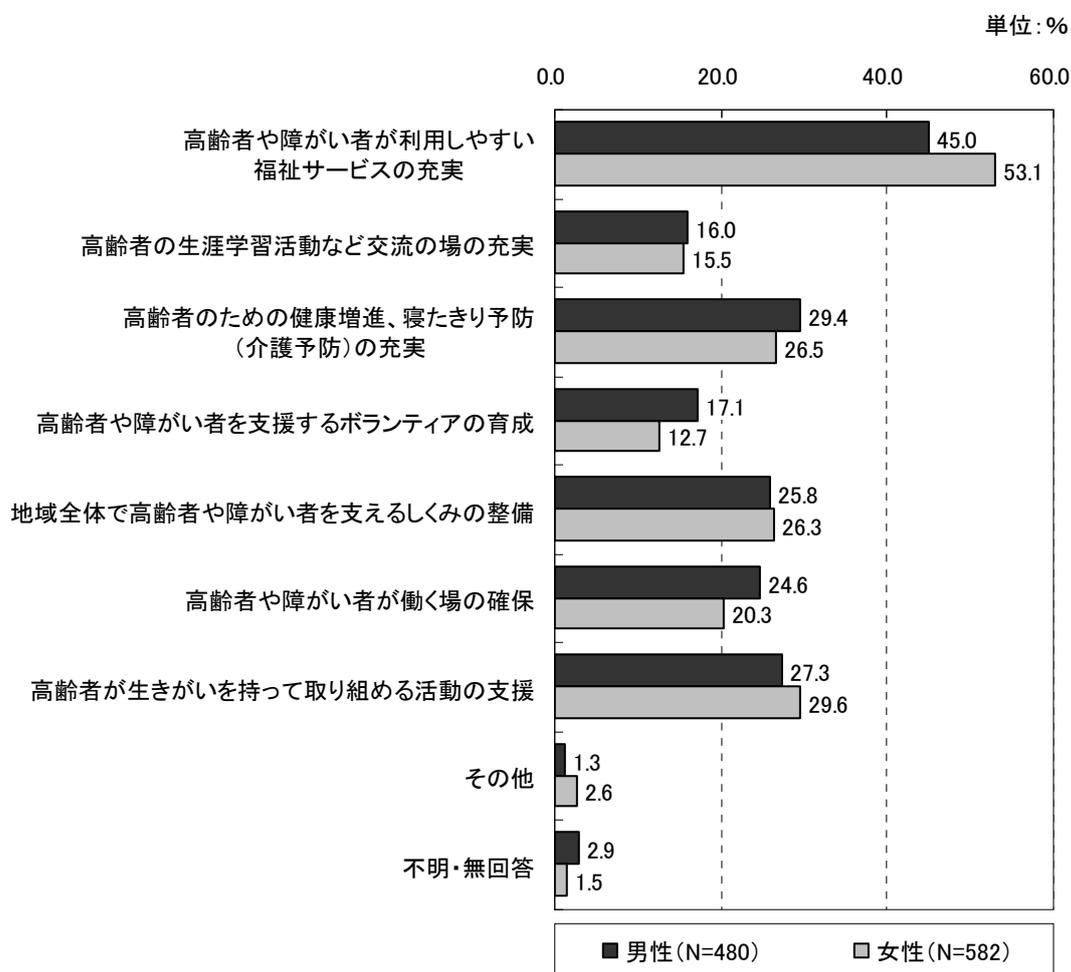
高齢化が進む中での高齢者福祉や、障がい者福祉を充実するには、どのようなところに力を入れるべきかについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「高齢者や障がい者が利用しやすい福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	高齢者や障がい者が利用しやすい福祉サービスの充実	高齢者の生涯学習活動など交流の場の充実	高齢者のための健康増進、寝たきり予防(介護予防)の充実	高齢者や障がい者を支援するボランティアの育成	地域全体で高齢者や障がい者を支えるしくみの整備	高齢者や障がい者が働く場の確保
合計	1,097 100.0	542 49.4	172 15.7	305 27.8	166 15.1	287 26.2	243 22.2
20歳未満	26 100.0	17 65.4	6 23.1	5 19.2	8 30.8	5 19.2	5 19.2
20歳～29歳	113 100.0	55 48.7	17 15.0	34 30.1	20 17.7	20 17.7	33 29.2
30歳～39歳	173 100.0	86 49.7	25 14.5	39 22.5	26 15.0	41 23.7	55 31.8
40歳～49歳	171 100.0	88 51.5	26 15.2	56 32.7	23 13.5	44 25.7	45 26.3
50歳～59歳	259 100.0	128 49.4	40 15.4	61 23.6	41 15.8	76 29.3	53 20.5
60歳～69歳	315 100.0	151 47.9	48 15.2	98 31.1	42 13.3	92 29.2	45 14.3
70歳以上	32 100.0	16 50.0	9 28.1	7 21.9	3 9.4	6 18.8	4 12.5

上段:度数 下段:%	高齢者が生きがいを 持って取り組める活動 の支援	その他	不明・無回答
合計	314 28.6	23 2.1	23 2.1
20歳未満	6 23.1	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	25 22.1	3 2.7	4 3.5
30歳～39歳	47 27.2	6 3.5	4 2.3
40歳～49歳	41 24.0	4 2.3	3 1.8
50歳～59歳	75 29.0	7 2.7	4 1.5
60歳～69歳	108 34.3	1 0.3	6 1.9
70歳以上	11 34.4	1 3.1	2 6.3

## (12) × 性別

高齢化が進む中での高齢者福祉や、障がい者福祉を充実するには、どのようなところに力を入れるべきかについて性別にみると、男女ともに「高齢者や障がい者が利用しやすい福祉サービスの充実」が最も高くなっています。



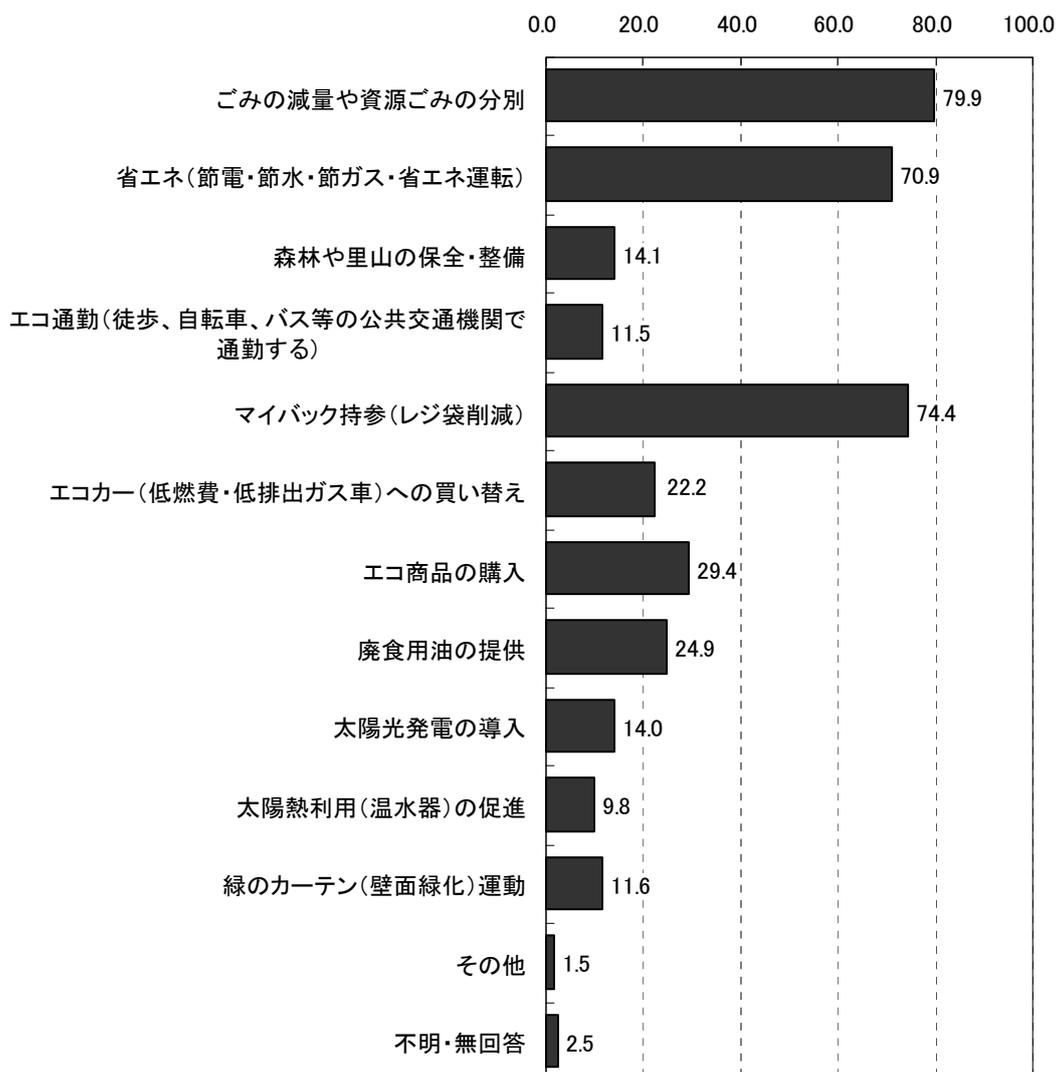
【調査票：問 12-1】

(13) 低炭素社会の実現に向け、環境対策のために、あなたがしていること、これからしようと思われることはどれですか。(複数回答)

低炭素社会の実現に向け、環境対策のためにしていること、これからしようと思うことについてみると、「ごみの減量や資源ごみの分別」が 79.9%と最も高く、次いで「マイバック持参（レジ袋削減）」が 74.4%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
近所でのおすそわけ
近所での共同作物作業
小経済や節約生活をして、お金をあまり動かさないことが環境破壊を防ぐ
水道代の値下げ
すでにできることはやっている
社会に対するアンテナを受ける心を持つ

### (13) × 年齢別

低炭素社会の実現に向け、環境対策のためにしていること、これからしようと思うことについて年齢別にみると、20歳未満～39歳では「マイバック持参（レジ袋削減）」が最も高く、40歳～70歳以上では「ごみの減量や資源ごみの分別」が最も高くなっています。

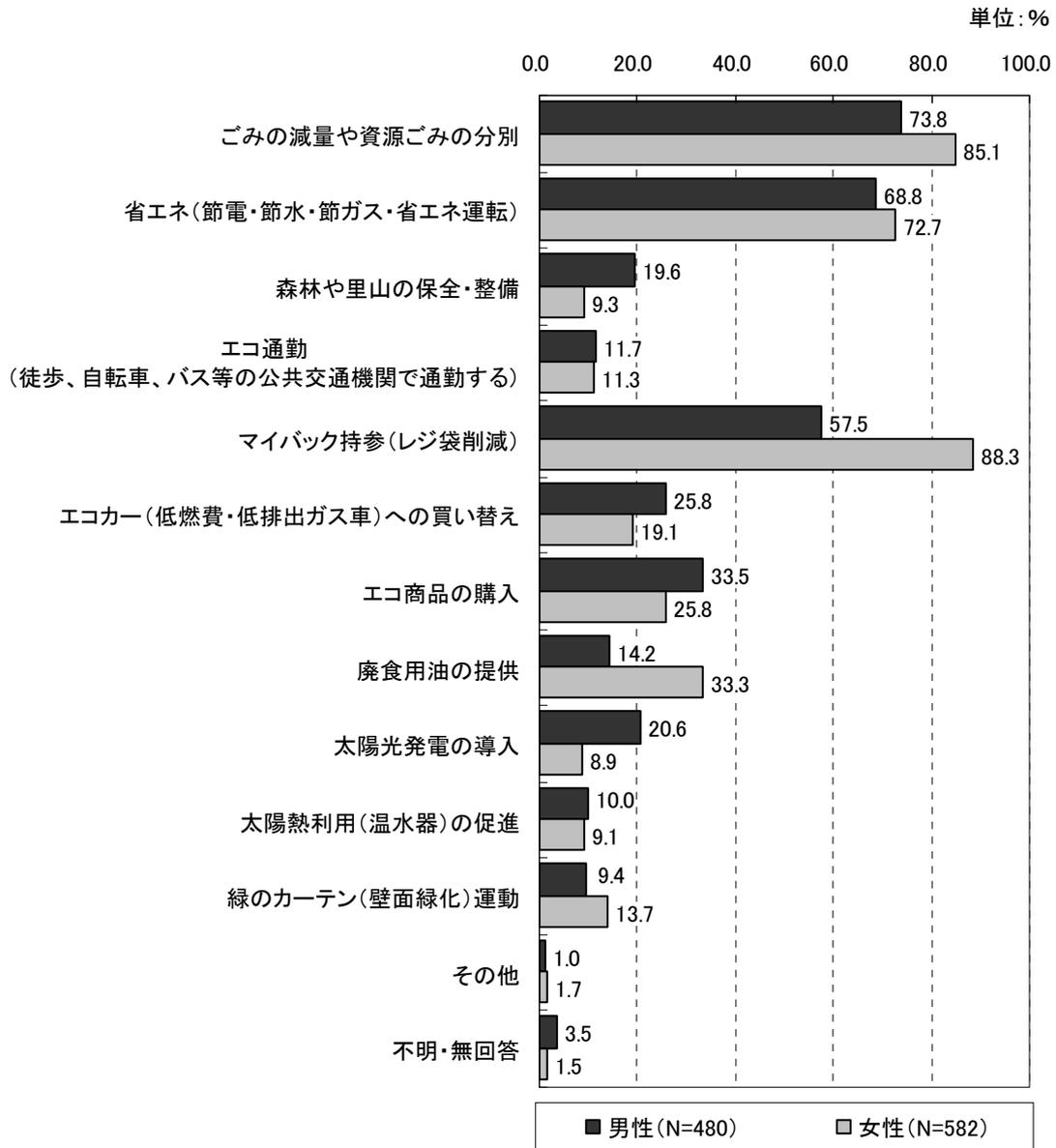
上段:度数 下段:%	合計	ごみの減量や 資源ごみの分別	省エネ(節電・ 節水・節ガス・ 省エネ運転)	森林や里山の 保全・整備	エコ通勤(徒歩、 自転車、バス等 の公共交通機関 で通勤する)	マイバック持参 (レジ袋削減)	エコカー (低燃費・ 低排出ガス車) への買い替え
合計	1,097 100.0	<b>876</b> <b>79.9</b>	778 70.9	155 14.1	126 11.5	816 74.4	243 22.2
20歳未満	26 100.0	16 61.5	17 65.4	0 0.0	4 15.4	<b>18</b> <b>69.2</b>	1 3.8
20歳～29歳	113 100.0	75 66.4	74 65.5	6 5.3	14 12.4	<b>79</b> <b>69.9</b>	26 23.0
30歳～39歳	173 100.0	130 75.1	127 73.4	15 8.7	22 12.7	<b>136</b> <b>78.6</b>	41 23.7
40歳～49歳	171 100.0	<b>145</b> <b>84.8</b>	127 74.3	19 11.1	14 8.2	129 75.4	52 30.4
50歳～59歳	259 100.0	<b>209</b> <b>80.7</b>	184 71.0	43 16.6	24 9.3	186 71.8	57 22.0
60歳～69歳	315 100.0	<b>265</b> <b>84.1</b>	216 68.6	62 19.7	40 12.7	236 74.9	57 18.1
70歳以上	32 100.0	<b>29</b> <b>90.6</b>	26 81.3	7 21.9	5 15.6	25 78.1	7 21.9

上段:度数 下段:%	エコ商品の購入	廃食用油の提供	太陽光発電の 導入	太陽熱利用 (温水器)の促進	緑のカーテン (壁面緑化)運動	その他	不明・無回答
合計	323 29.4	273 24.9	154 14.0	108 9.8	127 11.6	16 1.5	27 2.5
20歳未満	1 3.8	2 7.7	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	32 28.3	13 11.5	19 16.8	10 8.8	11 9.7	1 0.9	2 1.8
30歳～39歳	47 27.2	41 23.7	17 9.8	10 5.8	14 8.1	3 1.7	6 3.5
40歳～49歳	55 32.2	43 25.1	25 14.6	11 6.4	19 11.1	4 2.3	4 2.3
50歳～59歳	82 31.7	66 25.5	44 17.0	29 11.2	37 14.3	4 1.5	5 1.9
60歳～69歳	88 27.9	93 29.5	40 12.7	42 13.3	40 12.7	3 1.0	10 3.2
70歳以上	13 40.6	12 37.5	6 18.8	5 15.6	5 15.6	0 0.0	0 0.0

(13) × 性別

低炭素社会の実現に向け、環境対策のためにしていること、これからしようと思うことについて性別にみると、男性では「ごみの減量や資源ごみの分別」が最も高く、女性では「マイバック持参（レジ袋削減）」が最も高くなっています。



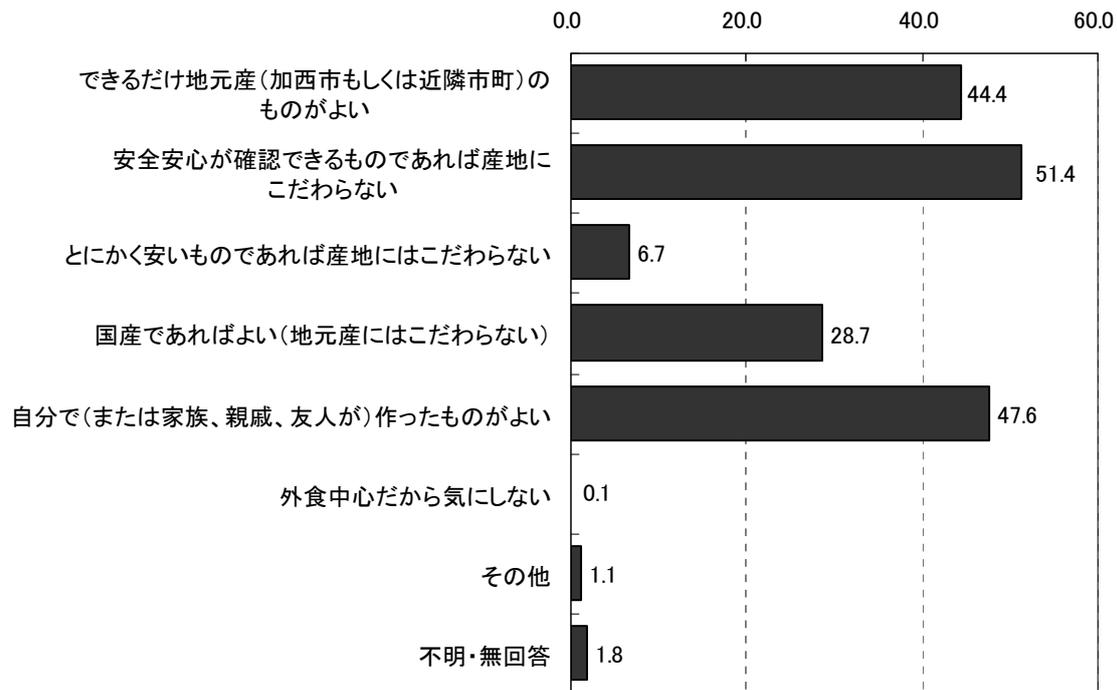
【調査票：問 13-1】

(14) あなたが毎日食べている食材はどのようなものが望ましいとお考えですか。  
(複数回答)

望ましい毎日の食材についてみると、「安全安心が確認できるものであれば産地にこだわらない」が51.4%と最も高く、次いで「自分で（または家族、親戚、友人が）作ったものがよい」が47.6%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
作り手の熱意が伝わるもの
将来は自分で作ったものを食べたい
地産地消すれば市の活性化に繋がると思う
安い国産、地元産
添加物が少なく、新鮮で自然な国産の食材
国産、安全安心が確認できるもの
国産

### (14) × 年齢別

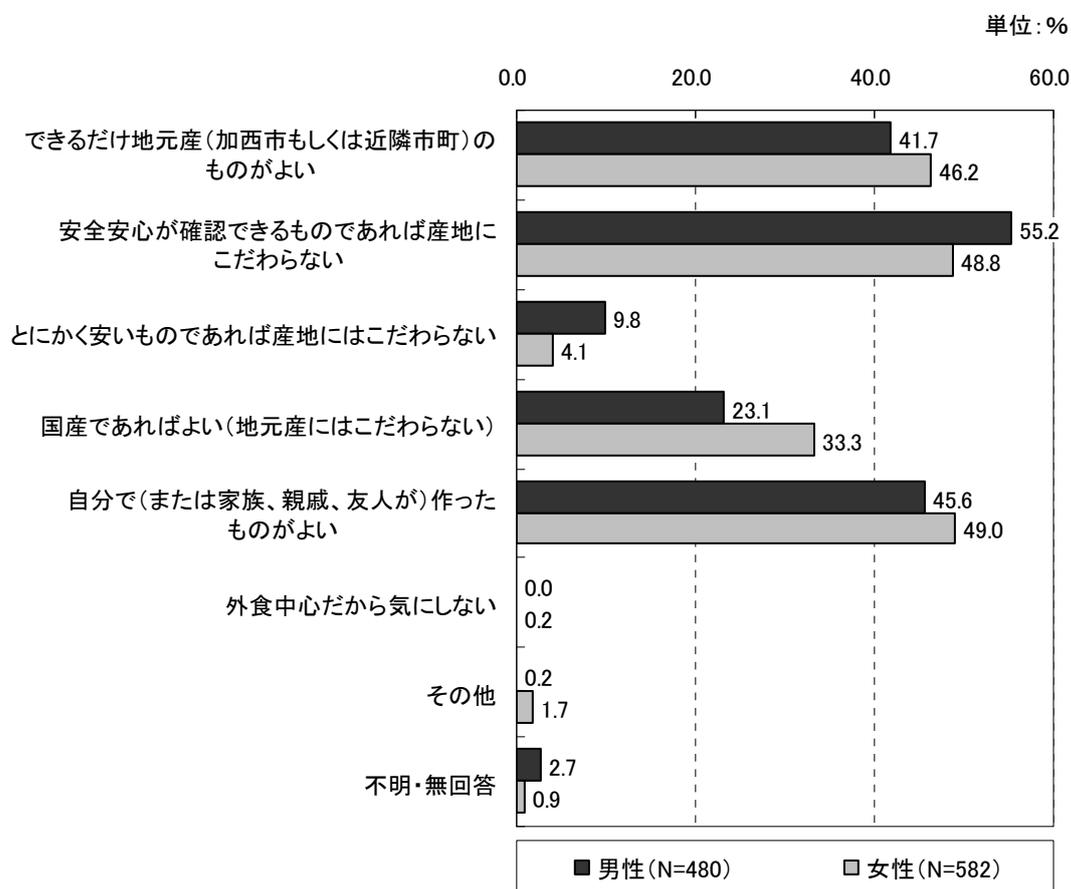
望ましい毎日の食材について年齢別にみると、20歳未満～59歳では「安心安全が確認できるものであれば産地にこだわらない」が最も高く、60歳～70歳以上では「自分で（または家族、親戚、友人が）作ったものがよい」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	できるだけ 地元産(加西市 もしくは近隣 市町)のものがよい	安全安心が確認 できるもので あれば産地に こだわらない	とにかく安いもの であれば産地に こだわらない	国産であれば よい(地元産 にはこだわら ない)	自分で(または 家族、親戚、 友人が)作った ものがよい	外食中心だから 気にしない
合計	1,097 100.0	487 44.4	564 51.4	74 6.7	315 28.7	522 47.6	1 0.1
20歳未満	26 100.0	7 26.9	16 61.5	5 19.2	7 26.9	11 42.3	0 0.0
20歳～29歳	113 100.0	40 35.4	65 57.5	8 7.1	34 30.1	51 45.1	0 0.0
30歳～39歳	173 100.0	66 38.2	85 49.1	14 8.1	50 28.9	73 42.2	0 0.0
40歳～49歳	171 100.0	66 38.6	107 62.6	12 7.0	51 29.8	71 41.5	0 0.0
50歳～59歳	259 100.0	115 44.4	135 52.1	21 8.1	80 30.9	118 45.6	0 0.0
60歳～69歳	315 100.0	171 54.3	138 43.8	12 3.8	79 25.1	176 55.9	1 0.3
70歳以上	32 100.0	18 56.3	12 37.5	1 3.1	12 37.5	19 59.4	0 0.0

上段:度数 下段:%	その他	不明・無回答
合計	12 1.1	20 1.8
20歳未満	1 3.8	0 0.0
20歳～29歳	1 0.9	2 1.8
30歳～39歳	6 3.5	4 2.3
40歳～49歳	2 1.2	2 1.2
50歳～59歳	2 0.8	5 1.9
60歳～69歳	0 0.0	7 2.2
70歳以上	0 0.0	0 0.0

## (14) × 性別

望ましい毎日の食材について性別にみると、男性では「安心安全が確認できるものであれば産地にこだわらない」が最も高く、女性では「自分で（または家族、親戚、友人が）作ったものがよい」が最も高くなっています。



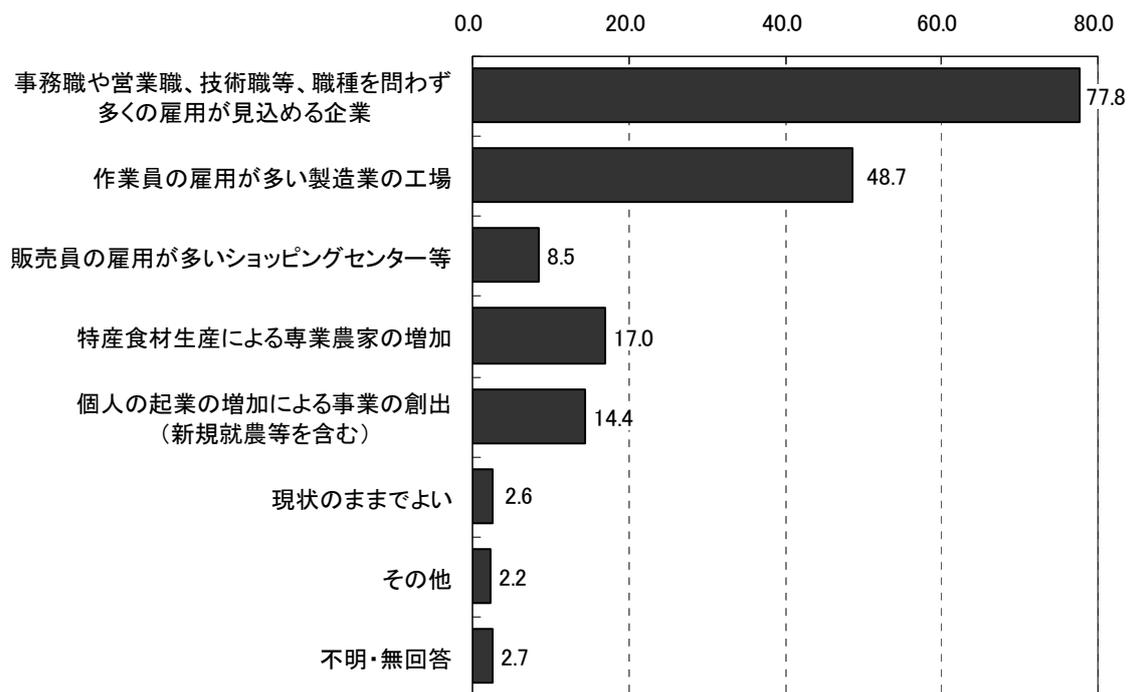
【調査票：問 13-2】

(15) 加西市（または加西市から通勤できる範囲内）にどのような産業や企業があれば、加西市の雇用環境が安定し、定住促進につながるとお考えですか。（複数回答）

加西市にどのような産業や企業があれば、雇用環境の安定と定住促進につながるとお考えかについてみると、「事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業」が 77.8%と最も高く、次いで「作業員の雇用が多い製造業の工場」が 48.7%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
正社員で雇用してくれる
インフラに関する産業や企業
社会福祉専門職
若者がUターン就職したくなるような
短時間でも就労できる
若い子どもがいてもできる在宅職
IT、金融など、交通インフラや資源などに依存しない産業
大型ホームセンター
家電店
品質のよい食材を扱う飲食店
子ども服店
ナチュラル系婦人服店
農産物を核としたコンビニート
パチスロメーカー
納税が見込める

### (15) × 年齢別

加西市にどのような産業や企業があれば、雇用環境の安定と定住促進につながると思うかについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業	作業員の雇用が多い製造業の工場	販売員の雇用が多いショッピングセンター等	特産食材生産による専業農家の増加	個人の起業の増加による事業の創出(新規就農等を含む)	現状のままでよい
合計	1,097 100.0	853 77.8	534 48.7	93 8.5	187 17.0	158 14.4	29 2.6
20歳未満	26 100.0	22 84.6	12 46.2	5 19.2	2 7.7	2 7.7	0 0.0
20歳～29歳	113 100.0	95 84.1	39 34.5	19 16.8	15 13.3	13 11.5	4 3.5
30歳～39歳	173 100.0	134 77.5	78 45.1	14 8.1	30 17.3	29 16.8	3 1.7
40歳～49歳	171 100.0	145 84.8	86 50.3	17 9.9	21 12.3	17 9.9	7 4.1
50歳～59歳	259 100.0	197 76.1	139 53.7	17 6.6	52 20.1	41 15.8	2 0.8
60歳～69歳	315 100.0	234 74.3	158 50.2	16 5.1	62 19.7	46 14.6	11 3.5
70歳以上	32 100.0	22 68.8	18 56.3	3 9.4	4 12.5	7 21.9	1 3.1

上段:度数 下段:%	その他	不明・無回答
合計	24 2.2	30 2.7
20歳未満	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	4 3.5	3 2.7
30歳～39歳	3 1.7	5 2.9
40歳～49歳	7 4.1	0 0.0
50歳～59歳	5 1.9	4 1.5
60歳～69歳	5 1.6	17 5.4
70歳以上	0 0.0	1 3.1

### (15) ×職業別

加西市にどのような産業や企業があれば、雇用環境の安定と定住促進につながると思うかについて職業別にみると、勤め人（市内・市外で勤務）、自営業・自由業、パート・アルバイト・フリーター、学生、主婦・主夫、無職、その他では「事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業」が最も高く、農業では「作業員の雇用が多い製造業の工場」が最も高くなっています。また、求職中では「事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業」「作業員の雇用が多い製造業の工場」がともに高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業	作業員の雇用が多い製造業の工場	販売員の雇用が多いショッピングセンター等	特産食材生産による専業農家の増加	個人の起業の増加による事業の創出(新規就農等を含む)	現状のままでよい
合計	1,097 100.0	853 77.8	534 48.7	93 8.5	187 17.0	158 14.4	29 2.6
勤め人 (市内で勤務)	236 100.0	195 82.6	120 50.8	16 6.8	35 14.8	31 13.1	6 2.5
勤め人 (市外で勤務)	230 100.0	179 77.8	119 51.7	22 9.6	40 17.4	29 12.6	4 1.7
自営業・自由業 (医師・弁護士など)	91 100.0	70 76.9	40 44.0	5 5.5	20 22.0	19 20.9	1 1.1
農業	25 100.0	13 52.0	15 60.0	2 8.0	5 20.0	8 32.0	2 8.0
パート・アルバイト・フリーター	133 100.0	106 79.7	68 51.1	15 11.3	22 16.5	10 7.5	2 1.5
学生 (予備校生を含む)	36 100.0	31 86.1	12 33.3	7 19.4	3 8.3	2 5.6	1 2.8
主婦・主夫 (家事専業)	192 100.0	158 82.3	81 42.2	16 8.3	38 19.8	30 15.6	5 2.6
求職中(失業中)	11 100.0	7 63.6	7 63.6	0 0.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0
無職	121 100.0	77 63.6	62 51.2	8 6.6	19 15.7	23 19.0	7 5.8
その他	10 100.0	10 100.0	5 50.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0

上段:度数 下段:%	その他	不明・無回答
合計	24 2.2	30 2.7
勤め人 (市内で勤務)	4 1.7	6 2.5
勤め人 (市外で勤務)	3 1.3	7 3.0
自営業・自由業 (医師・弁護士など)	3 3.3	1 1.1
農業	0 0.0	1 4.0
パート・アルバイト・フリーター	4 3.0	1 0.8
学生 (予備校生を含む)	2 5.6	0 0.0
主婦・主夫 (家事専業)	6 3.1	2 1.0
求職中(失業中)	1 9.1	0 0.0
無職	1 0.8	11 9.1
その他	0 0.0	0 0.0

【調査票：問 14－1】

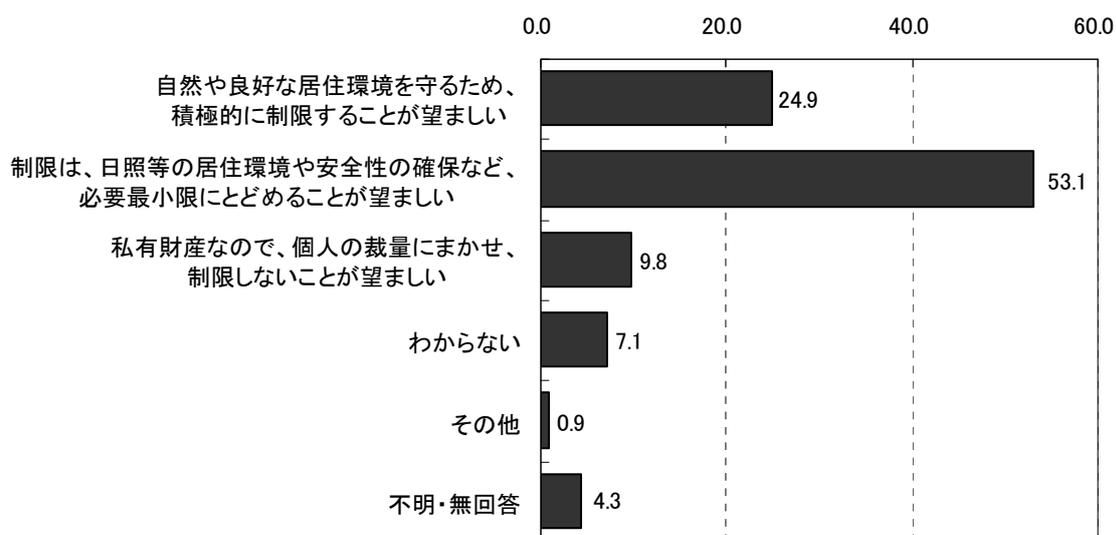
(16) 農地や緑地を宅地化することを制限したり、建てられる建物の種類（工場や店舗など）や大きさ、高さなどを制限することについて、あなたはどのように思われますか。

（単数回答）

農地や緑地の宅地化制限や建物の種類・大きさ・高さ制限について思うことについてみると、「制限は、日照等の居住環境や安全性の確保など、必要最小限にとどめることが望ましい」が 53.1%と最も高く、次いで「自然や良好な居住環境を守るため、積極的に制限することが望ましい」が 24.9%となっています。

N=1,101

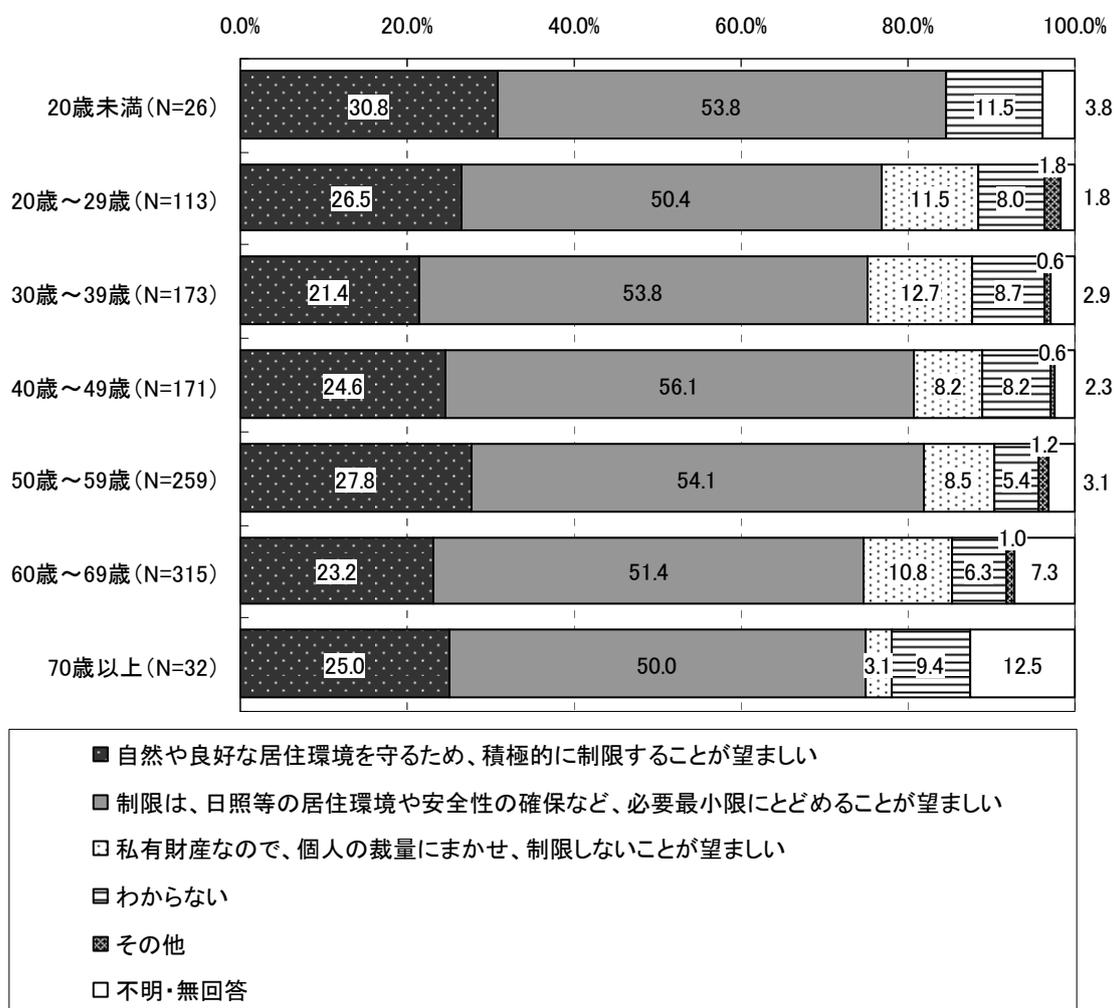
単位：%



その他回答の内容(主なもの)
全て話し合いの上で決めることがよいと思う
制限するよりも緑化運動に力を注ぐべき
行政上の問題がなければよい
工場誘致を最優先するべきである
制限しすぎると人口がより減少していくと思う
地域を決めて宅地化する
可能な限り企業誘致するため、制限はせず、市が優遇措置を講じるべきである
制限する必要はない

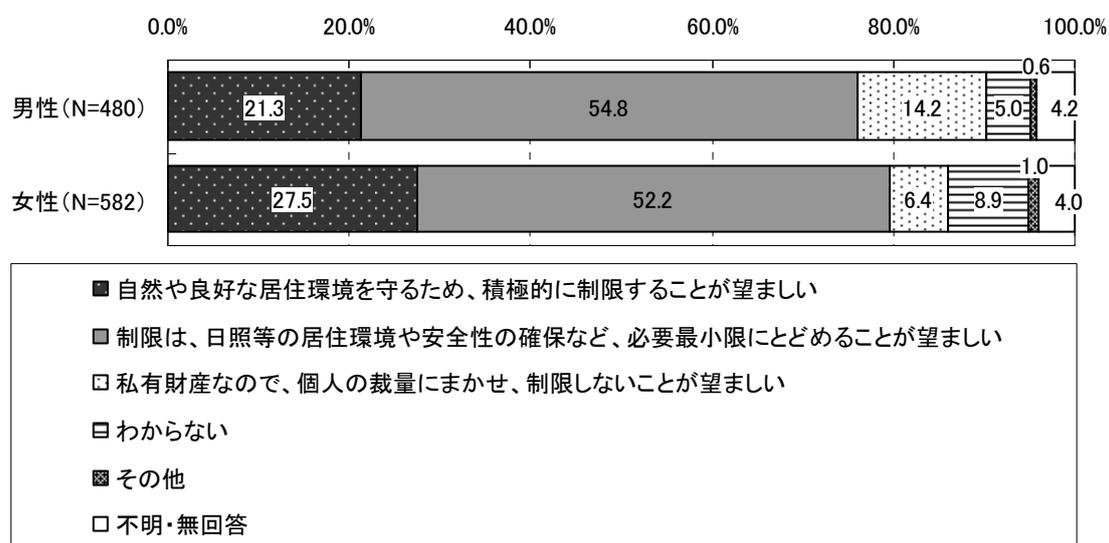
## (16) × 年齢別

農地や緑地の宅地化制限や建物の種類・大きさ・高さ制限について思うことについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「制限は、日照等の居住環境や安全性の確保など、必要最小限にとどめることが望ましい」が5割以上となっています。



## (16) × 性別

農地や緑地の宅地化制限や建物の種類・大きさ・高さ制限について思うことについて性別にみると、「制限は、日照等の居住環境や安全性の確保など、必要最小限にとどめることが望ましい」では男性の方が高く、「自然や良好な居住環境を守るため、積極的に制限することが望ましい」では女性の方が高くなっています。



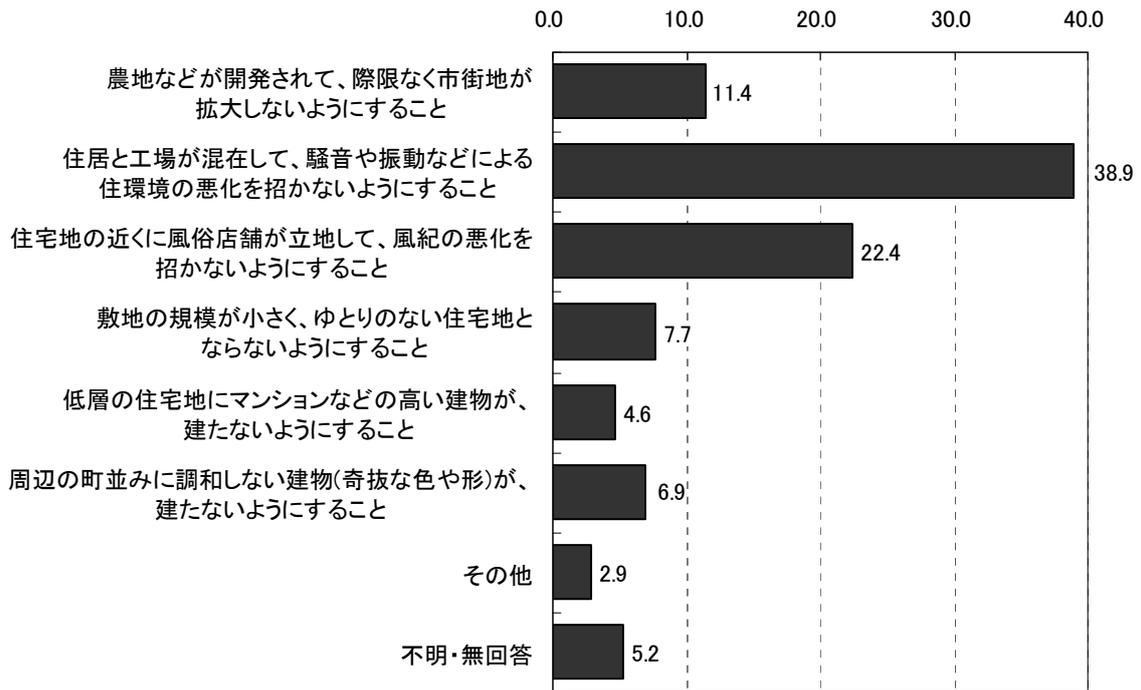
【調査票：問 14-2】

(17) 土地の利用や建物の建て方について、今後どのようなことが重要だと思いますか。  
(単数回答)

土地の利用や建物の建て方について、今後重要だと思うことについてみると、「住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること」が 38.9%と最も高く、次いで「住宅地の近くに風俗店舗が立地して、風紀の悪化を招かないようにすること」が 22.4%となっています。

N=1,101

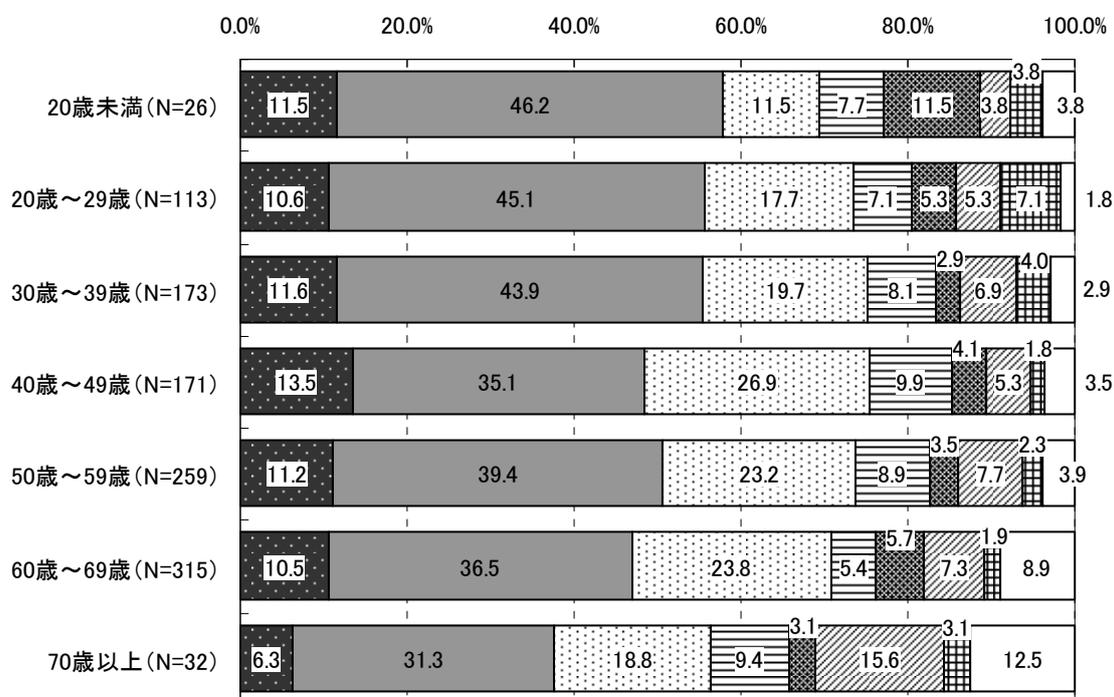
単位：%



その他回答の内容(主なもの)
①～⑥全て
自由でいいと思う
②③⑤の全てが必要だと思う
本当に必要なのであれば①～⑥は行ってもよいと思う
イオン辺りを中心とした住宅地形成
自然環境を守る
農地開発の禁止ではなく環境全体に配慮する
グローバルな視点が環境開発には必要であると思うので、禁止や制限だけでは都市開発は進まない
宇仁小学校の早期建て替え
規制は要らないので、何でも建ててほしい
経済的余裕がない若者が家を建てにくいので、新築の土地制限をなくしてほしい
制限をなくしたほうが、より多くの人が活用できると思う
加西市の目指す方向により、回答が変わる
もっと遊ぶ場所をつくる
宅地開発を推進する
ひとつでは意味がない
個人に任せる

### (17) × 年齢別

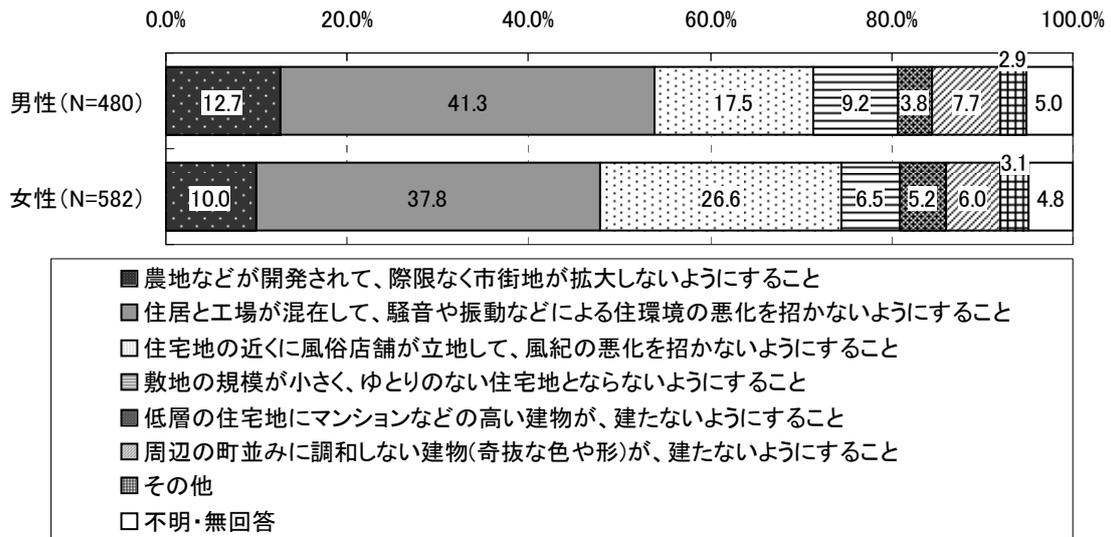
土地の利用や建物の建て方について、今後重要だと思うことについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること」が3割を超えて高くなっています。



- 農地などが開発されて、際限なく市街地が拡大しないようにすること
- 住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること
- 住宅地の近くに風俗店舗が立地して、風紀の悪化を招かないようにすること
- 敷地の規模が小さく、ゆとりのない住宅地とならないようにすること
- 低層の住宅地にマンションなどの高い建物が、建たないようにすること
- 周辺の町並みに調和しない建物(奇抜な色や形)が、建たないようにすること
- 田 その他
- 不明・無回答

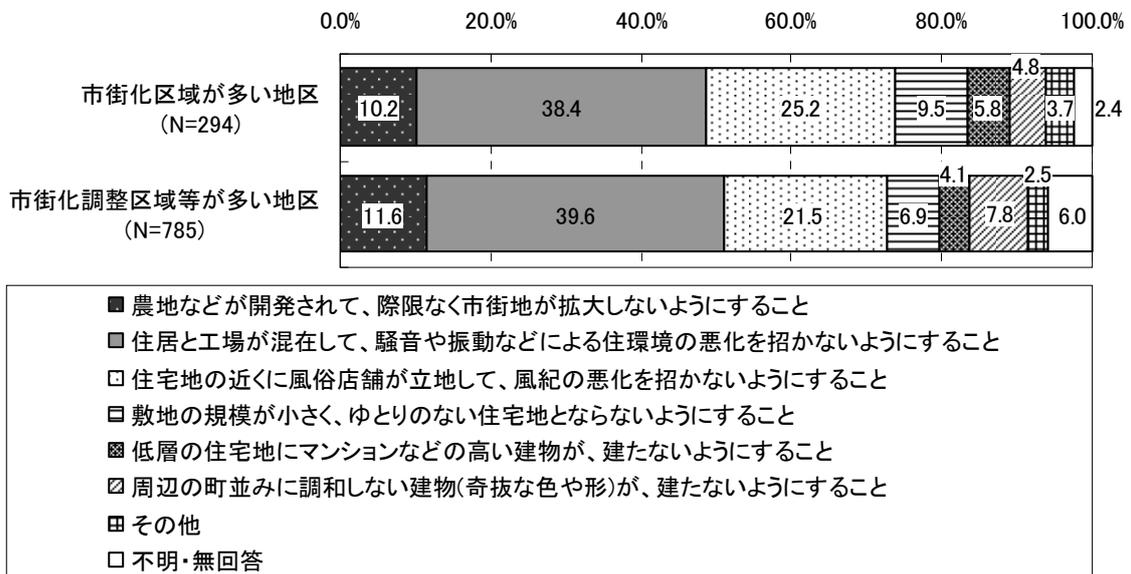
### (17) × 性別

土地の利用や建物の建て方について、今後重要だと思うことについて性別にみると、「農地などが開発されて、際限なく市街地が拡大しないようにすること」「住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること」などでは男性の方が高く、「住宅地の近くに風俗店舗が立地して、風紀の悪化を招かないようにすること」「低層の住宅地にマンションなどの高い建物が、建たないようにすること」などでは女性の方が高くなっています。



### (17) × 居住地区別

土地の利用や建物の建て方について、今後重要だと思うことについて居住地区別にみると、「住宅地の近くに風俗店舗が立地して、風紀の悪化を招かないようにすること」「敷地の規模が小さく、ゆとりのない住宅地とならないようにすること」などでは、「市街化区域が多い地区」の方が高く、「農地などが開発されて、際限なく市街地が拡大しないようにすること」「住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること」などでは「市街化調整区域等が多い地区」の方が高くなっています。



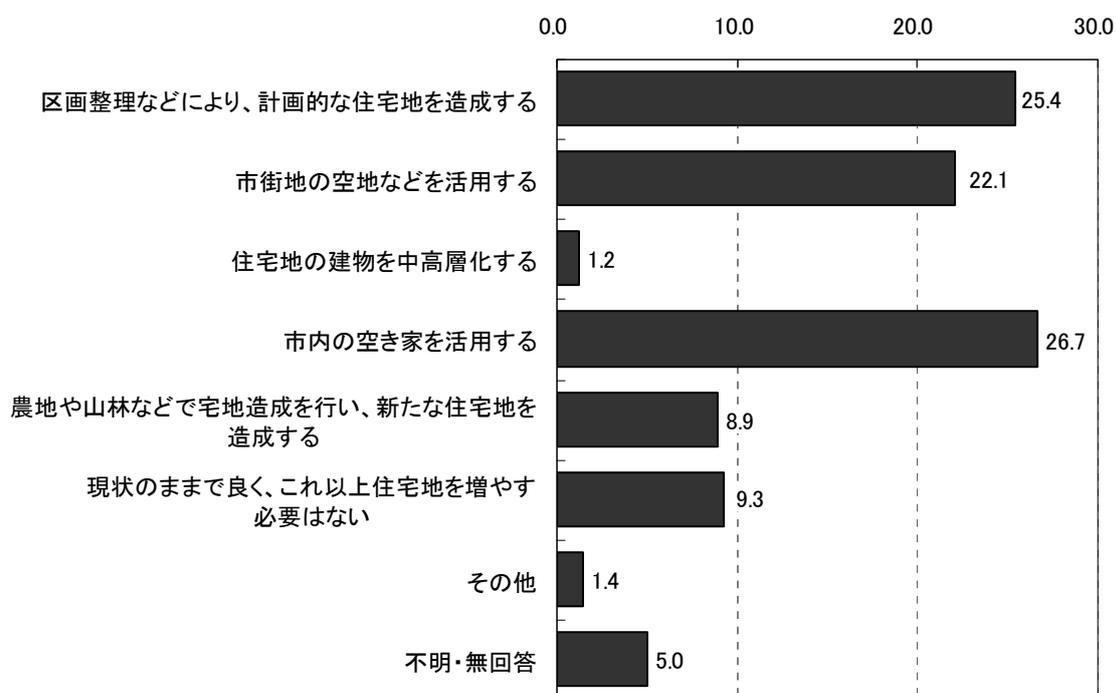
【調査票：問 14－3】

(18) 住宅地を確保するための方法について、あなたはどのように思われますか。(単数回答)

住宅地を確保するための方法について思うことについてみると、「市内の空き家を活用する」が26.7%と最も高く、次いで「区画整理などにより、計画的な住宅地を造成する」が25.4%となっています。

N=1,101

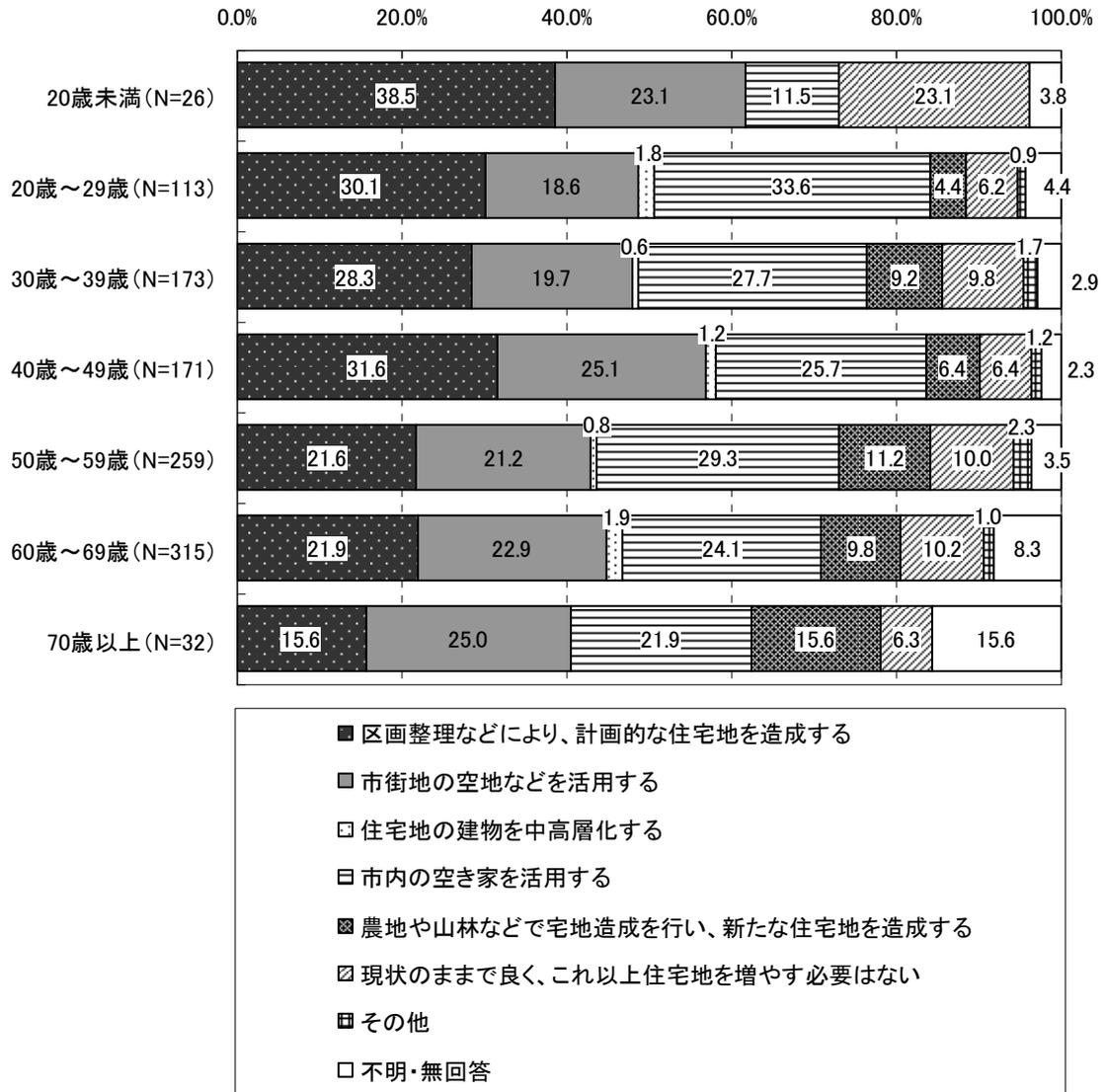
単位：%



その他回答の内容(主なもの)
市街地の空地や市内の空き家を利用する
老朽化した建物や雑多に建っている建築物の建て替え
町村の小路に住む人優先の移転地を増やすこと
北条鉄道沿線に住宅地を確保すれば、鉄道が潤い、人の流れも発生し活性化に繋がる
調整区域の見直し
農家が田に家を建てるくらいは可能にする

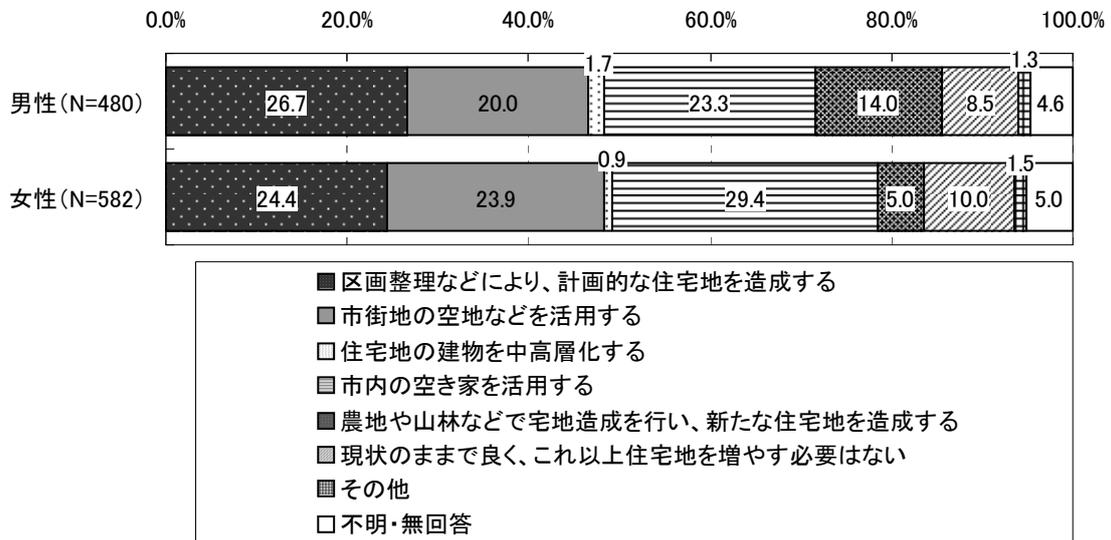
(18) × 年齢別

住宅地を確保するための方法について思うことについて年齢別にみると、20歳未満、30歳～49歳では「区画整理などにより、計画的な住宅地を造成する」が最も高く、20歳～29歳、50歳～69歳では「市内の空き家を活用する」が最も高く、70歳以上では「市街地の空地などを活用する」が最も高くなっています。



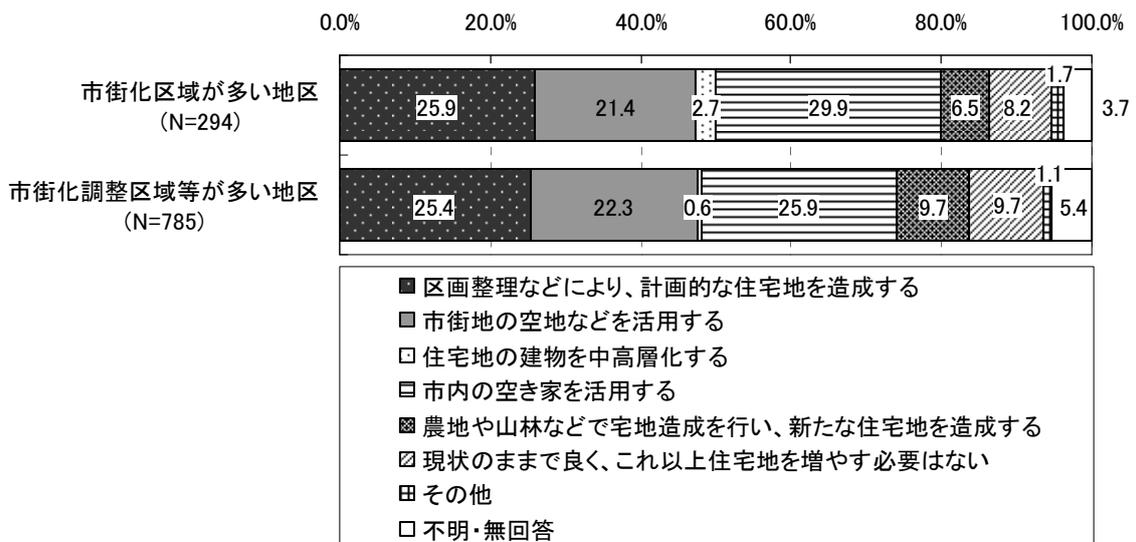
(18) × 性別

住宅地を確保するための方法について思うことについて性別にみると、男性では「区画整理などにより、計画的な住宅地を造成する」が最も高く、女性では「市内の空き家を活用する」が最も高くなっています。



(18) × 居住地区別

住宅地を確保するための方法について思うことについて居住地区別にみると、「区画整理などにより、計画的な住宅地を造成する」「市内の空き家を活用する」などでは「市街化区域が多い地区」の方が高く、「市街地の空地などを活用する」「農地や山林などで宅地造成を行い、新たな住宅地を造成する」「現状のままで良く、これ以上住宅地を増やす必要はない」では「市街化調整区域等が多い地区」の方が高くなっています。



【調査票：問 14－4】

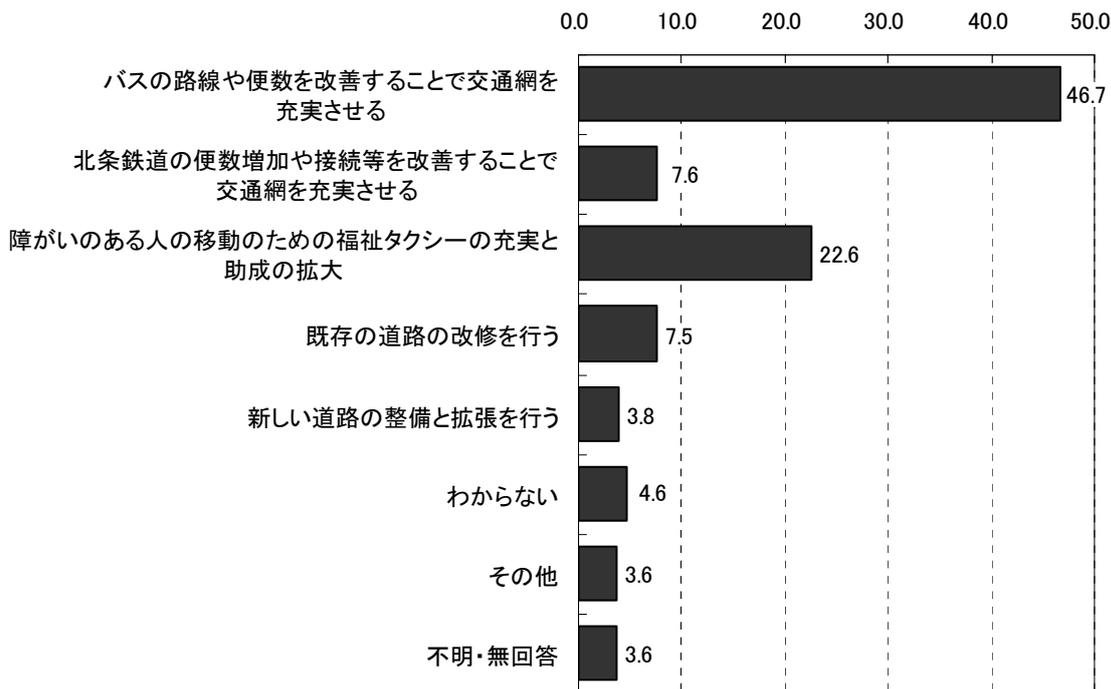
(19) 高齢化が急速に進み高齢ドライバーの自動車事故が増加している中、移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきだとお考えになりますか。

(単数回答)

移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきかについてみると、「バスの路線や便数を改善することで交通網を充実させる」が46.7%と最も高く、次いで「障がいのある人の移動のための福祉タクシーの充実と助成の拡大」が22.6%となっています。

N=1,101

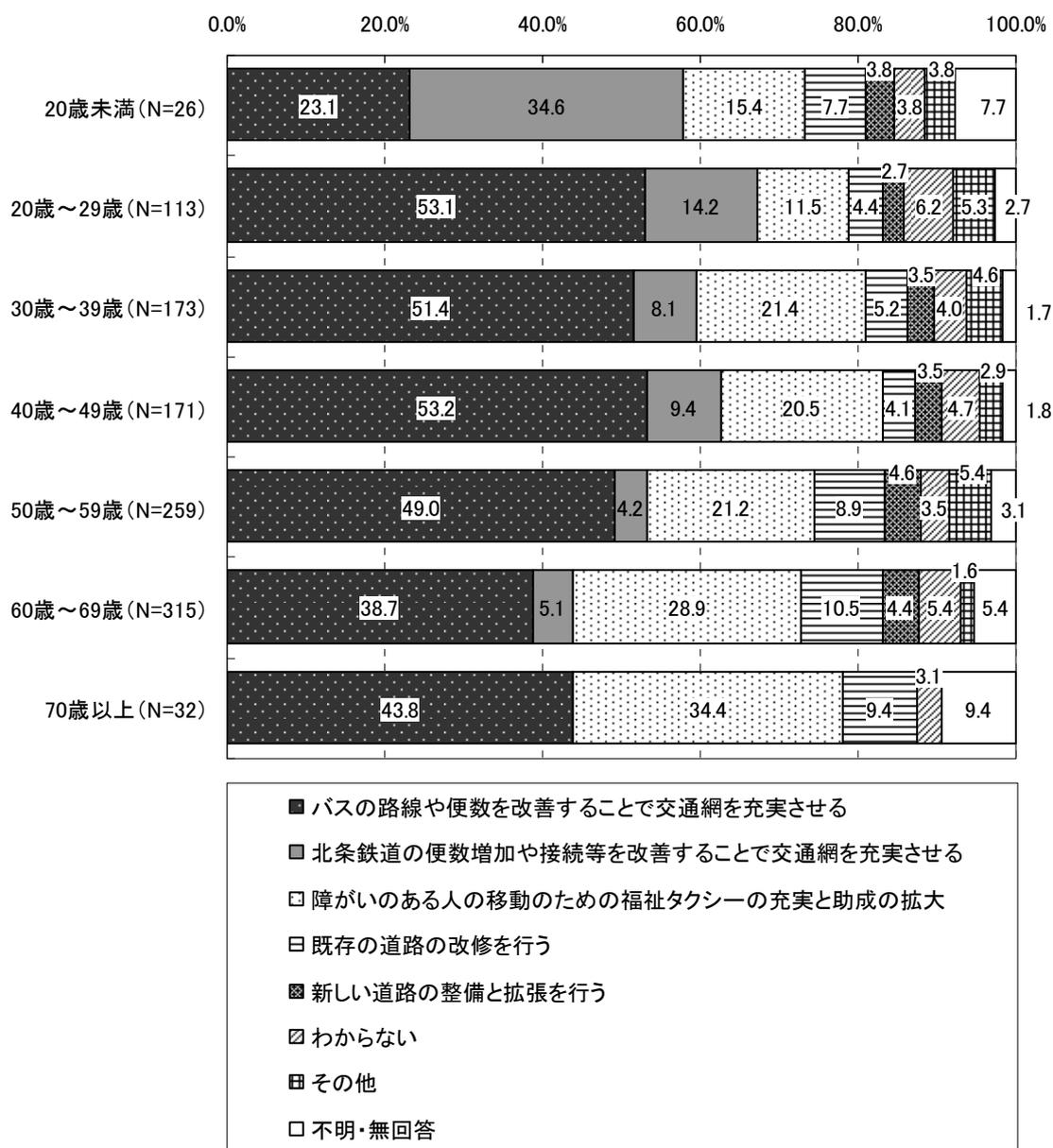
単位：%



その他回答の内容(主なもの)	
市営バスの運営を図る	多世帯同居推進政策を行う
移動手段の不備が原因で事故が起こるのではなく、高齢者自身の過信によるものだと思うので、高齢者ドライバーの認識を改めさせる方策を考えることが優先だと思う	校区ごとのコミュニティバスの運行
福祉タクシーの助成もしくは無料化をし、充実、拡大させる	65歳以上の高齢者に、タクシーの回数券を支給する
高齢者のための無料バス	通学路にある横断歩道の線色塗り替え
小野市のような、らんらんバスを取り入れる	バスや鉄道は無料化にし、交通網を充実させる
小野市のような、ひまわりバスを取り入れる	バス停を指定しないコミュニティバスの充実
小野市のような、小さなバスを網の目のように走らせる	高齢者用の交通手段を考えてほしい
高齢者の運転を見直し、技能テストは1年ごとではなく半年ごとにする必要があると思う	高齢者ドライバーではなく、高齢歩行者の歩行状態の変更方法を考えるべき
電動車いすの方が1人でも移動できるように歩道や自転車道の整備	高齢者などにタクシー無料券などを配る
デマンド巡回バスの運行	民間タクシーを利用する
オンデマンドタクシーを充実させ、免許証返納者や無免許者への割引制度を実施	福祉タクシーは高額なため、デイサービスの車や市のボランティアの車を利用できるようにする
障がい者だけでなく、高齢者も福祉タクシーが利用できるようにする	総合的な交通体系として考え、幹線交通を充実させマイカーなどの付随交通の距離を短くする

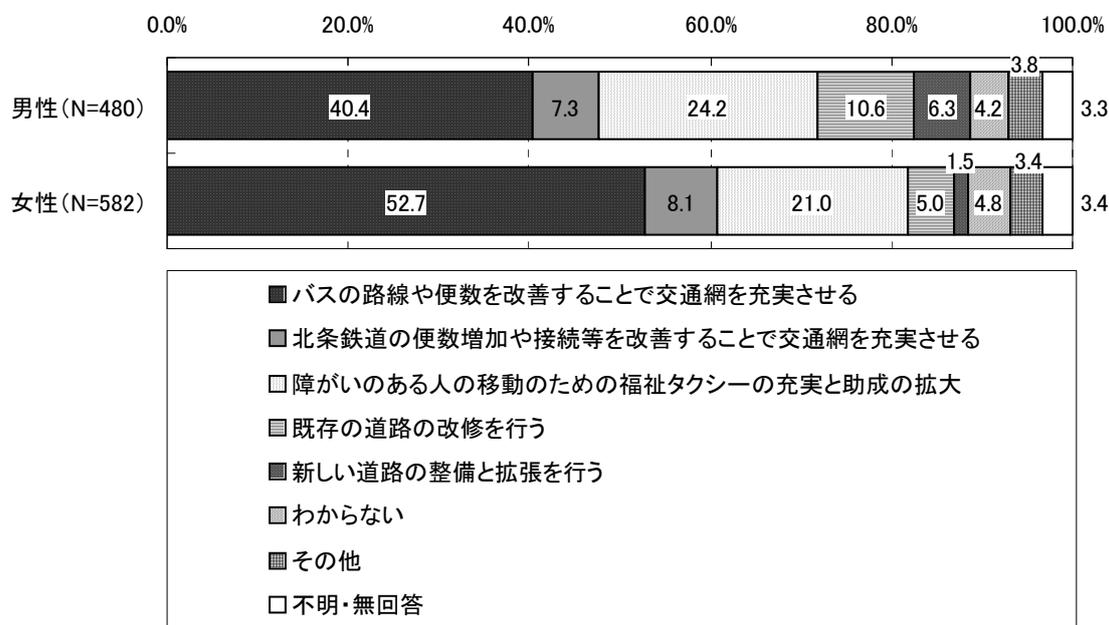
### (19) × 年齢別

移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきかについて年齢別にみると、20歳未満では「北条鉄道の便数増加や接続等を改善することで交通網を充実させる」が最も高く、20歳～70歳以上では「バスの路線や便数を改善することで交通網を充実させる」が最も高くなっています。



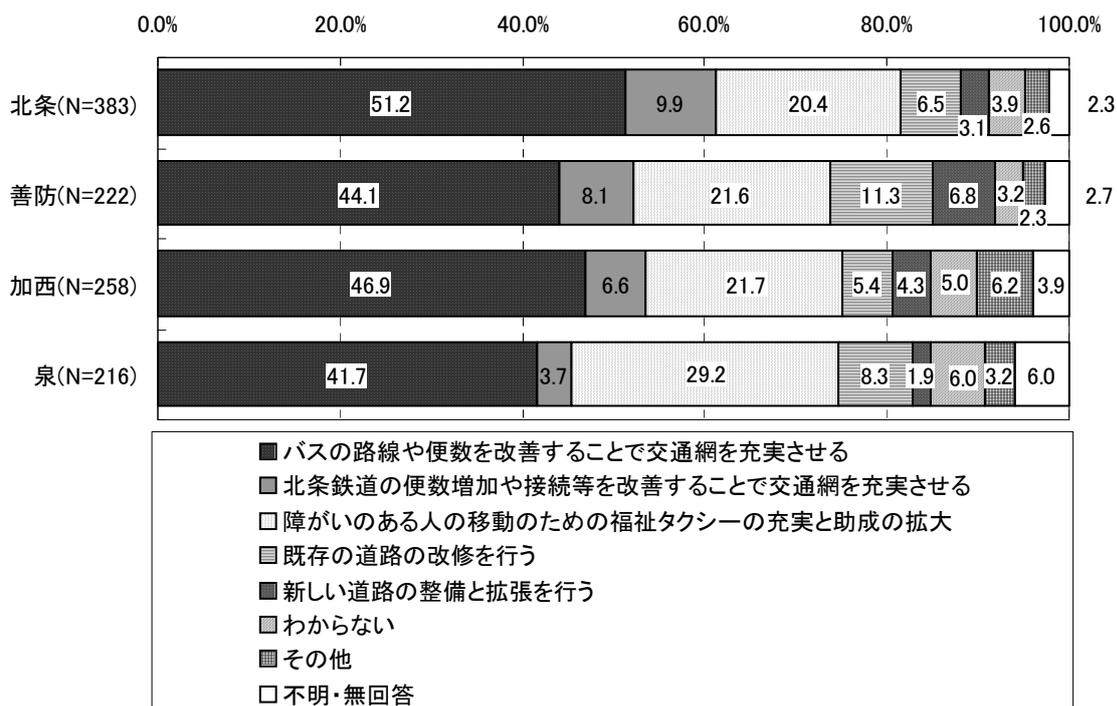
### (19) × 性別

移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきかについて性別にみると、男女ともに「バスの路線や便数を改善することで交通網を充実させる」が最も高くなっています。



### (19) × 居住地区別

移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきかについて居住地区別にみると、「バスの路線や便数を改善することで交通網を充実させる」では、「北条」が最も高くなっています。



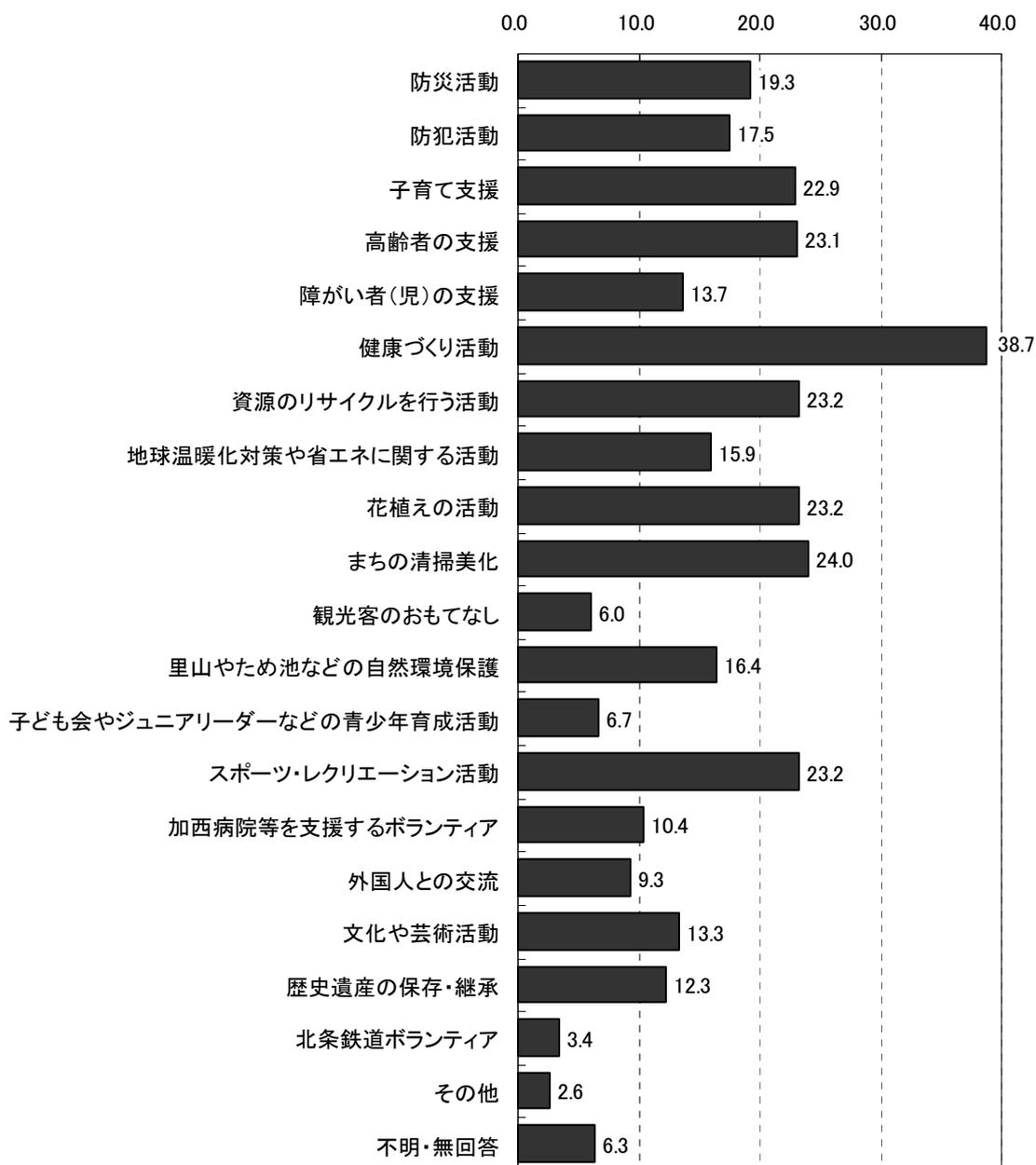
【調査票：問 15-1】

(20) あなたが住民による活動に参加するとすれば、どのような活動に参加したいと思われますか。(現在活動中のものを含めます。)(複数回答)

どのような活動に参加したいと思うかについてみると、「健康づくり活動」が 38.7%と最も高く、次いで「まちの清掃美化」が 24.0%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
子どもの送り迎え時の防犯
子どもの送り迎え時の交通安全活動
各町の祭り
転入者がなじめるよう支援
小学校の協力委員
自分自身は参加したいと思っているが、配偶者(夫)が許さないと思う

## (20) × 年齢別

どのような活動に参加したいと思うかについて年齢別にみると、20歳未満～29歳では「スポーツ・レクリエーション活動」が最も高く、30歳～39歳では「子育て支援」が最も高く、40歳～70歳以上では「健康づくり活動」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	防災活動	防犯活動	子育て支援	高齢者の支援	障がい者(児)の支援	健康づくり活動	資源のリサイクルを行う活動
合計	1,097 100.0	212 19.3	192 17.5	251 22.9	253 23.1	150 13.7	<b>424</b> <b>38.7</b>	254 23.2
20歳未満	26 100.0	3 11.5	4 15.4	5 19.2	0 0.0	3 11.5	8 30.8	4 15.4
20歳～29歳	113 100.0	16 14.2	17 15.0	31 27.4	22 19.5	22 19.5	31 27.4	26 23.0
30歳～39歳	173 100.0	44 25.4	36 20.8	<b>74</b> <b>42.8</b>	33 19.1	28 16.2	37 21.4	33 19.1
40歳～49歳	171 100.0	37 21.6	36 21.1	50 29.2	31 18.1	23 13.5	<b>55</b> <b>32.2</b>	48 28.1
50歳～59歳	259 100.0	62 23.9	49 18.9	47 18.1	58 22.4	40 15.4	<b>109</b> <b>42.1</b>	60 23.2
60歳～69歳	315 100.0	47 14.9	45 14.3	42 13.3	100 31.7	32 10.2	<b>167</b> <b>53.0</b>	72 22.9
70歳以上	32 100.0	1 3.1	4 12.5	1 3.1	8 25.0	1 3.1	<b>14</b> <b>43.8</b>	9 28.1

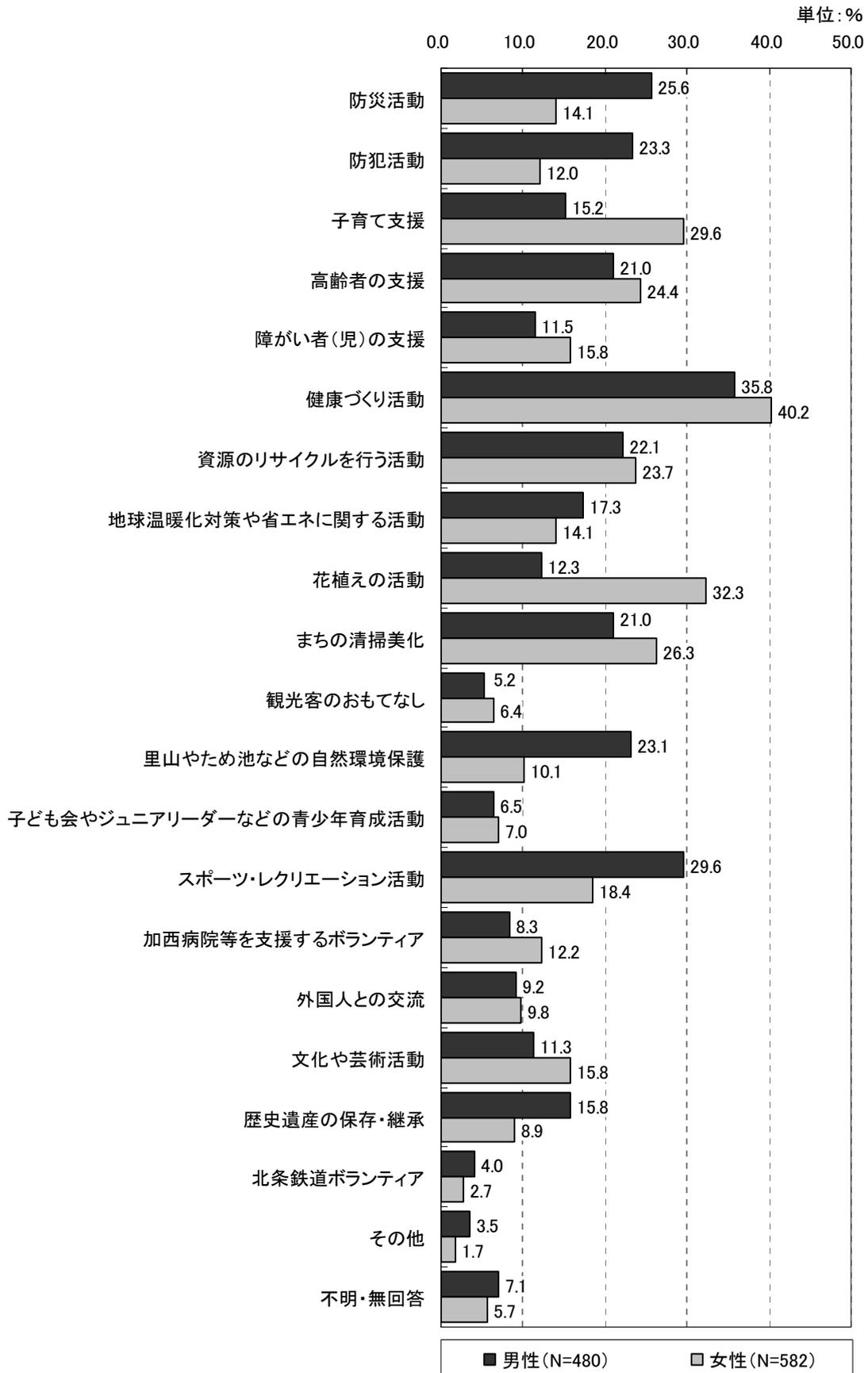
上段:度数 下段:%	地球温暖化対策や省エネに関する活動	花植えの活動	まちの清掃美化	観光客のおもてなし	里山やため池などの自然環境保護	子ども会やジュニアリーダーなどの青少年育成活動	スポーツ・レクリエーション活動	加西病院等を支援するボランティア
合計	174 15.9	255 23.2	263 24.0	66 6.0	180 16.4	73 6.7	254 23.2	114 10.4
20歳未満	2 7.7	5 19.2	4 15.4	2 7.7	0 0.0	2 7.7	<b>10</b> <b>38.5</b>	1 3.8
20歳～29歳	25 22.1	19 16.8	20 17.7	8 7.1	12 10.6	16 14.2	<b>43</b> <b>38.1</b>	14 12.4
30歳～39歳	27 15.6	35 20.2	37 21.4	14 8.1	16 9.2	20 11.6	45 26.0	14 8.1
40歳～49歳	32 18.7	37 21.6	34 19.9	12 7.0	24 14.0	12 7.0	41 24.0	20 11.7
50歳～59歳	41 15.8	77 29.7	82 31.7	11 4.2	53 20.5	11 4.2	60 23.2	30 11.6
60歳～69歳	41 13.0	70 22.2	74 23.5	16 5.1	68 21.6	12 3.8	46 14.6	31 9.8
70歳以上	4 12.5	10 31.3	9 28.1	1 3.1	6 18.8	0 0.0	7 21.9	4 12.5

上段:度数 下段:%	外国人との交流	文化や芸術活動	歴史遺産の保存・継承	北条鉄道ボランティア	その他	不明・無回答
合計	102 9.3	146 13.3	135 12.3	37 3.4	28 2.6	69 6.3
20歳未満	5 19.2	3 11.5	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8
20歳～29歳	23 20.4	17 15.0	10 8.8	7 6.2	6 5.3	4 3.5
30歳～39歳	22 12.7	18 10.4	18 10.4	9 5.2	9 5.2	8 4.6
40歳～49歳	23 13.5	25 14.6	15 8.8	9 5.3	2 1.2	9 5.3
50歳～59歳	17 6.6	43 16.6	38 14.7	4 1.5	7 2.7	10 3.9
60歳～69歳	12 3.8	37 11.7	50 15.9	7 2.2	3 1.0	32 10.2
70歳以上	0 0.0	3 9.4	2 6.3	0 0.0	0 0.0	4 12.5

(20) × 性別

どのような活動に参加したいと思うかについて性別にみると、男女ともに「健康づくり活動」が最も高くなっています。



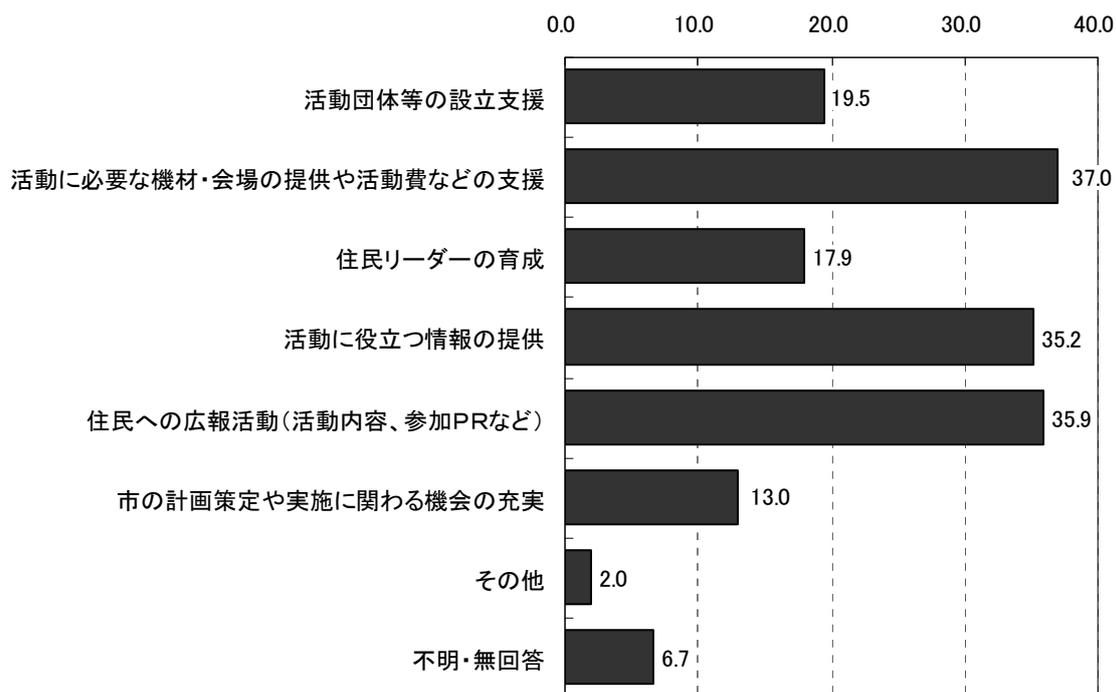
【調査票：問 15-2】

(21) あなたが住民による活動に参加するには、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

住民による活動に参加するために、行政が力を入れるべきことについてみると、「活動に必要な機材・会場の提供や活動費などの支援」が 37.0%と最も高く、次いで「住民への広報活動（活動内容、参加PRなど）」が 35.9%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
小中高一般の伴う地域対抗の駅伝やサッカー、野球などの開催
住民が求める活動を調査し、それに応じた活動をする
活動は時間がある人がやればよい
行政と市民が同じ目線に立つこと
皆に仲良くしてもらおう
地域住民が気軽に立ち寄れる場をつくる
まずは市職員が無関心でいるのではなく、率先して活動する

## (21) × 年齢別

住民による活動に参加するために、行政が力を入れるべきことについて年齢別にみると、20歳未満～39歳では「住民への広報活動（活動内容、参加PRなど）」が最も高く、40歳～49歳、60歳～69歳では「活動に必要な機材・会場の提供や活動費などの支援」が最も高く、50歳～59歳では「活動に役立つ情報の提供」が最も高く、70歳以上では「活動団体等の設立支援」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	活動団体等の 設立支援	活動に必要な 機材・会場の 提供や活動費 などの支援	住民リーダーの 育成	活動に役立つ 情報の提供	住民への広報 活動(活動内容 、参加PRなど)	市の計画策定や 実施に関わる 機会の充実
合計	1,097 100.0	214 19.5	<b>406</b> <b>37.0</b>	196 17.9	386 35.2	394 35.9	143 13.0
20歳未満	26 100.0	6 23.1	8 30.8	5 19.2	7 26.9	<b>13</b> <b>50.0</b>	4 15.4
20歳～29歳	113 100.0	20 17.7	41 36.3	16 14.2	41 36.3	<b>46</b> <b>40.7</b>	23 20.4
30歳～39歳	173 100.0	41 23.7	65 37.6	30 17.3	57 32.9	<b>73</b> <b>42.2</b>	22 12.7
40歳～49歳	171 100.0	32 18.7	<b>72</b> <b>42.1</b>	22 12.9	62 36.3	59 34.5	20 11.7
50歳～59歳	259 100.0	46 17.8	97 37.5	38 14.7	<b>105</b> <b>40.5</b>	93 35.9	38 14.7
60歳～69歳	315 100.0	55 17.5	<b>112</b> <b>35.6</b>	74 23.5	104 33.0	98 31.1	34 10.8
70歳以上	32 100.0	<b>12</b> <b>37.5</b>	8 25.0	9 28.1	6 18.8	10 31.3	2 6.3

上段:度数 下段:%	その他	不明・無回答
合計	22 2.0	73 6.7
20歳未満	0 0.0	0 0.0
20歳～29歳	7 6.2	3 2.7
30歳～39歳	5 2.9	8 4.6
40歳～49歳	3 1.8	11 6.4
50歳～59歳	6 2.3	12 4.6
60歳～69歳	1 0.3	33 10.5
70歳以上	0 0.0	5 15.6

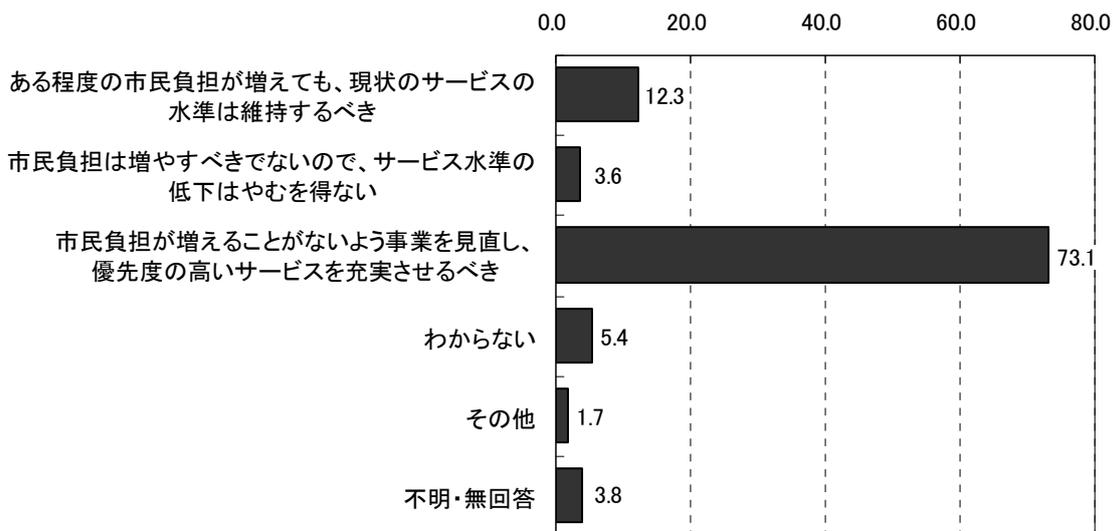
【調査票：問 15－3】

(22) あなたは公共サービスと住民の費用負担についてどのように考えますか。(単数回答)

公共サービスと住民の費用負担についてどのように考えるかについてみると、「市民負担が増えることがないよう事業を見直し、優先度の高いサービスを充実させるべき」が73.1%と最も高く、次いで「ある程度の市民負担が増えても、現状のサービスの水準は維持するべき」が12.3%となっています。

N=1,101

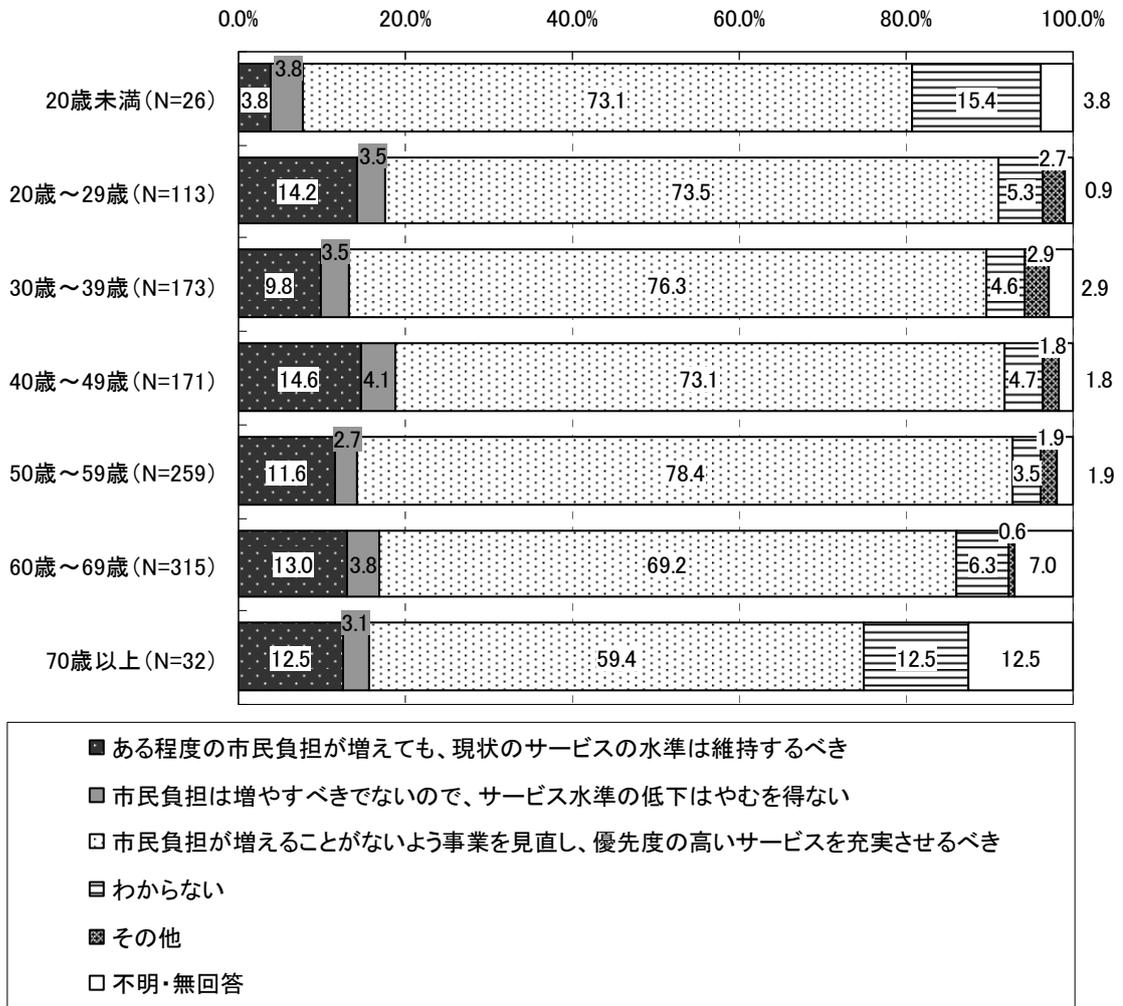
単位：%



その他回答の内容(主なもの)
市民負担を増やさず、サービス水準は落とさない
住民もある程度の負担はしなければいけないと思う
市民負担を増やし、水準を上げるべき
受益者負担を基本にし、公正、公平なサービス
市議員の人員減
市議員の賃金減
市役員の賃金減額
市長の賃金減額
公務員の賃金カットを行い、それを充当する
費用負担の割りに質が低い
隣接市町と等しい
無理に行わなくてよい
不要

(22) × 年齢別

公共サービスと住民の費用負担についてどのように考えるかについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「市民負担が増えることがないよう事業を見直し、優先度の高いサービスを充実させるべき」が最も高くなっています。



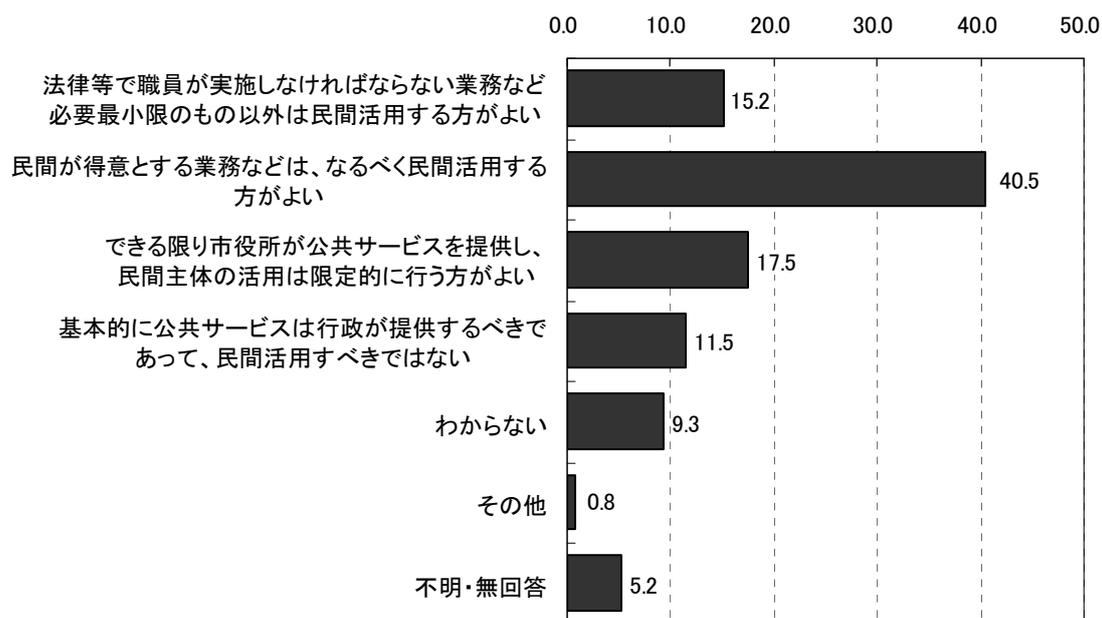
【調査票：問 15－4】

(23) 市役所が提供する公共サービスについて、民間活力を導入することについてどのようにお考えですか。(単数回答)

市役所が提供する公共サービスについて、民間活力を導入することについてどのように考えるかについてみると、「民間が得意とする業務などは、なるべく民間活用する方がよい」が 40.5%と最も高く、次いで「できる限り市役所が公共サービスを提供し、民間主体の活用は限定的に行う方がよい」が 17.5%となっています。

N=1,101

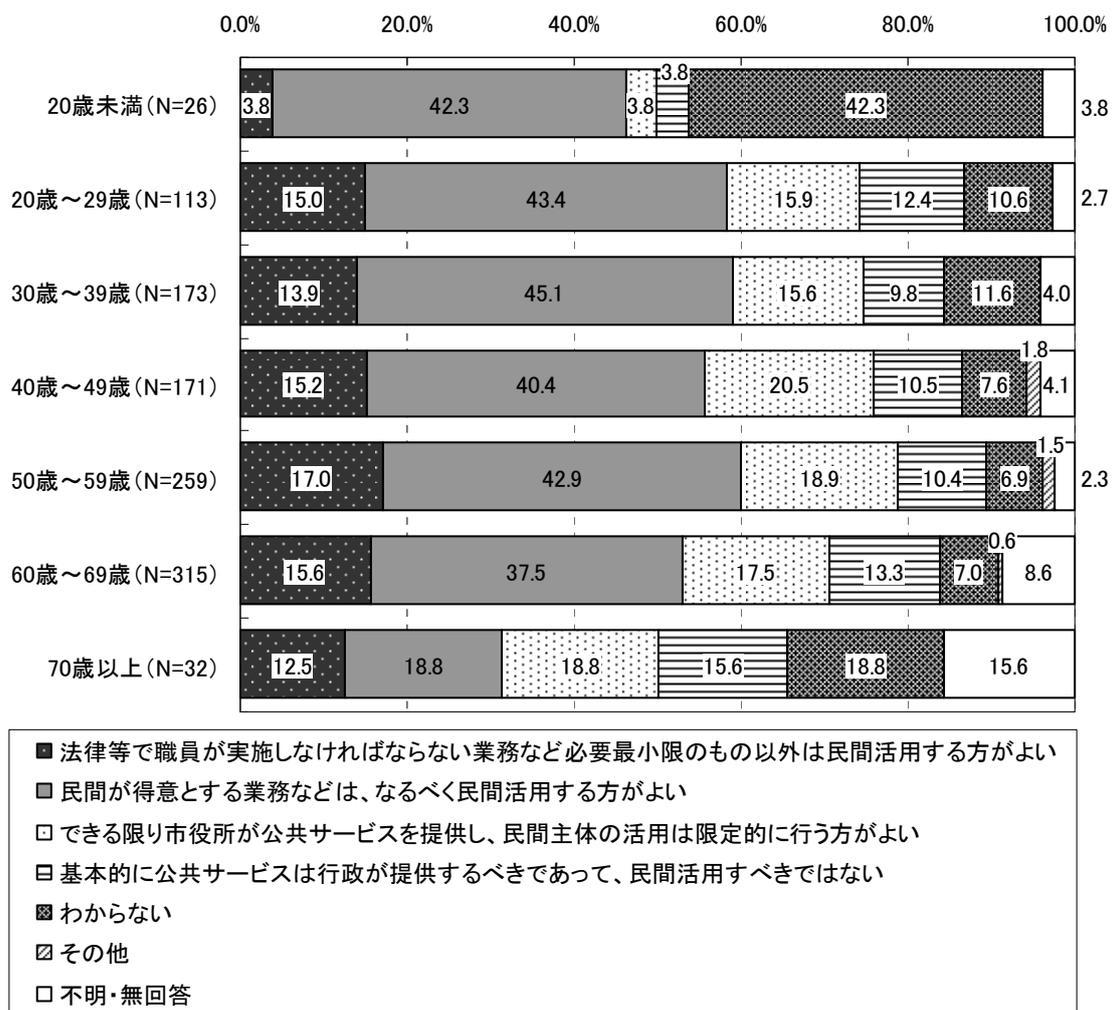
単位：%



その他回答の内容(主なもの)
採算が合わず、うまく経営できないのであれば市役所は切り離し止めるべきだと思う
責任の所在やチェック体制を確立する
民間委託もよいが、暇をもてあましている職員がいるのであれば、その職員は積極的に公共サービスに関わるべきである
民間企業活用するにしても、中でも地元企業を優先する
天下りなどではなく、本当の民間活用を求む
役所の人ができることを増やす
民間活力に頼りすぎると、職員の知識が薄れるため、本当の公共サービスにはならないと思う
経費削減のための業務委託であると思うが、無責任な対応が散見される
うまく活用すればよいと思う
だんだんサービスが悪くなっている

(23) × 年齢別

市役所が提供する公共サービスについて、民間活力を導入することについてどのように考えるかについて年齢別にみると、20歳～69歳では「民間が得意とする業務などは、なるべく民間活用する方がよい」が最も高く、20歳未満では「民間が得意とする業務などは、なるべく民間活用する方がよい」「わからない」がともに高く、70歳以上では「民間が得意とする業務などは、なるべく民間活用する方がよい」「できる限り市役所が公共サービスを提供し、民間主体の活用は限定的に行う方がよい」「わからない」がいずれも高くなっています。



## 4. 加西市の将来像について

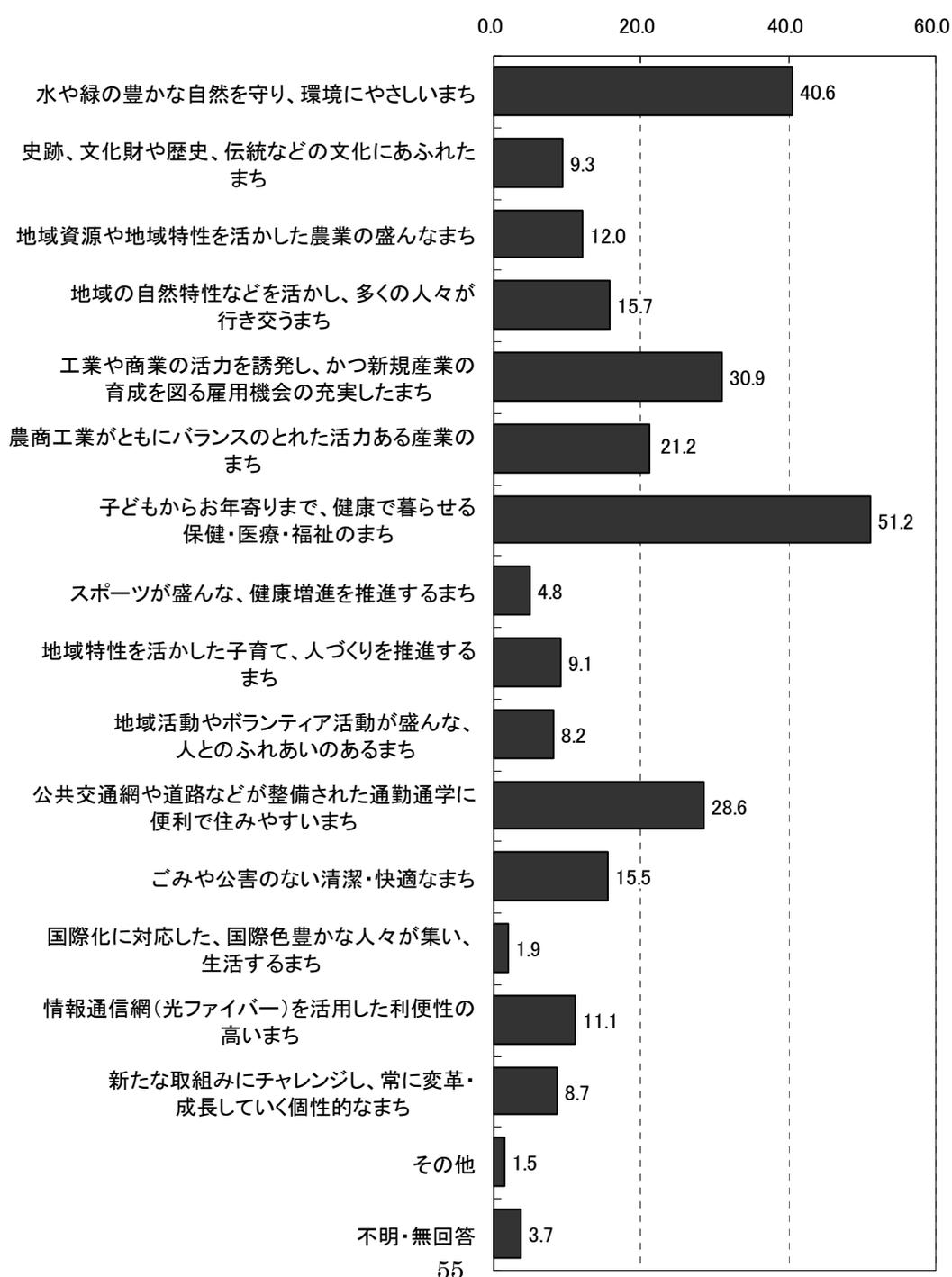
【調査票：問16】

(24) あなたは、今後、目指していきべき加西市の将来像についてどう思いますか。  
(複数回答)

今後、目指していきべき加西市の将来像についてどう思うかについてみると、「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」が51.2%と最も高く、次いで「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」が40.6%となっています。

N=1,101

単位：%



その他回答の内容(主なもの)
必要なことは市民自身が自立して行うまちづくり
明るく気持ちのよいまち
⑫とは違う、ひろがりを感じるまちづくり
特定の分野ではなく、全体的にバランスの取れた状態を目指してほしい
阪神間の通学や通勤が可能な交通体系にする
交通網の充実したまち
家族や友人と1日過ごせて遊べる遊具の充実した大きな公園ができるとよい
意外性のある特産物や特産品の開発、保護、支援
若年層の雇用確保
水道料金の値下げ
外灯を増やしてほしい
他市町村との合併しか生き残る方法はない
第二の夕張市
古臭いイメージからの脱却

(24) × 年齢別

今後、目指していくべき加西市の将来像についてどう思うかについて年齢別にみると、いずれの年齢においても「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち	史跡、文化財や歴史、伝統などの文化にあふれたまち	地域資源や地域特性を活かした農業の盛んなまち	地域の自然特性などを活かし、多くの人々が行き交うまち	工業や商業の活力を誘発し、かつ新規産業の育成を図る雇用機会の充実したまち	農商工業がともにバランスのとれた活力ある産業のまち
合計	1,097 100.0	445 40.6	102 9.3	132 12.0	172 15.7	339 30.9	233 21.2
20歳未満	26 100.0	10 38.5	5 19.2	3 11.5	4 15.4	4 15.4	5 19.2
20歳～29歳	113 100.0	47 41.6	9 8.0	8 7.1	18 15.9	26 23.0	19 16.8
30歳～39歳	173 100.0	54 31.2	12 6.9	19 11.0	23 13.3	41 23.7	32 18.5
40歳～49歳	171 100.0	56 32.7	21 12.3	14 8.2	30 17.5	55 32.2	32 18.7
50歳～59歳	259 100.0	114 44.0	21 8.1	35 13.5	42 16.2	92 35.5	65 25.1
60歳～69歳	315 100.0	150 47.6	31 9.8	46 14.6	52 16.5	106 33.7	72 22.9
70歳以上	32 100.0	11 34.4	2 6.3	4 12.5	3 9.4	11 34.4	6 18.8

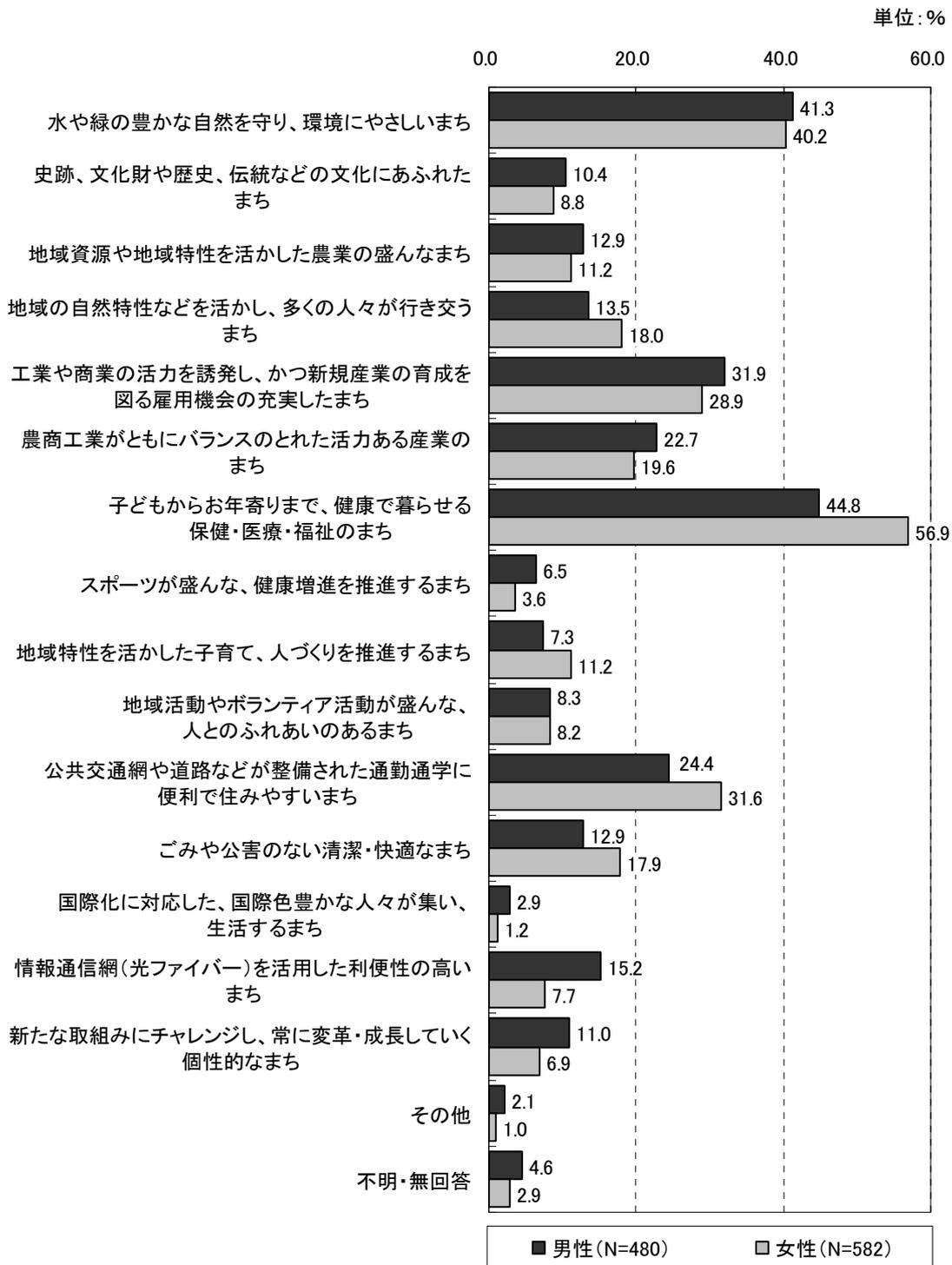
上段:度数 下段:%	子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち	スポーツが盛んな、健康増進を推進するまち	地域特性を活かした子育て、人づくりを推進するまち	地域活動やボランティア活動が盛んな、人とのふれあいのあるまち	公共交通網や道路などが整備された通勤通学に便利で住みやすいまち	ごみや公害のない清潔・快適なまち	国際化に対応した、国際色豊かな人々が集い、生活するまち
合計	562 51.2	53 4.8	100 9.1	90 8.2	314 28.6	170 15.5	21 1.9
20歳未満	12 46.2	2 7.7	3 11.5	4 15.4	10 38.5	5 19.2	0 0.0
20歳～29歳	53 46.9	13 11.5	10 8.8	9 8.0	37 32.7	20 17.7	4 3.5
30歳～39歳	83 48.0	11 6.4	29 16.8	11 6.4	56 32.4	29 16.8	6 3.5
40歳～49歳	94 55.0	9 5.3	9 5.3	11 6.4	69 40.4	18 10.5	7 4.1
50歳～59歳	119 45.9	8 3.1	22 8.5	22 8.5	71 27.4	39 15.1	1 0.4
60歳～69歳	181 57.5	7 2.2	23 7.3	30 9.5	64 20.3	51 16.2	3 1.0
70歳以上	18 56.3	2 6.3	4 12.5	2 6.3	6 18.8	7 21.9	0 0.0

上段:度数 下段:%	情報通信網(光ファイバー)を活用した利便性の高いまち	新たな取組みにチャレンジし、常に変革・成長していく個性的なまち	その他	不明・無回答
合計	122 11.1	95 8.7	17 1.5	41 3.7
20歳未満	0 0.0	4 15.4	0 0.0	1 3.8
20歳～29歳	20 17.7	8 7.1	2 1.8	2 1.8
30歳～39歳	30 17.3	18 10.4	7 4.0	5 2.9
40歳～49歳	26 15.2	13 7.6	1 0.6	3 1.8
50歳～59歳	27 10.4	22 8.5	5 1.9	5 1.9
60歳～69歳	15 4.8	27 8.6	1 0.3	19 6.0
70歳以上	3 9.4	3 9.4	0 0.0	5 15.6

(24) × 性別

今後、目指していくべき加西市の将来像についてどう思うかについて性別にみると、「工業や商業の活力を誘発し、かつ新規産業の育成を図る雇用機会の充実したまち」「農商工業がともにバランスのとれた活力ある産業のまち」などでは男性の方が高く、「子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち」「公共交通網や道路などが整備された通勤通学に便利で住みやすいまち」などでは女性の方が高くなっています。



## 5. 加西市の取組みについての満足度・必要度について

### (1) 調査項目一覧

本調査では、問10～問15の満足度及び必要度について調査を行いました。

分野	No.	項目	満足度	必要度(行政)	必要性(市民)
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	2.24	3.24	3.01
	2	人権教育の推進	2.48	3.06	2.78
	3	学校教育の充実	2.32	3.57	3.09
	4	青少年の健全育成	2.30	3.43	3.06
	5	生涯スポーツの振興	2.35	3.14	2.94
	6	芸術・文化の振興	2.35	3.15	2.86
	7	国際交流の推進	2.21	3.05	2.66
	8	文化財保存の推進	2.62	3.26	2.84
医療・福祉・健康づくり	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進	2.48	3.43	3.39
	10	病院施設、医療の充実	2.21	3.72	3.34
	11	高齢者福祉、介護の充実	2.16	3.65	3.36
	12	児童福祉、子育て支援の充実	2.16	3.58	3.20
	13	障がい者福祉の充実	2.15	3.58	3.15
	14	年金、保険など社会保障の充実	1.88	3.68	3.41
防犯・防災、環境への取り組み	15	災害対策の充実	2.32	3.60	3.35
	16	消防、救急体制の充実	2.82	3.62	3.30
	17	防犯活動、交通安全対策の充実	2.51	3.50	3.32
	18	消費者相談の充実	2.16	3.28	2.95
	19	森林やため池など自然環境保全の推進	2.35	3.35	3.09
	20	公害対策など快適な生活を守る活動の充実	2.25	3.37	3.12
	21	家庭や事業所での地球温暖化対策の推進	2.27	3.42	3.26
	22	自然を活用した新エネルギー利用の推進	2.23	3.38	3.18
	23	ごみの減量、資源リサイクルの推進	2.56	3.55	3.47
産業の振興、雇用	24	農林業の振興	1.98	3.40	2.93
	25	工業の振興	2.01	3.46	2.93
	26	環境(エコロジー)産業の振興	2.07	3.44	3.04
	27	商業・サービス業の振興	2.13	3.38	2.96
	28	観光産業の充実	1.90	3.30	2.81
交通・都市づくり・情報通信	29	雇用対策の充実	1.63	3.72	3.16
	30	中心市街地などの都市の魅力づくり	2.18	3.31	2.82
	31	優良な住宅地の整備	2.18	3.21	2.73
	32	安心して下水道が使えること	2.49	3.58	3.22
	33	景観のまちづくりの推進	2.32	3.22	2.86
	34	公園の有効活用	2.12	3.21	2.85
	35	道路の改修	2.19	3.34	2.91
	36	バスや鉄道などの公共交通の充実	1.64	3.51	2.99
	37	光ケーブルなど情報通信の活用	1.78	3.39	3.10
連携・行政運営	38	市民参画の推進	2.25	3.23	2.95
	39	男女共同参画社会づくりの推進	2.26	3.15	2.87
	40	地域コミュニティの活性化	2.35	3.20	2.99
	41	市民・企業との連携によるまちづくり	2.11	3.28	2.94
	42	健全で効率的な行財政運営の推進	1.96	3.54	3.10
平均			2.21	3.39	3.05

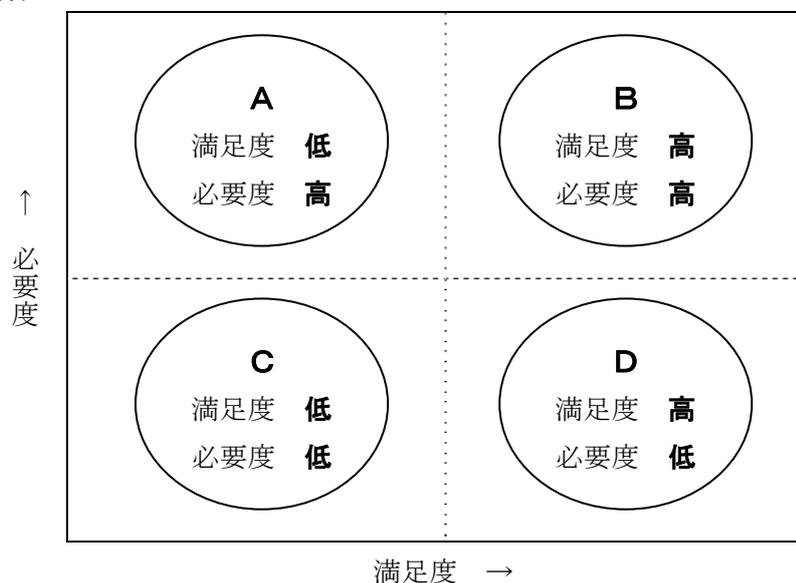
満足度の点数化については、「満足している」＝4点、「ある程度満足している」＝3点、「あまり満足していない」＝2点、「全く満足していない」＝1点として、「わからない」、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

必要度の点数化については、「必要である」＝4点、「ある程度必要である」＝3点、「あまり必要ではない」＝2点、「全く必要ではない」＝1点として、「わからない」、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

## (2) 結果散布図

問 10～問 15 の満足度及び必要度について、下図の 4 つの領域に分類し、散布図を作成しました。

### ■結果の分類



領域	説明
A	必要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も必要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度は低いものの必要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は低く、必要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで問 10～問 15 の項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

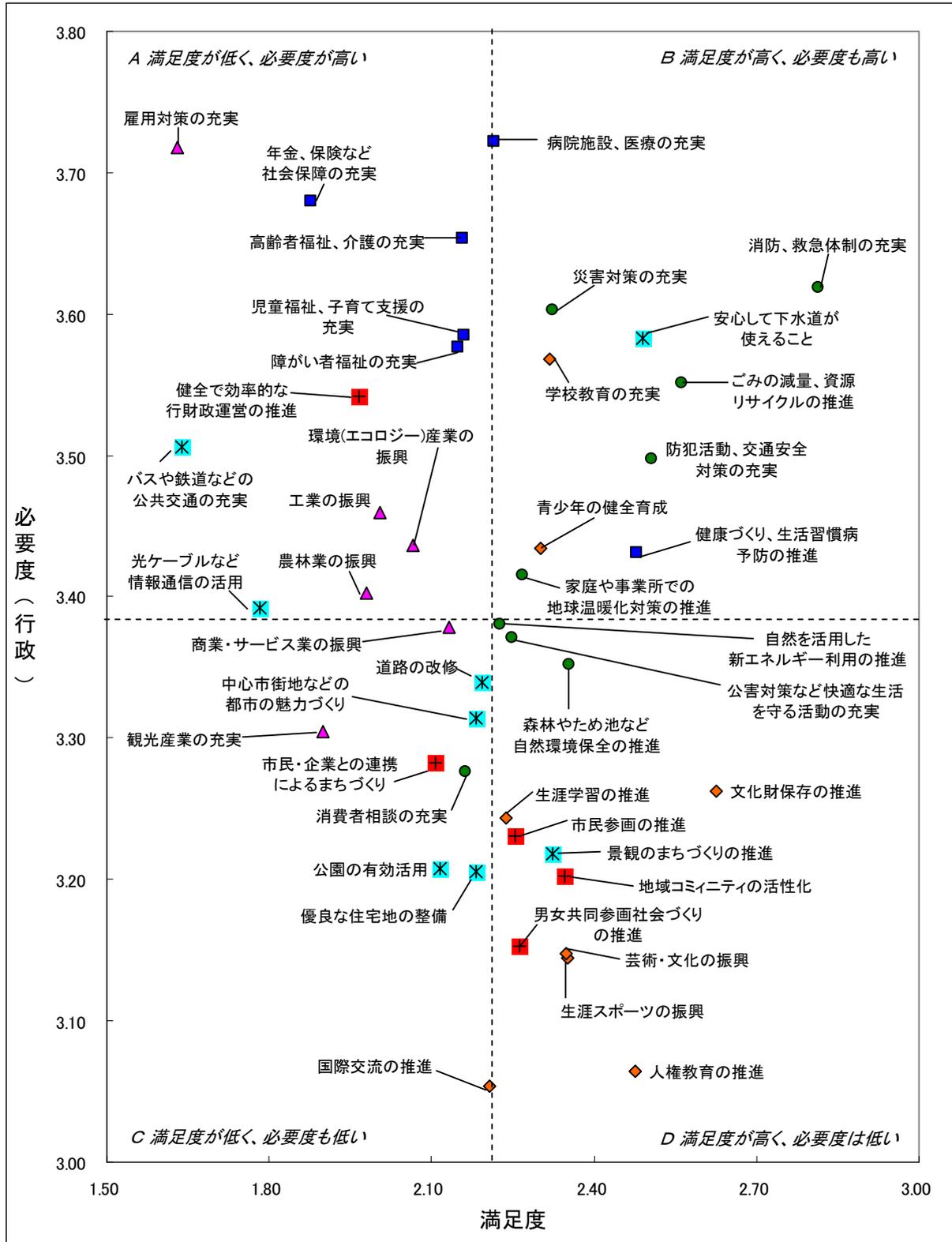
## (3) 散布図・折れ線グラフのグラフ内表示の説明

満足度・必要度の散布図、折れ線グラフにおいて、分野別に色・形で表示しました。

色	形	分野	色	形	分野
オレンジ色	◇	教育・スポーツ・文化等	ピンク色	△	産業の振興、雇用
青色	□	健康づくり・医療・福祉	水色	*	都市づくり・交通・情報通信
緑色	○	防犯・防災・環境への取組み	赤色	+	市民と行政の連携、行政運営

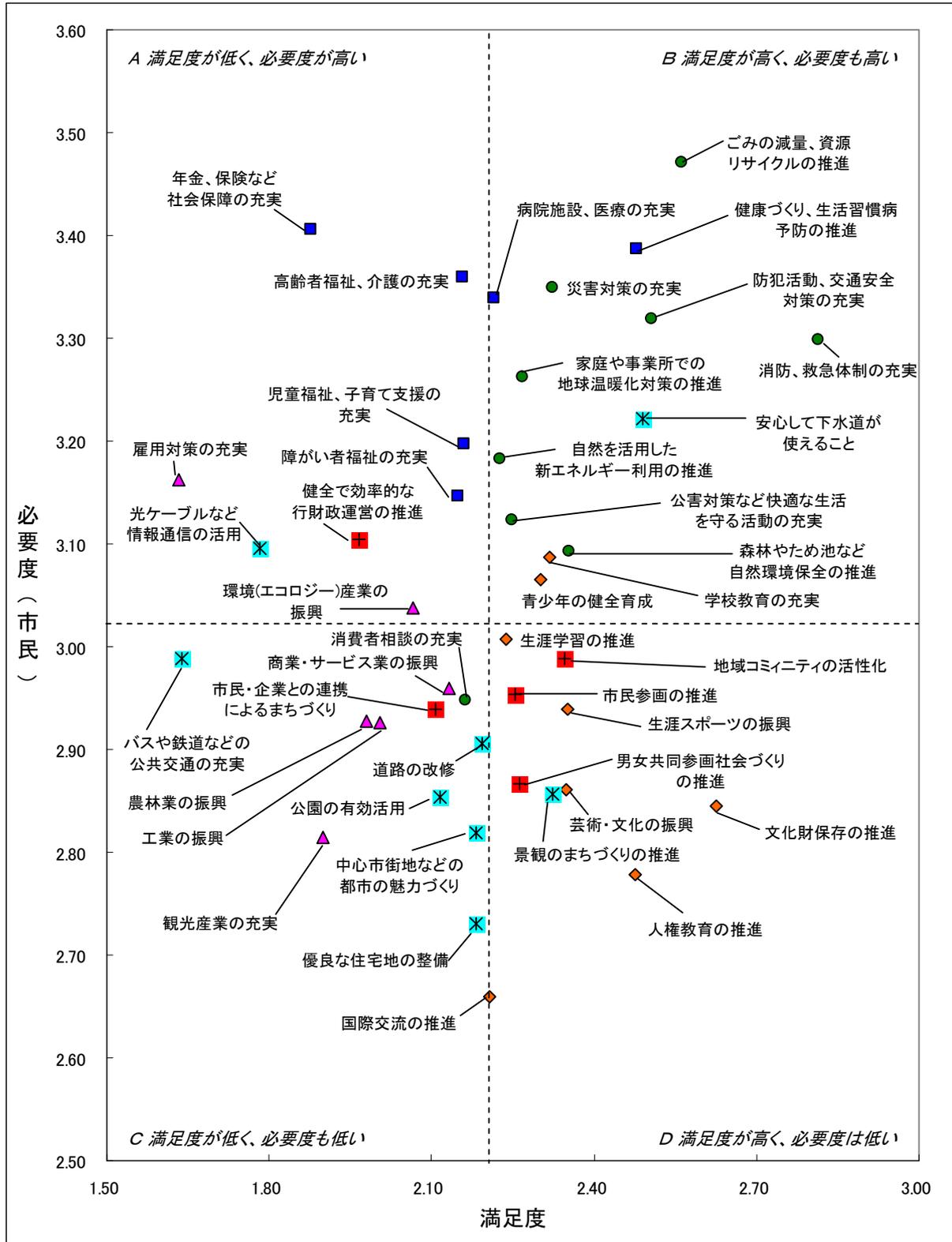
## ■満足度・必要度（行政）の散布図

満足度と必要度（行政）の散布図について、「雇用対策の充実」「年金、保険など社会保障の充実」「高齢者福祉、介護の充実」「児童福祉、子育て支援の充実」「バスや鉄道などの公共交通の充実」などがAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。



## ■満足度・必要度（市民）の散布図

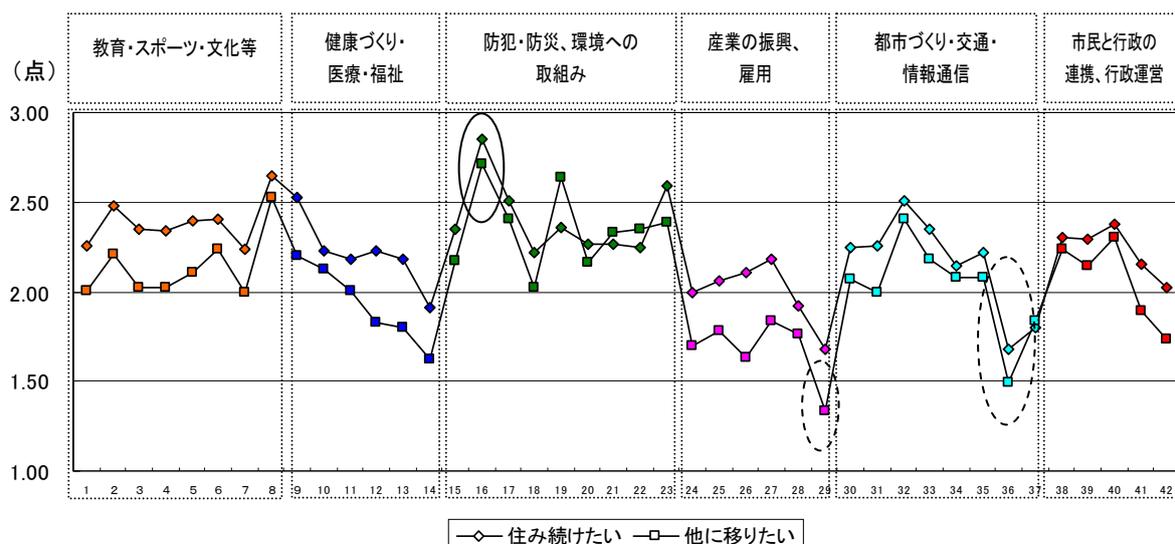
満足度と必要度（市民）の散布図について、「年金、保険など社会保障の充実」「高齢者福祉、介護の充実」「児童福祉、子育て支援の充実」「雇用対策の充実」「光ケーブルなど情報通信の活用」などがAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。



#### (4) 満足度・必要度×定住意向別

##### ■満足度×定住意向別

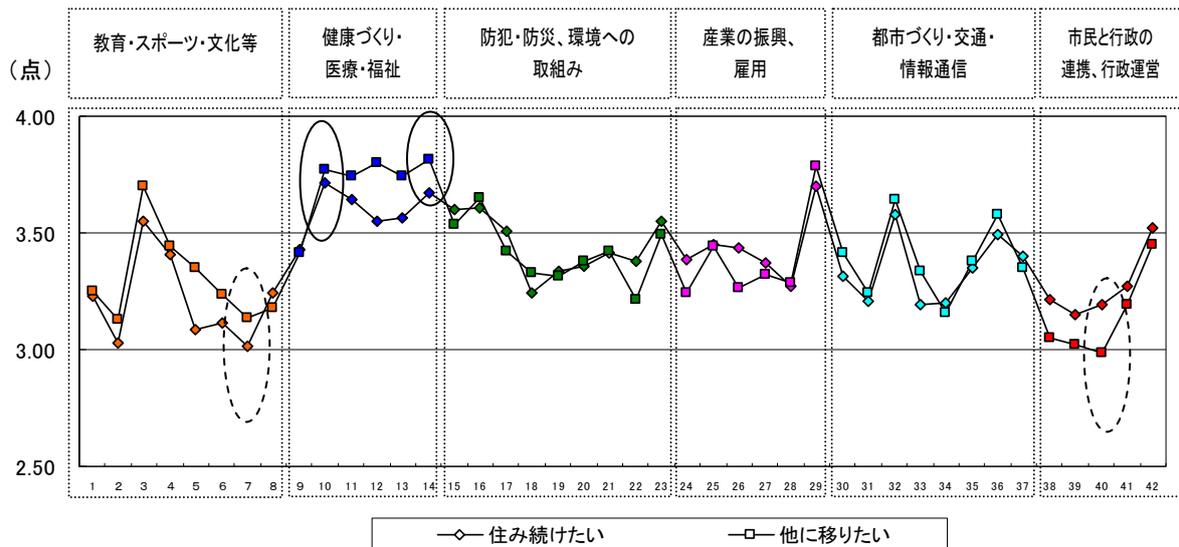
満足度について、定住意向別にみると、「住み続けたい」と「今は移る気はない」を合わせた『住み続けたい』では「16 消防、救急体制の充実」が最も高く、「36 バスや鉄道などの公共交通の充実」が最も低くなっています。一方、「市内で他に移りたい」と「市外へ移りたい」を合わせた『他に移りたい』では「16 消防、救急体制の充実」が最も高く、「29 雇用対策の充実」が最も低くなっています。



分野	No.	項目	分野	No.	項目
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	産業の振興、雇用	24	農林業の振興
	2	人権教育の推進		25	工業の振興
	3	学校教育の充実		26	環境(エコロジー)産業の振興
	4	青少年の健全育成		27	商業・サービス業の振興
	5	生涯スポーツの振興		28	観光産業の充実
	6	芸術・文化の振興		29	雇用対策の充実
	7	国際交流の推進		30	中心市街地などの都市の魅力づくり
	8	文化財保存の推進		31	優良な住宅地の整備
健康づくり・医療・福祉	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進		都市づくり・交通・情報通信	32
	10	病院施設、医療の充実	33		景観のまちづくりの推進
	11	高齢者福祉、介護の充実	34		公園の有効活用
	12	児童福祉、子育て支援の充実	35		道路の改修
	13	障がい者福祉の充実	36		バスや鉄道などの公共交通の充実
	14	年金、保険など社会保障の充実	37		光ケーブルなど情報通信の活用
	防犯・防災、環境への取組み	15	災害対策の充実		市民と行政の連携、行政運営
16		消防、救急体制の充実	39	男女共同参画社会づくりの推進	
17		防犯活動、交通安全対策の充実	40	地域コミュニティの活性化	
18		消費者相談の充実	41	市民・企業との連携によるまちづくり	
19		森林やため池など自然環境保全の推進	42	健全で効率的な行財政運営の推進	
20		公害対策など快適な生活を守る活動の充実			
21		家庭や事業所での地球温暖化対策の推進			
22		自然を活用した新エネルギー利用の推進			
23		ごみの減量、資源リサイクルの推進			

## ■必要度（行政）×定住意向別

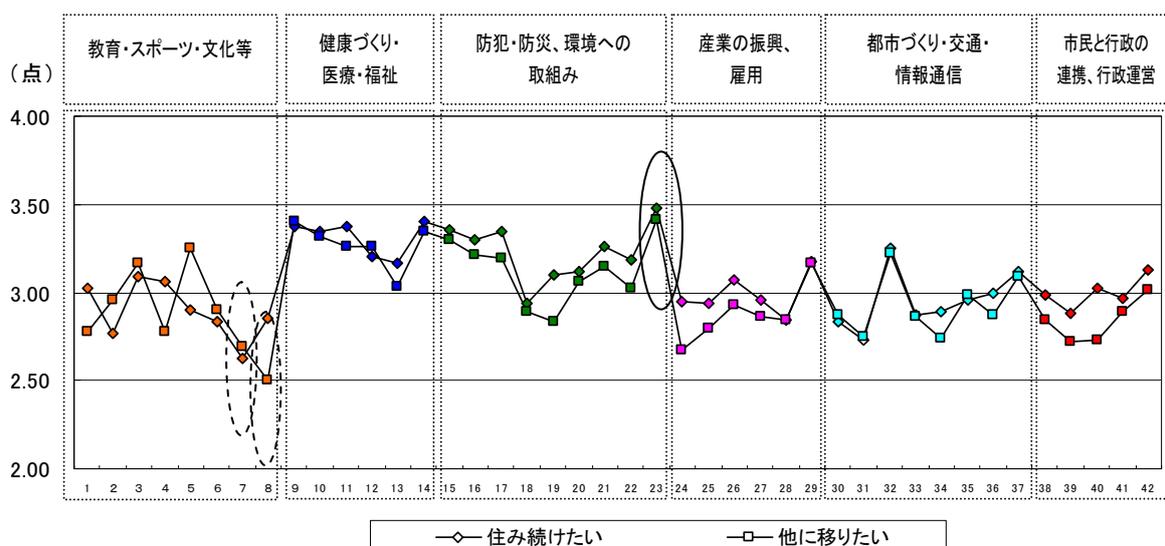
必要度（行政）について、定住意向別にみると、「住み続けたい」と「今は移る気はない」を合わせた『住み続けたい』では「10 病院施設、医療の充実」が最も高く、「7 国際交流の推進」が最も低くなっています。一方、「市内で他に移りたい」と「市外へ移りたい」を合わせた『他に移りたい』では「14 年金、保険など社会保障の充実」が最も高く、「40 地域コミュニティの活性化」が最も低くなっています。



分野	No.	項目	分野	No.	項目	
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	産業の振興、雇用	24	農林業の振興	
	2	人権教育の推進		25	工業の振興	
	3	学校教育の充実		26	環境(エコロジー)産業の振興	
	4	青少年の健全育成		27	商業・サービス業の振興	
	5	生涯スポーツの振興		28	観光産業の充実	
	6	芸術・文化の振興		29	雇用対策の充実	
	7	国際交流の推進		都市づくり・交通・情報通信	30	中心市街地などの都市の魅力づくり
	8	文化財保存の推進			31	優良な住宅地の整備
健康づくり・医療・福祉	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進	32		安心して下水道が使えること	
	10	病院施設、医療の充実	33		景観のまちづくりの推進	
	11	高齢者福祉、介護の充実	34		公園の有効活用	
	12	児童福祉、子育て支援の充実	35		道路の改修	
	13	障がい者福祉の充実	36		バスや鉄道などの公共交通の充実	
	14	年金、保険など社会保障の充実	37		光ケーブルなど情報通信の活用	
防犯・防災、環境への取組み	15	災害対策の充実	市民と行政の連携、行政運営	38	市民参画の推進	
	16	消防、救急体制の充実		39	男女共同参画社会づくりの推進	
	17	防犯活動、交通安全対策の充実		40	地域コミュニティの活性化	
	18	消費者相談の充実		41	市民・企業との連携によるまちづくり	
	19	森林やため池など自然環境保全の推進		42	健全で効率的な行財政運営の推進	
	20	公害対策など快適な生活を守る活動の充実				
	21	家庭や事業所での地球温暖化対策の推進				
	22	自然を活用した新エネルギー利用の推進				
	23	ごみの減量、資源リサイクルの推進				

## ■必要度（市民）×定住意向別

必要度（市民）について、定住意向別にみると、「住み続けたい」と「今は移る気はない」を合わせた『住み続けたい』では「23 ごみの減量、資源リサイクルの推進」が最も高く、「7 国際交流の推進」が最も低くなっています。一方、「市内で他に移りたい」と「市外へ移りたい」を合わせた『他に移りたい』では「23 ごみの減量、資源リサイクルの推進」が最も高く、「8 文化財保存の推進」が最も低くなっています。

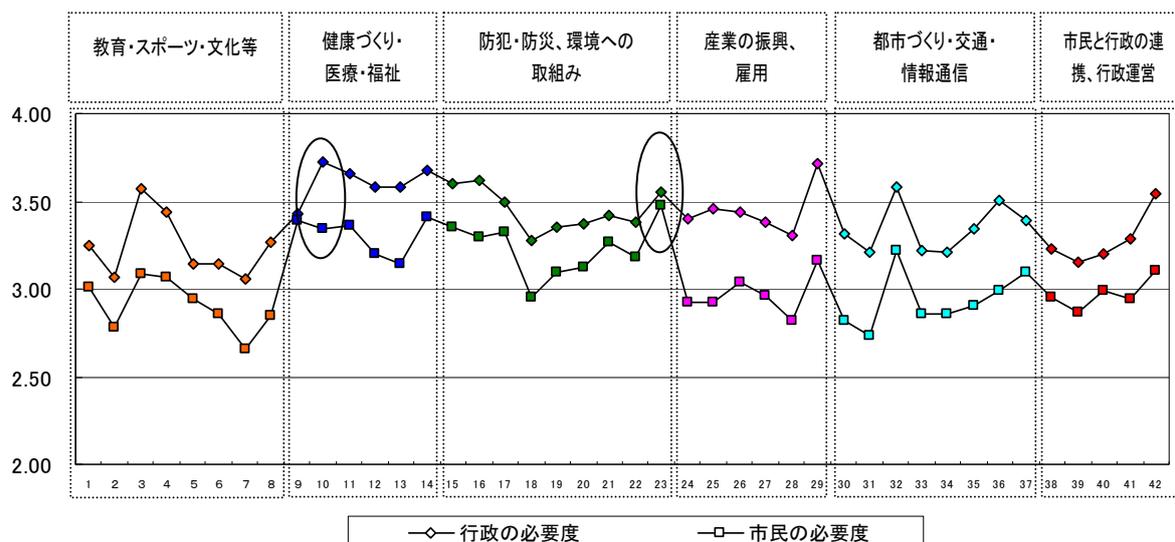


分野	No.	項目	分野	No.	項目	
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	産業の振興、雇用	24	農林業の振興	
	2	人権教育の推進		25	工業の振興	
	3	学校教育の充実		26	環境(エコロジー)産業の振興	
	4	青少年の健全育成		27	商業・サービス業の振興	
	5	生涯スポーツの振興		28	観光産業の充実	
	6	芸術・文化の振興		29	雇用対策の充実	
	7	国際交流の推進		都市づくり・交通・情報通信	30	中心市街地などの都市の魅力づくり
	8	文化財保存の推進			31	優良な住宅地の整備
医療・福祉・健康づくり	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進	32		安心して下水道が使えること	
	10	病院施設、医療の充実	33		景観のまちづくりの推進	
	11	高齢者福祉、介護の充実	34		公園の有効活用	
	12	児童福祉、子育て支援の充実	35		道路の改修	
	13	障がい者福祉の充実	36		バスや鉄道などの公共交通の充実	
	14	年金、保険など社会保障の充実	37		光ケーブルなど情報通信の活用	
防犯・防災、環境への取組み	15	災害対策の充実	市民と行政の連携、行政運営	38	市民参画の推進	
	16	消防、救急体制の充実		39	男女共同参画社会づくりの推進	
	17	防犯活動、交通安全対策の充実		40	地域コミュニティの活性化	
	18	消費者相談の充実		41	市民・企業との連携によるまちづくり	
	19	森林やため池など自然環境保全の推進		42	健全で効率的な行財政運営の推進	
	20	公害対策など快適な生活を守る活動の充実				
	21	家庭や事業所での地球温暖化対策の推進				
	22	自然を活用した新エネルギー利用の推進				
	23	ごみの減量、資源リサイクルの推進				

## (5) 市民と行政の必要度比較

必要度について、行政の必要度と市民の必要度を比較すると、いずれの項目においても行政の必要度の方が高くなっています。

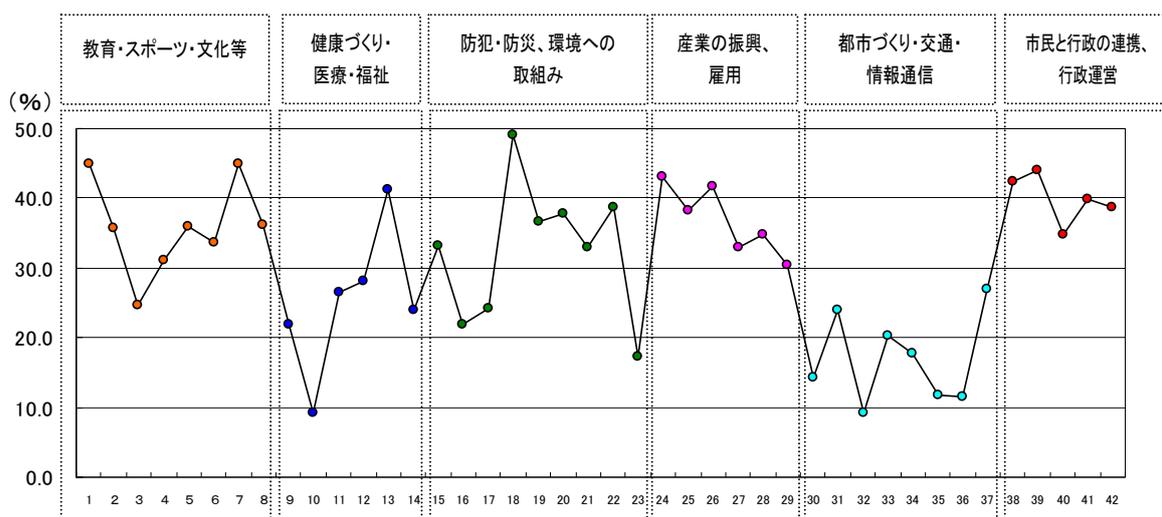
また、「10 健康づくり、生活習慣病予防の推進」「23 ごみの減量、資源リサイクルの推進」では、市民と行政の点数が近似しており、協働による取り組みが望ましいものと考えられます。



分野	No.	項目	分野	No.	項目	
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	産業の振興、雇用	24	農林業の振興	
	2	人権教育の推進		25	工業の振興	
	3	学校教育の充実		26	環境(エコロジー)産業の振興	
	4	青少年の健全育成		27	商業・サービス業の振興	
	5	生涯スポーツの振興		28	観光産業の充実	
	6	芸術・文化の振興		29	雇用対策の充実	
	7	国際交流の推進		都市づくり・交通・情報通信	30	中心市街地などの都市の魅力づくり
	8	文化財保存の推進			31	優良な住宅地の整備
健康づくり・医療・福祉	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進			32	安心して下水道が使えること
	10	病院施設、医療の充実	33		景観のまちづくりの推進	
	11	高齢者福祉、介護の充実	34		公園の有効活用	
	12	児童福祉、子育て支援の充実	35		道路の改修	
	13	障がい者福祉の充実	36		バスや鉄道などの公共交通の充実	
	14	年金、保険など社会保障の充実	37		光ケーブルなど情報通信の活用	
防犯・防災、環境への取り組み	15	災害対策の充実	市民と行政の連携、行政運営	38	市民参画の推進	
	16	消防、救急体制の充実		39	男女共同参画社会づくりの推進	
	17	防犯活動、交通安全対策の充実		40	地域コミュニティの活性化	
	18	消費者相談の充実		41	市民・企業との連携によるまちづくり	
	19	森林やため池など自然環境保全の推進		42	健全で効率的な行財政運営の推進	
	20	公害対策など快適な生活を守る活動の充実				
	21	家庭や事業所での地球温暖化対策の推進				
	22	自然を活用した新エネルギー利用の推進				
	23	ごみの減量、資源リサイクルの推進				

## (6) 満足度の「わからない」回答の割合

満足度について、「わからない」と回答した割合をみると、「18 消費者相談の充実」「1 生涯学習の推進」「7 国際交流の推進」等では4割～5割と高くなっています。一方で「10 病院施設、医療の充実」や「32 安心して下水道が使えること」では1割以下となっております。項目によって市民が評価しやすいものと、判断がしにくいものがあることがうかがえます。



分野	No.	項目	分野	No.	項目	
教育・スポーツ・文化等	1	生涯学習の推進	産業の振興、雇用	24	農林業の振興	
	2	人権教育の推進		25	工業の振興	
	3	学校教育の充実		26	環境(エコロジー)産業の振興	
	4	青少年の健全育成		27	商業・サービス業の振興	
	5	生涯スポーツの振興		28	観光産業の充実	
	6	芸術・文化の振興		29	雇用対策の充実	
	7	国際交流の推進		都市づくり・交通・情報通信	30	中心市街地などの都市の魅力づくり
	8	文化財保存の推進			31	優良な住宅地の整備
健康づくり・医療・福祉	9	健康づくり、生活習慣病予防の推進			32	安心して下水道が使えること
	10	病院施設、医療の充実	33		景観のまちづくりの推進	
	11	高齢者福祉、介護の充実	34		公園の有効活用	
	12	児童福祉、子育て支援の充実	35		道路の改修	
	13	障がい者福祉の充実	36		バスや鉄道などの公共交通の充実	
	14	年金、保険など社会保障の充実	37		光ケーブルなど情報通信の活用	
防犯・防災、環境への取組み	15	災害対策の充実	市民と行政の連携、行政運営	38	市民参画の推進	
	16	消防、救急体制の充実		39	男女共同参画社会づくりの推進	
	17	防犯活動、交通安全対策の充実		40	地域コミュニティの活性化	
	18	消費者相談の充実		41	市民・企業との連携によるまちづくり	
	19	森林やため池など自然環境保全の推進		42	健全で効率的な行財政運営の推進	
	20	公害対策など快適な生活を守る活動の充実				
	21	家庭や事業所での地球温暖化対策の推進				
	22	自然を活用した新エネルギー利用の推進				
	23	ごみの減量、資源リサイクルの推進				

### Ⅲ 自由回答

(1) 遠方から訪ねてきた友人・知人に加西市を紹介するとしたら、あなたが自慢したいことは何ですか。ぜひ見てもらいたい場所はどこですか。

環境・風土	210	伝統・文化	494
豊かな自然	81	西国 26 番札所・法華山・一乗寺	205
田園風景	26	五百羅漢	102
豊かな緑	20	古法華自然公園	34
空気がきれい	10	節句祭り	30
自然の山々	8	文化財・歴史遺産・史跡・歴史的建造物	24
のどか	7	神社・寺	23
白鳥が飛来してくる池がある	7	玉丘古墳公園・玉丘古墳・古墳	18
静か	6	住吉神社	11
のんびり住みやすい	6	酒見寺	10
災害が少ない	6	奥山寺	7
池が多い	5	歴史	6
星がきれい	4	各地の祭り	4
人々の優しさ	4	各地の国宝	4
北条の街並み	4	普光寺	4
春の桜	3	ゆるぎ岩	4
中国道や山陽道が近いので交通が便利である	3	庚申堂のいちょう	2
美しくきれい	2	万願寺の鬼追い	2
豊かな人情	2	万願寺	2
犯罪が少なく住みやすい	2	古法華自然公園の石仏	2
文化にあふれた街並み	2	<b>行楽地・イベント</b>	<b>332</b>
古い街並みなどの自然環境	2	フラワーセンター	226
<b>特産品</b>	<b>53</b>	いこいの村	55
ベリーA	8	丸山公園	37
農産物	7	ギネス認定の地球儀	6
おいしい米	7	ねひめの湯	4
おいしいぶどう	6	公園	2
富久錦のお酒・富久蔵	6	サイサイ祭り	2
おいしい野菜	4	<b>都市施設・その他</b>	<b>51</b>
愛菜館	4	イオンショッピングモール	25
おいしいいちご	3	北条鉄道・レールバス	15
農産物が豊富にある	2	図書館	3
農産物がおいしい	2	廃油の再利用	2
食べ物や水がおいしい	2	アステシア加西	2
桑原田や国正附近のぶどう園	2	ヤマダ電機	2
		三洋電機の加西工場	2

(2) あなたが市長になったとしたら、一番最初に取り組むことは何ですか。

自由回答（主なもの）	
<b>雇 用</b>	<b>68</b>
雇用の充実	60
若年層が多く働ける職場づくり	8
<b>公共料金</b>	<b>52</b>
水道料金の値下げ	43
公共料金の値下げ	9
<b>人員削減</b>	<b>74</b>
市議員の人員削減	39
市職員の人員削減	27
市職員の人員整理	4
公務員の削減	2
役所内業務全般の浄化と合理化及び議会や職員を含めた人員削減	2
<b>誘 致</b>	<b>34</b>
企業誘致	32
プレミアムアウトレットの誘致	2
<b>公共交通</b>	<b>52</b>
公共交通の見直し	22
交通事情の改善	6
交通網の確立	5
バス路線の便を増便する	3
北条鉄道を活性化させる	2
北条鉄道の増便	2
北条鉄道の延長、発展、充実を図る	2
北条鉄道の運営をやめる	2
バスをもっと便利にする	2
小型バスを充実させ、住宅地も巡回し、気軽に買い物などに利用できるようにする	2
コミュニティバスの運行	2
高齢者が病院や買い物などに行ける足となるようなバスの運行	2
<b>福 祉</b>	<b>34</b>
福祉の充実	21
福祉施設の充実	6
高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり	5
高齢者支援	2
<b>財 政</b>	<b>35</b>
財政立て直し	20
行政の無駄をなくす	4
予算配分の見直し	2
財政行政の無駄とムラの検討	2
事業仕分けを行う	3
無駄をなくす	2
行政と市民とが協力しあい、赤字をなくしていく努力をする	2
<b>教 育</b>	<b>21</b>
教育の充実	19
教育の改革	2

自由回答（主なもの）	
<b>医 療</b>	<b>30</b>
医療の充実	16
医療施設の充実	4
医療や福祉の充実したまちづくり	4
加西病院をよりよい設備にし、医師を充実させる	2
医療費軽減	2
市民病院の充実	2
<b>子育て</b>	<b>25</b>
子育て支援の充実	14
母親が安心して働けるような環境づくり	4
少子化の解決	3
人口減少を食い止めるために子育てしやすい環境づくり	2
子ども達の育成	2
<b>意識改革</b>	<b>35</b>
市職員の意識改革	13
職員の教育	11
市議員の意識改革	7
公務員の意識改革	2
市民自身の意識改革	2
<b>市民・議会との対話</b>	<b>19</b>
市民との対話	13
市長、市議、住民が一体となり話し合い、市の方向性を決め、進める	4
市議会との協調性と職員との会話	2
<b>税 金</b>	<b>15</b>
減税	10
税金の無駄遣いを徹底的に調べる	3
税金を含む経済的な問題について無駄をなくす	2
<b>職員給与・議員報酬</b>	<b>43</b>
市議員賃金減額	9
市職員の賃金減額	9
職員の賃金減額	7
市職員、議会議員、市長、副市長、教育長などの給与見直し	7
市議員給与の日当制	6
公務員の賃金減額	3
市長及び管理職以上の報酬減額	2
<b>公共事業</b>	<b>20</b>
道路整備	9
同じ所を何度も工事するような無駄なことは行わない	2
自転車道をつくる	2
安全な通学路の整備	2
無駄な公共事業をなくす	2
インフラ整備	3

自由回答（主なもの）	
<b>市の活性化、まちづくり</b>	<b>12</b>
市の活性化	9
他地域の人も集まるようなイベントなどを行い、活性化させる	3
<b>市役所改革</b>	<b>10</b>
行政改革	4
市役所内の改造	2
市役所の市民課窓口を日祝日も営業する	2
市役所、行政のスリム化	2
<b>学校施設</b>	<b>22</b>
市内中学校の給食化	6
各学校の耐震補強	5
小学校の統廃合は行わない	5
宇仁小学校の建設	2
学校施設の補修	2
学校設備の充実	2
<b>観 光</b>	<b>14</b>
観光業の活性化	5
観光戦略と動線の確保を行う	3
多くの人が立ち寄るような観光地づくり	2
観光PR	2
加西市の特産物を作り、全国各地に売り込み、PRし、加西市をもっと有名にする	2
<b>暮らしやすいまちづくり</b>	<b>12</b>
市民が安心安全に暮らせるまちづくり	4
近隣同士助け合えるあたたかいまちづくり	3
住民が住みやすい環境にする	3
住民が暮らしやすく、活気あるまちづくり	2
<b>定住促進</b>	<b>14</b>
人口を増加させるための対策を考える	4
もっと若い人が住みやすいまちづくり	2
転入者が入りやすく住みやすいまちづくり	2
若年層が、加西市に住みたいと思えるような魅力あるまちづくり	2
住宅の確保	2
若い人が楽しく過ごせ、意欲的に働けるまちづくり	2
<b>レクリエーション施設</b>	<b>7</b>
子どもが安全な遊具で遊べたり、動物などと遊べたり見たりできるような公園をつくる	3
市民体育館をつくる	2
老若男女が楽しめる施設をつくる	2
<b>農 業</b>	<b>7</b>
農業の活性化	3
農林水産業の活性化	2
農業特産品の創造	2

自由回答（主なもの）	
<b>情報公開</b>	<b>5</b>
市の活動を積極的にアピールする	3
市政のオープン化及びわかりやすくする	2
<b>その他</b>	<b>13</b>
議会の改革	3
市民の生活を一番にしたい	2
人材育成	2
土地の有効利用を考える	2
防犯強化	2
水の確保	2

## IV 調査票

### あなたが創る加西の未来予想図

第5次加西市総合計画策定のための

## 市民アンケート調査

### 調査ご協力をお願い

平素は、市行政に格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、加西市では平成 23 年度からの新たなまちづくりの指針となる「第5次加西市総合計画」を策定することになりました。総合計画とは、加西市が今後進んでいく方向を定めるもので、この計画に基づきこれからのまちづくりが進められます。そのため、市民の幅広い意見をお伺いし、計画に反映すべく、この調査を実施させていただくこととなりました。

この調査は、加西市にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に抽出した、2,500 人の方にお配りさせていただいております。

市民の皆様には大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 22 年 1 月 加西市

### ご記入上の注意

- ご回答は無記名でお願いします。
- 設問によって、選択肢からご回答を選んでいただくものと、自由に記載していただくものがあります。設問の指示に従ってご回答ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**2月3日(水)までに投函してください。**(切手は不要です)

【調査に関するお問い合わせ先】 加西市役所 経営戦略室  
電 話 : 0790-42-8700 (直)  
F A X : 0790-43-1800



加西市での生活についてお伺いします。

該当する番号に○をつけてご回答ください。

問7 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思えますか。【○は1つ】

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 住み続けたい    | 4. 市外へ移りたい |
| 2. 今は移る気はない  | 5. わからない   |
| 3. 市内で他に移りたい |            |

問8 加西市の好きなところ・誇れるところはどれですか。【○は3つまで】

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 交通の便利さ             | 11. 買い物に便利                 |
| 2. 通勤・通学の便利さ          | 12. 防犯・防災の体制が整っている         |
| 3. まちに歴史や伝統が感じられる     | 13. 余暇を楽しむ場所が充実している        |
| 4. 自然環境がよい            | 14. 市民活動が活発に行われている         |
| 5. 病院などの医療施設が充実している   | 15. 住環境がよい                 |
| 6. 保健・福祉施設やサービスが整っている | 16. 行政サービスがよい              |
| 7. 文化・スポーツ施設が整っている    | 17. 自分の好きな仕事や能力を生かせる仕事を選べる |
| 8. まちのイメージがよい         | 18. 家の購入価格や家賃が適正           |
| 9. 住民の気質がよい           | 19. その他 ( )                |
| 10. 子育て環境がよい          |                            |

問9 加西市のよくないところ・改善すべきところはどれですか。【○は3つまで】

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 交通の不便さ              | 11. 買い物に不便                |
| 2. 通勤・通学の不便さ           | 12. 防犯・防災の体制が不十分          |
| 3. まちに歴史や伝統が感じられない     | 13. 余暇を楽しむ場所が少ない          |
| 4. 自然環境がよくない           | 14. 市民活動が活発ではない           |
| 5. 病院などの医療施設が不足している    | 15. 住環境がよくない              |
| 6. 保健・福祉施設やサービスが不足している | 16. 行政サービスがよくない           |
| 7. 文化・スポーツ施設が不足している    | 17. 自分の好きな仕事や能力を生かせる仕事がない |
| 8. まちのイメージがよくない        | 18. 家の購入価格や家賃が高い          |
| 9. 住民の気質がよくない          | 19. その他 ( )               |
| 10. 子育て環境がよくない         |                           |

加西市の各分野における取組みについてお伺いします。

加西市の取組みについて、「これまでの満足度」と「これからの必要度」を5点満点で評価してください。「必要度」については、「行政の取組み」と「あなた自身(市民)の取組み」にご回答ください。該当する番号に○をつけてご回答ください。

問 10 教育・スポーツ・文化等について【(1)～(8)について、それぞれ3か所に○】

項 目	これまでの満足度					これからの必要度									
						行政の取組み					あなた自身の取組み				
	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない
(1) 生涯学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 人権教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 生涯スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 芸術・文化の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 文化財保存の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

各分野の重点質問について該当する番号に○をつけてご回答ください。

問 10-1 特色ある教育の取組みを行うには、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

1. 地域住民の力を借りて多様な学習環境を提供する
2. 学校施設や設備の改善に力を入れる
3. 子どもの基礎的な知識や技能の習得に力を入れる
4. 子どもの学力の向上に向けた習熟度別指導、少人数学級を推進する
5. 個性を活かしのびのびとした学校生活を送れる環境づくりを実現する
6. 体力づくりに力を入れる
7. 教師の指導力の向上を図る
8. 職場体験など社会体験活動を取り入れた学習を充実する
9. 自然体験学習の推進により「生きる力」を育む教育を実施する
10. 地元の産物を地元で消費する地産地消の取組みを推進する
11. 地域の歴史文化の学習に力を入れる
12. 資源の再利用など循環型社会に向けた取組みを行う
13. 小中一貫校を実施する
14. 地球温暖化やエコロジーに関する教育を取り入れる
15. その他 ( )

**問 11 健康づくり・医療・福祉について【(9)～(14)について、それぞれ3か所に○】**

項 目	これまでの満足度					これからの必要度									
						行政の取組み					あなた自身の取組み				
	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない
(9) 健康づくり、生活習慣病予防の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 病院施設、医療の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 高齢者福祉、介護の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 児童福祉、子育て支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 障がい者福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 年金、保険など社会保障の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**問 11-1 少子化対策として、どのようなところに力を入れるべきだと思いますか。【○は2つまで】**

1. 若い世代の住宅支援
2. 若い世代の雇用確保
3. 子育て相談や保育サービスの充実
4. 特色ある学校教育と教育環境の充実
5. 育児休業制度等が取得しやすい職場環境の整備
6. 子育て家庭への養育費支援など経済的負担の軽減
7. 地域ぐるみで子育てを支える環境づくり
8. 若者への出会いの機会づくりや交流の場づくり
9. 未婚率を下げる仲人制度等の推進
10. 不妊治療への助成
11. その他 ( )

**問 11-2 高齢化が進む中での高齢者福祉や、障がい者福祉を充実するにはどのようなところに力を入れるべきだと思いますか。【○は2つまで】**

1. 高齢者や障がい者が利用しやすい福祉サービスの充実
2. 高齢者の生涯学習活動など交流の場の充実
3. 高齢者のための健康増進、寝たきり予防（介護予防）の充実
4. 高齢者や障がい者を支援するボランティアの育成
5. 地域全体で高齢者や障がい者を支えるしくみの整備
6. 高齢者や障がい者が働く場の確保
7. 高齢者が生きがいを持って取り組める活動の支援
8. その他 ( )



**問 13 産業の振興、雇用について【(24)～(29)について、それぞれ3か所に○】**

項 目	これまでの満足度					これからの必要度									
						行政の取組み					あなた自身の取組み				
	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない
(24) 農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25) 工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 環境（エコロジー）産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 商業・サービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) 観光産業の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) 雇用対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**問 13-1 あなたが毎日食べている食材はどのようなものが望ましいとお考えですか。【○は2つまで】**

1. できるだけ地元産（加西市もしくは近隣市町）のものがよい
2. 安全安心が確認できるものであれば産地にはこだわらない
3. とにかく安いものであれば産地にはこだわらない
4. 国産であればよい（地元産にはこだわらない）
5. 自分で（または家族、親戚、知人が）作ったものがよい
6. 外食中心だから気にしない
7. その他（ ）

**問 13-2 加西市(または加西市から通勤できる範囲内)にどのような産業や企業があれば、加西市民の雇用環境が安定し、定住促進につながると思いますか。【○は2つまで】**

1. 事務職や営業職、技術職等、職種を問わず多くの雇用が見込める企業
2. 作業員の雇用が多い製造業の工場
3. 販売員の雇用が多いショッピングセンター等
4. 特産食材生産による専業農家の増加
5. 個人の起業の増加による事業の創出（新規就農等を含む）
6. 現状のままでよい
7. その他（ ）

**問 14 都市づくり・交通・情報通信について【(30)～(37)について、それぞれ3か所に○】**

項 目	これまでの満足度					これからの必要度									
	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	行政の取組み					あなた自身の取組み				
						必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない
(30) 中心市街地などの都市の魅力づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 優良な住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 安心して上下水道が使えること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) 景観のまちづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34) 公園の有効活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) 道路の改修	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(36) バスや鉄道などの公共交通の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 光ケーブルなど情報通信の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**問 14-1 農地や緑地を宅地化することを制限したり、建てられる建物の種類(工場や店舗など)や大きさ、高さなどを制限することについて、あなたはどのように思われますか。【○は1つ】**

1. 自然や良好な居住環境を守るため、積極的に制限することが望ましい
2. 制限は、日照等の居住環境や安全性の確保など、必要最小限にとどめることが望ましい
3. 私有財産なので、個人の裁量にまかせ、制限しないことが望ましい
4. わからない
5. その他 ( )

**問 14-2 土地の利用や建物の建て方について、今後どのようなことが重要だと思いますか。【○は1つ】**

1. 農地などが開発されて、際限なく市街地が拡大しないようにすること
2. 住居と工場が混在して、騒音や振動などによる住環境の悪化を招かないようにすること
3. 住宅地の近くに風俗店舗が立地して、風紀の悪化を招かないようにすること
4. 敷地の規模が小さく、ゆとりのない住宅地にならないようにすること
5. 低層の住宅地にマンションなどの高い建物が、建たないようにすること
6. 周辺の町並みに調和しない建物(奇抜な色や形)が、建たないようにすること
7. その他 ( )

**問 14-3 住宅地を確保するための方法について、あなたはどのように思われますか。【○は1つ】**

1. 区画整理などにより、計画的な住宅地を造成する
2. 市街地の空地などを活用する
3. 住宅地の建物を中高層化する
4. 市内の空き家を活用する
5. 農地や山林などで宅地造成を行い、新たな住宅地を造成する
6. 現状のままで良く、これ以上住宅地を増やす必要はない
7. その他 ( )

**問 14-4 高齢化が急速に進み高齢ドライバーの自動車事故が増加している中、移動手段を充実させるためにはどのような施策に力を入れるべきだとお考えになりますか。【○は1つ】**

1. バスの路線や便数を改善することで交通網を充実させる
2. 北条鉄道の便数増加や接続等を改善することで交通網を充実させる
3. 障がいのある人の移動のための福祉タクシーの充実と助成の拡大
4. 既存の道路の改修を行う
5. 新しい道路の整備と拡張を行う
6. わからない
7. その他 ( )

**問 15 市民と行政の連携、行政運営について【(38)～(42)について、それぞれ3か所に○】**

項 目	これまでの満足度					これからの必要度									
						行政の取組み					あなた自身の取組み				
	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない	必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	全く必要ではない	わからない
(38) 市民参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 男女共同参画社会づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 地域コミュニティの活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(41) 市民・企業との連携によるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(42) 健全で効率的な行財政運営の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**問 15-1 あなたが住民による活動に参加するとすれば、どのような活動に参加したいと思われ  
ますか。(現在活動中のものを含めます。)【○はいくつでも】**

- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 防災活動              | 11. 観光客のおもてなし               |
| 2. 防犯活動              | 12. 里山やため池などの自然環境保護         |
| 3. 子育て支援             | 13. 子ども会やジュニアリーダーなどの青少年育成活動 |
| 4. 高齢者の支援            | 14. スポーツ・レクリエーション活動         |
| 5. 障がい者（児）の支援        | 15. 加西病院等を支援するボランティア        |
| 6. 健康づくり活動           | 16. 外国人との交流                 |
| 7. 資源のリサイクルを行う活動     | 17. 文化や芸術活動                 |
| 8. 地球温暖化対策や省エネに関する活動 | 18. 歴史遺産の保存・継承              |
| 9. 花植えの活動            | 19. 北条鉄道ボランティア              |
| 10. まちの清掃美化          | 20. その他（ ）                  |

**問 15-2 あなたが住民による活動に参加するには、行政がどのようなことに力を入れるべきだ  
と思われますか。【○は2つまで】**

1. 活動団体等の設立支援
2. 活動に必要な機材・会場の提供や活動費などの支援
3. 住民リーダーの育成
4. 活動に役立つ情報の提供
5. 住民への広報活動（活動内容、参加PRなど）
6. 市の計画策定や実施に関わる機会の充実
7. その他（ ）

**問 15-3 あなたは公共サービスと住民の費用負担についてどのように考えますか。【○は1つ】**

1. ある程度の市民負担が増えても、現状のサービスの水準は維持すべき
2. 市民負担は増やすべきでないので、サービス水準の低下はやむを得ない
3. 市民負担が増えることがないよう事業を見直し、優先度の高いサービスを充実させるべき
4. わからない
5. その他 ( )

**問 15-4 市役所が提供する公共サービスについて、民間活力を導入することについてどのようにお考えですか。【○は1つ】**

1. 法律等で職員が実施しなければならない業務など必要最小限のもの以外は民間活用する方がよい
2. 民間が得意とする業務などは、なるべく民間活用する方がよい
3. できる限り市役所が公共サービスを提供し、民間主体の活用は限定的に行う方がよい
4. 基本的に公共サービスは行政が提供するべきであって、民間活用すべきではない
5. わからない
6. その他 ( )

加西市の将来像についておたずねします。

該当する番号に○をつけてご回答ください。

**問 16 あなたは、今後、目指していくべき加西市の将来像についてどう思いますか。【○は3つまで】**

1. 水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち
2. 史跡、文化財や歴史、伝統などの文化にあふれたまち
3. 地域資源や地域特性を活かした農業の盛んなまち
4. 地域の自然特性などを活かし、多くの人々が行き交うまち
5. 工業や商業の活力を誘発し、かつ新規産業の育成を図る雇用機会の充実したまち
6. 農商工業がともにバランスのとれた活力ある産業のまち
7. 子どもからお年寄りまで、健康で暮らせる保健・医療・福祉のまち
8. スポーツが盛んな、健康増進を推進するまち
9. 地域特性を活かした子育て、人づくりを推進するまち
10. 地域活動やボランティア活動が盛んな、人とのふれあいのあるまち
11. 公共交通網や道路などが整備された通勤通学に便利で住みやすいまち
12. ごみや公害のない清潔・快適なまち
13. 国際化に対応した、国際色豊かな人々が集い、生活するまち
14. 情報通信網（光ファイバー）を活用した利便性の高いまち
15. 新たな取組みにチャレンジし、常に変革・成長していく個性的なまち
16. その他 ( )

遠方から訪ねてきた友人・知人に加西市を紹介するとしたら、あなたが自慢したいことは何ですか。ぜひ見てもらいたい場所はどこですか。（具体的にお書きください。）


あなたが市長になったとしたら、一番最初に取り組むことは何ですか。


ご協力ありがとうございました。



---

第5次加西市総合計画策定のための  
市民アンケート調査  
【結果報告書】

発行年月：平成22年3月  
発行：加西市 経営戦略室  
TEL：0790-42-8700（直通）  
FAX：0790-43-1800

---